

令和6（2024）年度決算 主要施策等に関する報告

【一般会計】2款 総務費

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	政策推進事業			決算書 掲載ページ	114		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	総務課			
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	1,866	1,866	0	0			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	1,866			
目的	多様化、高度化する行政課題に対して的確に対応し、政策の推進を図る。						
取組内容・実績	道の駅「風の丘米山」の再整備の可能性及び2大学の経営について、政策コンサルティング業務の委託先である株式会社経営共創基盤と打合せを2回行い、専門家の知見を得た。						
成 果	本市の重要課題に対して専門家の知見を取り入れて、政策を推進することができた。また、打合せの場に担当課の職員を積極的に参加させ、職員の資質向上を図った。						
課題・今後の方向性	目まぐるしく変わる情勢に対応するため、今後も専門家の知見を取り入れながら、適切な政策推進を図っていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	職員採用・職員管理経費			決算書 掲載ページ	116		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	人事課			
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円卖位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	14,114	11,842	0	2,272			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	4,233	0	22	7,587			
目的	業務量に応じた適正な組織体制を構築するため、公平・公正な採用試験を通じて優秀な人材を確保する。 また、障がい者法定雇用率が未達成である現状を踏まえ、障がい者雇用の推進を図る。						
取組内容・実績	対面5回、オンライン3回の合同企業説明会に参加し、189名の学生が参加した。また、職員採用試験を4回実施し、計172名が受験した。 障がい者の雇用率向上を図るため、福祉事業所から1名の職場実習生を受け入れた。また、令和7（2025）年4月採用の会計年度任用職員採用試験において、事務補助（障がい者枠）募集を行った。						
成 果	公平・公正な職員採用試験を実施し、新たに42名の職員を採用することができた。 また、障がい者雇用については、令和7（2025）年4月採用の会計年度任用職員採用試験により、2名の職員を採用した。						
課題・今後の方向性	採用試験への応募者数を確保し、優秀な人材を採用するため、市職員として働くことの魅力を積極的に発信していく必要がある。 障がい者雇用については、全般的な理解の促進を図るとともに、職場実習生の受け入れを積極的に行い、正式な雇用につなげていく。あわせて、障がい者枠による採用試験も継続して実施する。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	人材育成費			決算書 掲載ページ	120		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	人事課			
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	1,020	787	0	233			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	787			
目的	人事評価制度により、適切な人事管理と効果的な人材育成に努める。						
取組内容・実績	人事評価制度の円滑な運用及び定着を図り、効果的な人材育成を行うため、評価者（係長以上）・被評価者（一般職員）を対象に研修を行い、470名の職員が受講した。						
成果	職員の能力及び資質の向上を図るため、人材育成に重点を置いた内容で研修を実施した。継続的な研修により制度に対する基本的理解が深まり、評価者が評価を通じた育成の視点を習得するとともに、評価基準の平準化にもつながった。						
課題・今後の方向性	安定した人事評価制度運用のためには、制度に対する正しい理解に基づいた適切な職務目標の設定及び職務行動に対する均衡の取れた評価が不可欠である。安定した制度運用による人事管理及び人材育成を実現するため、計画的な研修の継続実施が必要である。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	帰国家族支援事業			決算書 掲載ページ	120		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	人権啓発・男女共同参画室			
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	220	142	0	78			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	2	0	0	140			
目的	拉致被害者関係市連絡会（柏崎市・佐渡市・福井県小浜市）を開催し、未帰国者の早期帰国の実現や拉致問題の風化防止に取り組む。						
取組内容・実績	第25回拉致被害者関係市連絡会を富山県富山市で開催した。また、要望活動として、3市長が林芳正内閣官房長官兼拉致問題担当大臣、バイロン・ツアオ駐日米国政務担当公使代理、古屋圭司北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟会長、牧義夫衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員長及び松下新平参議院北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員長と面会し、拉致問題の早期解決を直接訴えた。ほかにも、拉致被害者関係市連絡会の各市小学校をオンラインで結び、拉致問題を考えるオンライン子ども会議を開催した。						
成果	拉致被害者関係市連絡会の活動では、政府に対して主体的に北朝鮮と直接交渉を行い、拉致問題を一刻も早く全面解決することや国民への積極的な周知・啓発活動に取り組むことなどを要望した。また、拉致問題を考えるオンライン子ども会議では、拉致被害者関係市連絡会の各市小学校の児童が拉致問題学習の取組成果及び今後の取組内容を発表し、報道にも広く取り上げられたことで市民意識の喚起や風化防止に向けて取り組むことができた。						
課題・今後の方向性	拉致被害者とその親世代の家族の高齢化が進んでおり、帰国の実現まで一刻の猶予も許されない状況の中、拉致問題の早期全面解決に向け、政府の取組を後押しする世論の高まりが不可欠であることから、拉致問題に対する国民の意識低下及び関心の風化防止に取り組む必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1 『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	男女共同参画啓発事業			決算書 掲載ページ	120		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	人権啓発・男女共同参画室			
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	3,151	3,073	0	78			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	13	3,060			
目的	男女が互いの人権を尊重して認め合い、性別に関わりなく、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。						
取組内容・実績	かしわざき男女共同参画推進市民会議と連携し、講演会やセミナーの開催、機関紙の発行等による啓発活動を行った。また、家庭内の役割分担に関する気付きを促すため、事業所訪問時、各種イベント開催時等において家事シェアリーフレットの配布を行った。DV防止関連では、デートDV予防啓発講座を高校6校及び中学校3校で開催し、798人が参加した。						
成果	セミナーの実施により、男性の育児・家事参加の重要性について理解を深めることができた。様々な機会を捉えて啓発を重ねたことにより、性別によらない家庭内の役割分担が生活の質的向上につながることへの気付きにつながった。高校生と中学生に実施しているデートDV予防啓発講座では、年齢に合わせて具体的な事例を示すことにより、理解向上を図ることができた。						
課題・今後の方向性	家事・育児等の無償労働の女性への偏り、長時間労働を前提とした労働慣行及び固定的な性別役割分担意識といった、生活や意識に根ざした問題を解決するため、関連事業を継続的に実施する必要がある。						

事務事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業			決算書 掲載ページ	122		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	人権啓発・男女共同参画室			
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	419	185	0	234			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	60	0	0	125			
目的	家庭生活、地域活動、趣味の時間など仕事以外の生活を充実させ、心身ともに健康でやりがいを持って仕事ができるよう、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指す。						
取組内容・実績	事業所訪問や企業説明会の場を活用し、ワーク・ライフ・バランスの推進に資する制度の活用を働きかけた。ワーク・ライフ・バランス関連セミナーとして実施した「男性育休応援セミナー」には事業所の管理担当者16人が、「女性活躍推進セミナー」には事業所の女性従業員14人が参加した。ワーク・ライフ・バランスの取組を進めたい企業4社に、女性活躍推進アドバイザーを派遣した。						
成果	ハッピー・パートナー企業の登録が66社になり、働きやすい環境の職場が少しずつ増加している。男性育休応援セミナーの開催により、育休取得推進に向けた職場環境整備の必要性に対する理解の深まりや具体的な手続など、実務面での知識向上に寄与した。女性活躍推進セミナーでは、女性活躍の現状や自分らしいリーダー像、キャリアデザインの描き方などを理解してもらうことができた。						
課題・今後の方向性	ワーク・ライフ・バランスに対する理解が深まり、働きやすい環境の整備が進むよう、各種制度の周知、セミナーの開催等、継続的な意識啓発活動を進めるとともに、企業の課題等を聞き取り、具体的な支援を行う。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	男女共同参画基本計画策定事業			決算書 掲載ページ	122		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	人権啓発・男女共同参画室			
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	2,305	2,220	0	85			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	2,220			
目的	男女共同参画に関する意識や考え方を把握し、柏崎市男女共同参画基本計画（かしわざき男女共同参画プラン）改定のための基礎資料とする。						
取組内容・実績	市民2,000人、市内500事業所、市内中学3年生約600人を対象に、男女共同参画に関する意識調査を実施し、回答を得た。						
成果	調査結果を分析することにより、男女共同参画に関する意識や考え方の現状を把握することができた。また、その成果を第5次柏崎市男女共同参画基本計画策定の基礎資料として活用する。						
課題・今後の方向性	市民意識調査結果では、全ての分野において男女の平等意識の低下が確認されたため、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消につなげる「第5次柏崎市男女共同参画基本計画」を策定する。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	人権擁護事業			決算書 掲載ページ	122		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	人権啓発・男女共同参画室			
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	1,186	992	0	194			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	300	0	0	692			
目的	柏崎市第二次人権教育・啓発推進計画に基づき、様々な分野における人権意識を向上させ、差別やいじめのない安心して暮らせるまちづくりを推進する。						
取組内容・実績	児童虐待防止・人権講演会を実施し、111人が参加した。また、蓮池薰氏による拉致問題啓発・人権講演会を市内小学校1校及び市内中学校4校で実施し、835人が参加した。ほかにも、人権意識の醸成に取り組んでいる柏崎人権擁護委員協議会や柏崎刈羽地区保護司会等に負担金を交付し、啓発活動の推進に取り組んだ。						
成果	児童虐待防止・人権講演会では、児童虐待防止に関わる国の動きや子どもとの向き合い方など、幅広く講演いただき、感情的にならずに子どもと接する方法を学ぶ機会となつた。蓮池薰氏による拉致問題啓発・人権講演会では、児童生徒が自分事として捉えられるように講演内容が工夫されており、若い世代の関心を高めることができた。						
課題・今後の方向性	人権の課題は、職場での各種ハラスメント、学校でのいじめ、地域社会での同和問題など、様々な分野で起っている。またSNS上での誹謗中傷など情報発信による悪質な事案も拡大している。今後も講演会や研修会などの啓発活動や同和教育を中核とした人権教育などに取り組み、市民の人権意識の向上を図る必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が發揮できる環境を充実させる

事務事業名	市政協力費			決算書 掲載ページ	126		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	市民活動支援課			
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	52,902	52,480	0	422			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	44,580	0	0	7,900			
目的	市が発行する広報紙、回覧、チラシ等を各世帯へ配布する業務を町内会にお願いすることにより、効率的な配布を行う。						
取組内容・実績	市内304町内会に四半期ごとに支払った。支払基準は世帯数に応じた「世帯割」、町内規模に応じた「平均割」によって支払額を算出した。						
成果	市政情報の適正な提供と市政運営に関する町内会の集約について協力を得ることができた。						
課題・今後の方向性	町内会の実情を踏まえて、市政協力事務費の見直しを検討しつつ、今後も継続する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が發揮できる環境を充実させる

事務事業名	町内会集会施設建設事業補助金			決算書 掲載ページ	128		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	市民活動支援課			
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	10,276	10,237	0	39			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	10,237			
目的	町内会集会施設の建設費などの一部補助により、地域活動の拠点施設の整備を促し、生活環境の向上を図る。						
取組内容・実績	修繕は12町内会、改装は4町内会、駐車場整備は1町内会、耐震診断は2町内会、合計19町内会を支援することができた。						
成果	地域住民のよりどころとなる施設の整備・診断をすることができ、より活発な地域活動を推進することができた。						
課題・今後の方向性	集会施設の修繕等は、多額の費用が必要となるため、今後も継続する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	広報発行費			決算書 掲載ページ	134		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	元気発信課			
目	02	文書広報広聴費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	20,529	20,328	0	201			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	258	0	14	20,056			
目的	<p>市の情報を定期的に発信するため、広報かしわざきを制作して市民生活の安心感・利便性・充実感の向上を図る。</p> <p>また、広報かしわざきをスマートフォンで読むことができる無料アプリを活用し、電子的な情報入手環境の充実を図る。</p>						
取組内容・実績	広報誌（広報かしわざき）を毎月1回・計12回制作及び発行した。						
成 果	イベント、講座・教室、子育て、制度、手続の紹介及び施策の特集等、世代のニーズに対応した行政情報を提供することにより、市民生活の安心感・利便性・充実感の向上につなげることができた。						
課題・今後の方向性	<p>市民生活の安心感・利便性・充実感につながる広報誌となるよう、状況に応じて内容の見直しを行う必要がある。</p> <p>また、見やすく、必要な情報を探しやすい紙面作りに引き続き取り組む。</p>						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	P R 戦略事業			決算書 掲載ページ	136		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	元気発信課			
目	02	文書広報広聴費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円卖位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	10,107	9,811	0	296			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	14	9,797			
目的	<p>タイムリーな情報発信により市民生活の安全・安心を確保するとともに、市民の市政への関心や理解を深める。</p> <p>また、プロモーションツールとして市勢要覧を隔年で制作し、本市の認知度向上を図る。</p>						
取組内容・実績	<p>市政情報、子育てや医療等の暮らしの情報及び観光・イベント情報等について、アクセシビリティに配慮してホームページで発信した。</p> <p>また、S N S でも、防災情報、イベント情報等を適時発信した。</p> <p>さらに、柏崎市LINE公式アカウントのPRに努め、令和6（2024）年度末の友だち数は、前年比121%増の20,166件となった。</p>						
成 果	インターネットによる情報提供の充実を図ることで、タイムリーな情報の提供及び拡散により本市の認知度の向上等が図られた。						
課題・今後の方向性	年代やライフスタイルによって情報の入手手段が多様化していることから、全ての市民が必要な情報を入手できるよう、時代に適した情報発信に努める必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する

事務事業名	公共施設適正管理基金積立金			決算書 掲載ページ	138		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	財政管理課			
目	03	財政管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	250,903	250,823	0	80			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	823	250,000			
目的	公共施設の維持修繕、更新及び除却を計画的に進めるため、基金を積み立てる。						
取組内容・実績	計画どおりに年250,000千円を積み立てた。						
成 果	持続可能な公共施設の適正管理及び財政運営を可能にするために必要な財源を積み立てることができた。						
課題・今後の方向性	老朽化が著しい施設や除却施設の増加などにより、更に財源が不足する可能性がある。くわえて、当初の人口ビジョンから人口減少が進行し、公共施設等総合管理計画も策定後10年を経過したことから、計画の全般的な見直しを行う必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する

事務事業名	市有財産維持管理事業			決算書 掲載ページ	140		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	財政管理課			
目	05	財産管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円卖位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
		31,002	30,373	0			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	24	30,349			
目的	市が所有する土地の適正な管理を行い周囲の安全を確保するとともに、活用の見込まれない市有財産の売却及び貸付けを行う。また、安価な分担金で加入できる損害共済に加入することで、市が管理する車両の事故並びに建物及び設備の災害発生時の修繕に要する公費負担を軽減する。						
取組内容・実績	市が所有する土地について、草刈、雑木の伐採等を行うとともに、市有財産の売却及び貸付けを行った。また、車両、建物及び設備の損害共済に加入することで、事故及び災害発生時の修繕に要する公費負担の軽減を図った。						
成 果	草刈、雑木伐採等により周囲の安全を確保するとともに、市有地の売却及び貸付けにより維持管理費の削減及び収入を得ることができた。また、損害共済の加入により、事故及び災害発生時の修繕に要する公費負担を軽減することができた。						
課題・今後の方向性	今後も、市有財産の適切な管理と周辺の安全を確保していくとともに、損害共済加入により事故及び災害発生時に要する公費負担の軽減を図っていく。また、財産の維持管理に係る経費等を勘案し、今後増加することが予想される未利用市有財産の活用及び処分を進めていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する

第五次総合計画上の位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-2 大学を活かし『柏崎らしさ』をはぐくむ
	⑤-2-1 地（知）の拠点を活かした取組を進める

事務事業名	未利用地利活用事業			決算書 掲載ページ	142		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	財政管理課			
目	05	財産管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	21,400	19,894	0	1,506			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	19,894			
目的	統廃合、廃止等で未利用となる土地や施設を有効に利活用するため、売却、貸付け等に当たって支障となる要因を除去し、未利用地の利活用を進める。						
取組内容・実績	売却、貸付け等をするため、用地測量、不動産鑑定等を実施した。						
成果	公募型プロポーザル及び公売を行い、土地を売却できた。そのほか、売却等に向けて支障要因を整理した。						
課題・今後の方向性	人口減少が進行する中で、公共施設の再編や適正配置とともに、統廃合、廃止等で増加する未利用資産の有効活用を考えいかなければならない。人口減少の進行を踏まえて公共施設等総合管理計画を見直し、公共施設の適正配置と未利用地利活用を同時に検討する必要がある。						

事務事業名	大学との連携・協働事業			決算書 掲載ページ	144		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	企画政策課			
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	15,567	13,800	0	1,767			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	10,097	3,703			
目的	市内2大学の魅力づくりや認知度の向上により、入学者の減少を抑制し、若者の活力によるまちづくりを目指す。						
取組内容・実績	市内2大学に対して学生募集支援補助金として、合計5,000千円を交付した。また、新潟工科大学の産学交流会奨学金柏崎枠分として、8,400千円の寄附を行った。						
成果	少子化の影響により学生確保が厳しい状況が続く中、新潟産業大学の入学者数は若干減少した一方、新潟工科大学は増加し、二大学合計では前年を上回った。しかしながら、両大学とも定員を依然として充足していない。また、卒業後の市内に就職する割合も、低い水準が続いている。						
課題・今後の方向性	学生募集支援補助金を交付したものの、両大学とも定員を満たしていないことから、学生募集に係る効果的な取組について、両大学と引き続き意見交換していく必要がある。また、地元就職率も依然として低水準で推移しており、人材確保や移住・定住の観点から、対応策を検討する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-1 市民力が發揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

事務事業名	柏崎リーダー塾事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費		会計	一般会計
項	01	総務管理費		担当	企画政策課
目	06	企画費		現年度・繰越の別	現年度予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	4,000	4,000	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	0	4,000	
目的	産業界、大学及び行政が連携し、地域課題の解決に取り組む次世代リーダーを育成する。				
取組内容・実績	7月から第6期柏崎リーダー塾を開始し、入塾生13名に対し、ビジネスコミュニケーション、リーダーシップ、チームビルディングなどの研修カリキュラムを実施した。				
成果	各カリキュラムについての塾生アンケートでは、おおむね良い評価を得ており、塾生の満足度の高いカリキュラムを実施しながら、人材育成を進めることができた。				
課題・今後の方向性	人口減少下においては、引き続き地域課題の解決に取り組む次世代リーダーの育成が必要である。カリキュラムに時代のニーズなどを反映しながら取組を進める。				

事務事業名	路線バス等確保事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費		会計	一般会計
項	01	総務管理費		担当	企画政策課
目	06	企画費		現年度・繰越の別	現年度予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	171,252	151,129	0	20,123	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	2,202	148,927	
目的	公共交通事業者に対して補助などを行い、生活交通の確保を図るとともに、公共交通の利用促進の取組により新規利用者の増加を目指す。また、A I 新交通「あいくる」の運行により、既存の公共交通を補完するとともに、利便性の向上を図る。				
取組内容・実績	令和5（2023）年11月から運行を開始したA I 新交通「あいくる」の令和6（2024）年度の利用者数は24,285人となり、1日当たりの平均利用者数は当初目標（50人）を大きく上回る約100人であった。				
成果	交通空白地が新規発生しておらず、地域公共交通ネットワークが維持できている。また、A I 新交通「あいくる」の運行により、市街地の利便性の向上が図られた。				
課題・今後の方向性	A I 新交通「あいくる」の運行区域内では、利便性の向上が見られる一方、郊外地域においては路線バス廃止等の影響により利便性が低下し、地域間格差が拡大している。また、公共交通の運転士不足が顕著となり、路線バスのみならず、スクールバスや企業送迎バスにおいても運行維持が困難な状況にある。 このため、郊外地域においてもA I 新交通「あいくる」を導入・運行することで地域公共交通の利便性向上を図るとともに、交通事業者と連携し、運転士不足の解消に向けた取組を進める必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-1 市民力が發揮できる環境を充実させる

事務事業名	鉄道等活性化事業			決算書 掲載ページ	146		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	企画政策課			
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	2,415	2,335	0	80			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	2,335			
目的	鉄道事業者などへの要望や、鉄道の魅力発信を行うことにより、鉄道の利便性向上を推進する。						
取組内容・実績	利便性の向上、冬季間における安定運行などの実現のため、JR東日本新潟支社に対して要望活動を実施した。利用者数が減少傾向にある信越本線及び越後線の利用促進並びに高校生等の通学時における学校周辺の混雑緩和を図るため、高校生等鉄道定期券購入促進キャンペーンを実施し、43人の応募があった。また、信越本線の利用回復・利用促進を図るため、企画列車「劇団四季の本格ミュージカル「美女と野獣」とヒルトン東京ベイのデザートビュッフェ」を実施し、42人から参加いただいた。						
成果	令和7(2025)年3月のダイヤ改正により、利便性の向上に課題はあるものの、下り特急「しらゆき」が20時台に設定されたことにより、柏崎での滞在時間を延長できるようになった。						
課題・今後の方向性	令和4(2022)年3月に減便された優等列車の運行本数が回復されていないことから、利便性の向上を図るために、引き続き鉄道事業者などへの要望活動を実施していく。						

事務事業名	総合計画策定事業			決算書 掲載ページ	148		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	企画政策課			
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	15,890	10,863	0	5,027			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	10,863			
目的	総合的かつ計画的なまちづくりの指針を定め、目指す将来都市像の実現を目指す。						
取組内容・実績	第六次総合計画の策定に向けて、市民アンケート及び市民ワークショップを実施し、市民ニーズの把握を行った。また、総合計画審議会を3回開催し、第六次総合計画の基本理念などを審議した。						
成果	市民アンケートや市民ワークショップで市民ニーズを把握するとともに、審議会及び分科会での議論を経ることで計画への市民目線の反映を着実に行うことができた。						
課題・今後の方向性	引き続き、審議会での議論、パブリックコメントなどを通じて、市民の意見を反映していくとともに、新しい総合計画の周知を行っていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	次世代エネルギー活用推進事業			決算書 掲載ページ	148		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	電源エネルギー戦略室			
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	3,841	3,225	0	616			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他の	一般財源			
	0	0	1,013	2,212			
目的	柏崎市地域エネルギービジョンに基づき、再生可能エネルギー及び次世代エネルギーを活用して、温室効果ガスの排出を減らしていく地域社会づくりを推進する。						
取組内容・実績	<p>再生可能エネルギー及び次世代エネルギーの活用に関する理解促進を図るため、以下の周知啓発活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新潟工科大学講義－脱炭素エネルギーによるまちづくり（100名参加） かしわざきこども大学講義－柏崎市がめざすエネルギーのまち（19名参加） かしわざき市民大学講義－市内企業や市の取り組み、脱炭素とは（32名参加） 脱炭素社会実現に向けた企業の取組セミナー（30名参加） 						
成果	周知啓発活動を通じ、再生可能エネルギー及び次世代エネルギーを活用することの意義や本市が地域エネルギー会社「柏崎あい・あーるエナジー株式会社」と連携して目指す脱炭素のまちの構想について、理解促進を図ることができた。						
課題・今後の方向性	脱炭素のまちの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入拡大を促す施策の検討に加えて、再生可能エネルギー導入の意義や柏崎あい・あーるエナジー株式会社の役割など市民に向けた周知啓発を推進する。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	地域エネルギー会社連携事業			決算書 掲載ページ	150		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	電源エネルギー戦略室			
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算・縦明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	25,212	18,071	0	7,141			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他の	一般財源			
	14,500	0	621	2,950			
目的	地域エネルギー会社と連携した事業展開の推進により、再生可能エネルギーや次世代エネルギーを活用した地域社会づくりの実現を目指す。						
取組内容・実績	<p>未利用市有地を活用した再生可能エネルギーの導入実現可能性調査を実施し、柏崎あい・あーるエナジー株式会社との連携を踏まえた次年度の発電所建設の準備を進めた。また、市民の森（旧ぶどう村）において、民間事業者に当該地を貸し付けて太陽光発電事業を行う際の事業性を検討するためのヒアリング調査等を行うとともに、発電事業者選定に向けた公募条件、スケジュール等の整理を行った。</p>						
成果	<p>未利用市有地の再生可能エネルギーの導入実現可能性調査により、柏崎あい・あーるエナジー株式会社の電源開発用地として、未利用市有地を利活用する方向性を導き出した。市民の森（旧ぶどう村）に関するヒアリング調査等により、民間事業者が発電事業を行うための要件を明確化できた。また、発電事業者の選定に向け、翌年度の公募実施の方針を決定することができた。</p>						
課題・今後の方向性	地域への脱炭素エネルギーの安定供給を目指して、未利用市有地における太陽光発電設備や大容量蓄電池の設置に向けた調査を継続的に実施する。本年度の市民の森（旧ぶどう村）の調査結果を踏まえ、次年度に電源開発事業参入公募を実施し、当該地の貸付けにより発電事業を行う事業者を選定する。						

第五次総合計画上の位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	ふるさと応縁事業			決算書 掲載ページ	150		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	元気発信課			
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	308,024	278,639	0	29,385			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	278,639			
目的	柏崎出身者や縁のある人だけでなく、ふるさと納税制度を通じた寄附者とのつながりをつくり「柏崎の応援者」を獲得する。また、ふるさと納税の仕組みをいかし、柏崎市の資源を活用した商品開発や新たな地場産品の掘り起こしを行う。						
取組内容・実績	新たな寄附者層の獲得に向け、10月にワンストップ特例申請管理システムを寄附者にとってより利便性の高いシステムに切り替えた。また、返礼品提供事業者の新規開拓及び新たな返礼品の掘り起こしを行い、登録事業者を6件、返礼品を101品増やし、ラインナップを強化した。その結果、多くの方から寄附をいただき、寄附件数は18,203件、寄附額は504,243,800円となった。						
成 果	ふるさと納税の寄附件数は減少したものの寄附金額が3年連続で過去最高となり、柏崎の資源を活用した返礼品を多くの方に届けることができ、本市と寄附者の「縁」を広げることができた。						
課題・今後の方向性	返礼品は農産物を中心であるが、生産量が天候などに左右されやすいため、その影響を受けにくい工業製品など、ものづくり分野の返礼品開拓とその認知度を更に高めるPR活動が必要である。このため、産業振興部局などと連携し、情報を共有するとともに、柏崎の地域資源や地場産品を更にPRし、柏崎ブランドの確立につなげる。						

第五次総合計画上の位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	U・Iターン促進事業			決算書 掲載ページ	152		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	元気発信課			
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	36,850	30,702	0	6,148			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	2,613	0	10,011	18,078			
目的	移住を考えている方、学生及び若者に対し、移住・定住のための相談対応や支援を行うことで、一人でも多くの方に柏崎へ定住していただき、人口減少の流れを緩やかにする。						
取組内容・実績	柏崎市U・Iターン情報ステーション、ふるさと回帰支援センター窓口及び各種イベント出展などを行ない、移住を検討している方への相談対応を52件実施した。また、柏崎に移住・定住した方に住宅家賃などに対する補助金・助成金を192件、18,572千円交付した。 市民、事業者及び行政が連携して移住・定住に取り組む「柏崎市移住・定住推進パートナーチーム」から提出された「施策提案書」に基づき、6つの事業に取り組んだ。						
成 果	移住ガイドやオリジナル動画を活用するとともに、他課と連携することにより、移住相談者のニーズに合わせた対応を行うことができ、11世帯17人が相談対応を経て移住了した。移住マッチングサイト「くじらと。」は、年間11,718件の新規ユーザーと34,344件のページビュー数を獲得し、「くじらと。」経由の6件の移住相談には、パートナーチームの移住コンシェルジュが対応した。						
課題・今後の方向性	移住支援制度、市内企業の採用情報、柏崎での暮らしの情報などを移住マッチングサイトで発信し、移住のきっかけを創出する。 また、パートナーチームから提案された施策の実現に向け、官民が連携して取り組み、移住者を移住後も引き続き支援することで、定住促進を図る。						

第五次総合計画上の位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	首都圏からの移住・就業者支援事業			決算書 掲載ページ	152		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	元気発信課			
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	13,823	12,414	0	1,409			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	9,309	0	0	3,105			
目的	市内中小企業などの人手不足の解消や人口減少の抑制を図る。						
取組内容・実績	首都圏からの移住者で交付条件を満たす方に対する補助金を9件、12,400千円交付した。						
成果	補助金の交付により、首都圏からの移住促進を図った。						
課題・今後の方向性	引き続き首都圏からの移住者で交付条件を満たす方を支援することで、首都圏からの移住促進を図る。						

事務事業名	I T戦略事業			決算書 掲載ページ	154		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	企画政策課			
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	7,562	7,218	0	344			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	7,218			
目的	外部人材である情報政策官を登用し、府内の業務改善、市民サービスの向上及び情報産業の振興を図る。						
取組内容・実績	基幹業務システムの標準化・共通化、健（検）診オンライン予約システムの調達及び県防災DXの取組に対して、情報政策官から技術的助言・支援を受けた。また、情報政策官と市内情報産業事業者との意見交換を行った。						
成果	府内の情報システムの導入等に当たり、情報政策官の技術的助言を受けることで、適切に導入計画を進めることができた。 また、市内情報産業事業者との意見交換を実施し、経営課題等についてアドバイスを行うことで、事業推進に寄与した。						
課題・今後の方向性	引き続き、府内の情報システム環境の整備及び市内情報化関連企業の振興について、情報政策官の助言を受けながら進める。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	情報化関連業務総合委託事業			決算書 掲載ページ	154		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	企画政策課			
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	455,538	454,985	0	553			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	7,387	447,598			
目的	包括的なアウトソーシングによるコスト削減、業務効率化及び情報政策の推進を図る。地図情報を市HPで公開し、利活用を促進する。						
取組内容・実績	健（検）診オンライン予約システムの調達支援、データ利活用職員研修等の情報政策業務及び基幹系システム等の運用・保守・構築業務を実施した。						
成 果	システム調達・構築、導入及び運用保守を㈱カシックスへアウトソーシングし、コスト削減・業務効率化を行いながら、情報政策を推進した。						
課題・今後の方向性	既存システムの運用・保守業務等に加えて、令和7（2025）年度移行完了を目指としている地方公共団体情報システムの標準化・共通化に向けた取組を進めていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	社会保障・税番号制度事業			決算書 掲載ページ	156		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	企画政策課			
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	16,511	16,506	0	5			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	3,876	0	0	12,630			
目的	社会保障・税番号制度の円滑な運用とマイナンバーカードを利用したコンビニ交付により利活用の促進を図る。						
取組内容・実績	マイナンバーカードを利用した証明書のコンビニ交付サービスを提供した。						
成 果	時間や曜日、場所に限定されないコンビニでの証明書の交付を行うことができる環境を整えることで、市民の利便性の向上に努めた結果、コンビニ交付で18,379件の証明書を交付した。						
課題・今後の方向性	ホームページでの周知等、引き続きコンビニ交付の活用を推進する。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1 『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-2 多文化共生を進める

事務事業名	情報システム標準化・共通化対応事業			決算書 掲載ページ	156		
款	02	総務費		会計	一般会計		
項	01	総務管理費		担当	企画政策課		
目	07	情報化推進費		現年度・繰越の別	現年度予算		
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	77,228		77,226	0	2		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	77,226	0	0	0			
目的	国の標準仕様書に基づいて情報システムを構築し、運用することで、業務の効率化を図る。						
取組内容・実績	標準準拠システムへの移行に必要な環境構築、データ移行等の準備作業を実施した。						
成果	標準準拠システムの稼働環境を構築し、移行データ確認等の準備作業を進めた。						
課題・今後の方向性	国やシステム事業者からの情報収集を継続し、遅滞なく標準準拠システムへ移行できるよう作業を進める。						

事務事業名	国際化に対応したまちづくり事業			決算書 掲載ページ	156		
款	02	総務費		会計	一般会計		
項	01	総務管理費		担当	商業観光課		
目	08	国際交流費		現年度・繰越の別	現年度予算		
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	5,750		5,710	0	40		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	5,710			
目的	市民の国際理解を深め、市内在住外国人が安心して暮らせる多文化共生社会の構築を進めることで、柏崎地域の国際化を進める。						
取組内容・実績	公益財団法人柏崎地域国際化協会の運営に係る負担金を支出し、柏崎地域の国際化や多文化共生のまちづくりに係る事業を行った。						
成果	多文化理解講座などの開催により、外国人への理解が高まった。また、日常生活における相談支援、災害時における多言語支援センターの設置訓練などを通じ、外国人が住みやすい環境を整備した。						
課題・今後の方向性	市民の国際理解を深め、市内在住外国人が安心して暮らせる多文化共生社会の構築を進める必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が發揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	地域コミュニティ活動推進事業			決算書 掲載ページ	156		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	市民活動支援課			
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	142,996	140,100	0	2,896			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	50,000	0	0	90,100			
目的	人件費の補助により財政基盤を確立させ、地域づくりの核となる組織づくりを支援する。また、各地域のコミュニティ計画に基づく各種事業を支援し、地域活動の充実を図る。						
取組内容・実績	<p>コミュニティ管理運営事業補助金については、27のコミュニティ振興協議会のセンター長に月額59,100円、8時間主事に月額181,600円、5時間主事に月額98,500円を交付した。</p> <p>地域コミュニティ活動推進事業補助金については、27のコミュニティ振興協議会の活動費として上限75万円を交付した。</p>						
成 果	各コミュニティ振興協議会の健全な財政運営と住民主体の協働のまちづくりを推進することができた。						
課題・今後の方向性	協働によるまちづくりを推進するため、今後も継続することが必要がある。						

事務事業名	地域で支え合う除雪支援事業			決算書 掲載ページ	158		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	市民活動支援課			
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	2,066	1,837	0	229			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	1,837			
目的	地域の除雪活動を支援し、助け合いと支え合いの仕組みづくりを推進する。また、冬期間における安全・安心な生活を確保するとともに、雪に強い地域づくりを推進する。						
取組内容・実績	自力で除雪できない世帯へ町内会等が行う除雪作業に対し、79町内会へ総額1,791千円の補助金を交付した。						
成 果	短い期間でまとまった降雪があったことで、山間部以外でも除雪が実施され、多くの除雪困難世帯の安全・安心な生活を確保することにつながった。また、住民同士が助け合う体制づくりに寄与した。						
課題・今後の方向性	各部署と連携し、状況に応じた除雪支援を通じ、地域で支え合う体制づくりの促進及び雪に強い地域づくりのため、本事業を継続する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	冬期集落安全・安心確保対策事業（ソフト事業）			決算書 掲載ページ	158		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	市民活動支援課			
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	6,727	5,040	0	1,687			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	2,510	0	0	2,530			
目的	過疎化・高齢化が深刻な地域の除排雪作業を委託して行うことで、地域内の安全・安心な冬期生活を確保する。						
取組内容・実績	過疎化・高齢化が深刻な11地区18集落の除排雪活動等を支援した。						
成 果	山間部等で雪処理が深刻な地区において、安全・安心な冬期生活の確保につながった。						
課題・今後の方向性	過疎化・高齢化が進む集落においても、冬期生活の不安が解消され、住みよい地域となるよう、継続して実施する必要がある。						

事務事業名	消費者対策事業			決算書 掲載ページ	158		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	市民活動支援課			
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	14,041	12,925	0	1,116			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	281	0	30	12,614			
目的	消費生活センターでは、消費者保護を目的とした相談体制及び啓発事業を充実させる。また、消費者団体を支援することにより、消費生活やSDGsへの取組を活発にし、消費生活に関する教育や啓発事業への協力を得る。						
取組内容・実績	消費生活相談員による出前講座を19件400名に対して実施し、市民からの消費生活相談は、617件で前年度比50件の増加となった。また、消費者安全確保地域協議会代表者会議を開催し、高齢者等の見守り体制について、構成員間で情報共有を図った。						
成 果	消費生活相談員が各種研修へ参加することにより、スキルアップに努めるとともに、出前講座への講師派遣によって市民に対し、消費者保護や消費者教育の推進と啓発を図ることができた。						
課題・今後の方向性	関係機関との連携を強化し、市民への継続的な教育・啓発活動を実施する必要がある。特に高齢者被害防止のための見守りや成年年齢引下げに伴う若者向けの消費者教育の充実を図る。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	地域安全対策費			決算書 掲載ページ	158		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	市民活動支援課			
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	27,111	23,855	0	3,256			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	12	23,843			
目的	市民の自主防犯意識の高揚を図ることにより、犯罪の温床となりにくい地域づくりを目指す。						
取組内容・実績	不審者情報等を適時に市民へ情報提供する安全防犯情報メールの登録者は4,407件、LINEの登録者は2,264件、合計では、6,671件で、前年度比171件増加した。また、地域で支える仕組みづくりを強化するため、防犯リーダー養成講座を開催し、30名の受講者（うち21名が新規受講者）があり、これまで211名の防犯リーダーを育成した。						
成果	自転車盗や特殊詐欺の被害増加によって、刑法犯認知件数が227件と前年比で7件、3.2%増加となり、新潟県内においても増加に転じ、8.6%の増加となった。関係機関や各団体と連携し、地域安全活動の推進と防犯意識の高揚を図る啓発活動を実施してきたことで、県より増加率を低く抑えられた。						
課題・今後の方向性	「ながらの目」による地域全体での見守り活動や安全防犯情報メールの登録者拡大を図るとともに、犯罪の抑止に資することが必要である。防犯に関する広報啓発活動の充実、地域防犯活動を支える人材の育成等を関係団体と連携しながら実施していく必要がある。						

事務事業名	コミュニティセンター整備事業			決算書 掲載ページ	160		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	市民活動支援課			
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	142,200	127,513	0	14,687			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	7,403	106,000	0	14,110			
目的	コミュニティセンター施設の適切な整備により、安全性の確保や利便性の向上を図る。						
取組内容・実績	中通コミュニティセンター太陽光発電設備設置工事、松波コミュニティセンター駐車場整備工事及び比角コミュニティセンター地域生活基盤施設（広場）警察宿舎跡地整備工事を行った。						
成果	コミュニティセンター施設の適切な整備により、安全性の確保や利便性の向上を図ることができた。						
課題・今後の方向性	今後も施設利用者の安全性の確保や利便性の向上を図る上で、コミュニティセンター施設の適正な整備を行う必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が發揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	地域おこし協力隊活動経費			決算書 掲載ページ	162		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	市民活動支援課			
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	16,145	11,010	0	5,135			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	25	10,985			
目的	外部人材の活用による地域などの主体的な取組を支援し、地域力の維持と向上による地域の活性化を図る。また、若者などの地方での意欲的なチャレンジを支援し、まちを支える人材の育成を図る。						
取組内容・実績	2地域・1団体で3名の隊員が活動を行った。また、隊員が円滑に活動できるようサポート体制を構築し、関係者等と連携して活動を支援した。						
成果	2地域・1団体で3名の隊員が、地域等の活性化・課題解決等の活動に取り組み、地域力の維持・向上につながった。						
課題・今後の方向性	地域おこし協力隊が、地域や団体で円滑に活動することができるよう、サポート体制の構築と支援に取り組む必要がある。						

事務事業名	地域防災力向上支援事業			決算書 掲載ページ	164		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	市民活動支援課			
目	09	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	6,745	6,511	0	234			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	869	0	3,313	2,329			
目的	防災士の養成とスキルアップのための支援、地域防災の専門家による知識の伝授や技術的な支援などを通じて、自主防災組織等の活動の充実や地域内で活躍できる防災士の育成を図り、地域防災力の向上を目指す。						
取組内容・実績	防災の知識を有する「防災士」を育成する防災士養成講座を開催し、52人が新たに資格を取得した。また、防災士のスキル向上のためのフォローアップ研修会を5回開催し、延べ120人が参加した。 自主防災組織等への活動支援として防災出前講座を全67回実施し、延べ1,522人が参加した。						
成果	防災士養成講座の開催により、地域防災の中心的な役割を担うリーダーを育成することができた。また、専門の講師派遣による防災出前講座等に地域の住民や防災士の参加を促すことで、知識の習得や意識啓発だけでなく、地域防災力の向上に向けた体制づくりにつながった。						
課題・今後の方向性	防災士が地域内の担い手として活動できる体制づくりを進めるため、防災出前講座への参画を促すとともに、フォローアップ研修会における防災士同士の交流を通じ、多様な防災活動を展開していくように取り組む必要がある。 また、防災に女性の目線を取り入れるため、防災士資格の取得や出前講座に女性の参加を促す必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

事務事業名	交通安全対策事業			決算書 掲載ページ	164		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	市民活動支援課			
目	10	交通安全対策費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	13,481	11,079	0	2,402			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	163	0	1,575	9,341			
目的	市民参加の体験・実践型の交通安全活動を実施することにより、柏崎市交通安全計画の目標である「年間の交通事故発生件数を減少させることにより、交通事故による死者数ゼロ」を目指す。						
取組内容・実績	関係機関や関係団体と連携し、交通安全標語・川柳&ポスターコンテスト、交通安全フェア2024、飲食店への飲酒運転追放の呼び掛け等を実施した。また、交通安全教室を園児対象に28園、卒園児対象に30園、自転車教室を小学校18校、中学校4校、歩行指導を小学校18校、高齢者対象を16回実施した。さらに、未成年者が使用する自転車乗車用ヘルメットの購入者に対して168個分の補助を実施した。						
成 果	令和6（2024）年の交通事故発生状況は、発生件数64件、死者数2人、負傷者数68人であり、前年と比較すると、5件減、1人増、14人減となり、令和元（2019）年から横ばい状態で推移している。						
課題・今後の方向性	高齢者の人口構成比が増加する中、安全サポート車の試乗や反射機能測定等を活用した体験会を通して、自ら気付く機会を提供する取組が必要である。関係機関等が連携して、継続的な交通安全教室・指導及び啓発活動を実施する。						

事務事業名	原子力広報等対策事業			決算書 掲載ページ	166		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	01	総務管理費	担当	防災・原子力課			
目	11	原子力広報・安全等対策費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	10,828	10,551	0	277			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	10,484	0	0	67			
目的	原子力発電、放射線利用等に関する正しい知識の普及啓発を図ることで、地域社会の安全と安心に寄与する。						
取組内容・実績	原子力講座を2回、小・中学校向けのエネルギー・環境セミナーを14校で22回実施した。原子力発電や原子力防災に関する知識を分かりやすく伝える手段として、広報かしわざき（アトム情報）に原子力防災に関する記事を掲載した。また、原子力発電に関するこれまでの経過と概要をまとめた冊子の発行等を行った。						
成 果	放射線や原子力防災に関する知識を市民が自分事として捉えて行動することができる内容に見直して普及啓発を行うことができた。原子力発電所の安全性と透明性についてチェックし、市民がそれらに関する情報を得る機会を確保することができた。						
課題・今後の方向性	市民の放射線や原子力防災に関する知識の普及啓発については、全ての学校等へ児童生徒及び教職員を対象とした講座開催の働きかけをしていく必要がある。安全性の確保と情報公開による透明性の確保については、事業者に対しては徹底した取組を求め、国に対しては主体的に説明責任を果たすことを引き続き求めていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-2 健全な財政を堅持する

事務事業名	定額減税補足給付金給付事業費			決算書 掲載ページ	170		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	02	徴税費	担当	税務課			
目	01	税務総務費		現年度・繰越の別	現年度予算		
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	661,277	573,650		0	87,627		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	573,650	0	0	0			
目的	賃金上昇が物価高に追いついていない国民の負担を緩和するため、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」により定額減税を行うとともに、減税しきれない納税義務者に対して補足する給付金を給付する。						
取組内容・実績	令和6（2024）年6月3日時点の課税台帳に基づき、定額減税しきれない金額を1万円単位に切り上げ、補足給付金として14,778人に給付した。						
成果	物価高による家計負担の増大に対して、定額減税及び補足給付金により負担の緩和が図られた。						
課題・今後の方向性	國の方針に基づき、令和6（2024）年分所得税額が確定したことなどにより、令和6（2024）年度に給付した金額に不足が生じた者に追加で給付する。						

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	戸籍住民基本台帳費			決算書 掲載ページ	178
款	02	総務費	会計	一般会計	
項	03	戸籍住民基本台帳費	担当	市民課	
目	01	戸籍住民基本台帳費	現年度・繰越の別	現年度予算・縦明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額
	132,838		117,980	9,936	4,922
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源	
	31,114	0	0	25,071	61,795
目的	戸籍、住民票及び印鑑登録原票等の適正な管理を図る。また、マイナンバーカードの身分証明書としての利用が図れるようにするとともに、電子証明書によるサービス利用の普及拡大を図る。				
取組内容・実績	住民基本台帳事件数（住民基本台帳法による。）31,152件、戸籍事件数（当市受理及び他市町村からの送付分）3,450件、証明書交付手数料及び手数料事務96,721件、印鑑登録・廃印数4,141件並びに住民基本台帳ネットワーク・マイナンバーカード10,514件の処理を行った。				
成果	戸籍、住民票、印鑑登録原票等の適正な管理により、住民サービスに貢献することができた。マイナンバーカードの申請サポート及び適切な交付により、マイナンバーカードの普及拡大を図ることができた。コンビニ交付では、ホームページ、窓口でのチラシ配布及び広報かしわざきにて周知を行い、利用拡大を図ることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き住民サービスに貢献できるように、各届出や申請に基づき、戸籍、住民票及び印鑑登録原票等の適正な管理を図る。マイナンバーカードも引き続き、申請サポートや出張申請を行い、身分証明書としての利用のみならず、電子証明書によるサービス利用が図られるように普及拡大を図る。				

3款 民生費

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好的な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	地籍調査事業			決算書 掲載ページ	188		
款	02	総務費	会計	一般会計			
項	05	統計調査費	担当	財政管理課			
目	03	地籍調査費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	40,019	35,196	4,460	363			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	20,823	0	12	14,361			
目的	土地の所有者、地番、地図などの土地の情報を現状に合った内容にすることで、迅速な災害復旧、適正な土地取引等の円滑化を図る。						
取組内容・実績	第1計画区において令和6年能登半島地震に伴う調査成果の座標補正及び検証測量、第2-1計画区において地籍図及び地籍簿の作成及び閲覧並びに第2-2計画区において現地会見及び測量の業務委託契約を行った。また、第1計画区の成果について、県の認証及び国の承認を請求した。						
成果	第2-1計画区では、土地所有者の閲覧を実施し、一筆ごとの土地について、所有者、地番、地目及び面積を明確にすることができた。第2-2計画区では、測量の工程が完了し、閲覧のための地籍図作成の基礎データを整えた。第1計画区では、調査の成果について、県の認証及び国の承認を請求することができた。						
課題・今後の方向性	長期間に及ぶ事業となるため、効率的な調査手法、実施体制及び財政負担を考慮しながら、「柏崎市地籍調査事業全体計画」に基づき、計画的かつ効率的に事業の推進を図る。						

事務事業名	民生委員費			決算書 掲載ページ	192		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	14,578	14,094	0	484			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	14,094			
目的	民生委員・児童委員の地域における見守り、支え合い活動等を支援し、地域福祉の向上を図る。また、民生委員法に基づく民生委員推薦会を設置し、民生委員・児童委員の推薦等を行う。						
取組内容・実績	活動費及び研修費補助金を交付した207人の民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会が、延べ24,573日に及ぶ相談支援・実態把握活動を始めとした地域福祉活動を開催した。						
成果	生活上の様々な課題を抱える市民への相談支援や関係機関とのつなぎ役としての活動を実施し、地域福祉の向上に寄与した。						
課題・今後の方向性	委員の扱い手不足解消に向け、民生委員協力員制度による委員支援やイメージアップに資する広報活動に取り組む必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	成年後見制度利用支援事業			決算書 掲載ページ	194		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	10,417	9,952	0	465			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	5,126	0	0	4,826			
目的	成年後見制度の普及啓発、相談業務及び申立支援並びに法人後見受任を安定的に行うための市民後見支援員の養成により、判断能力が不十分な方の財産や権利の保護及び身上保護を支援し、判断能力が不十分な方が安心して暮らせる体制をつくる。						
取組内容・実績	<p>経済的理由で制度の利用が困難な方を支援するため、5人に制度利用に伴う後見人等の報酬費用を助成した。</p> <p>また、権利擁護を支援する人材の育成や制度の普及促進のため、市民向け研修会（44人参加）及び権利擁護支援者養成講座基礎編Ⅰを開催（15人参加）するとともに、市民後見人養成講座を受講した方向けのフォローアップ研修を開催（19人参加）した。市内地域包括支援センターへ制度利用に関する実態調査を行った。</p>						
成果	<p>後見人等の報酬費用の助成を行うことにより、判断能力が不十分な方の財産や権利保護を行うことができた。法人後見支援員の育成や研修会を実施することで、安定的な法人後見受任や成年後見制度の周知啓発が図られた。</p> <p>地域包括支援センターへの実態調査により、支援者が抱える課題整理や権利擁護センターの役割を示すことができた。</p>						
課題・今後の方向性	<p>権利擁護支援員養成講座基礎編Ⅱを開催し、成年後見を含めた権利擁護に関する理解促進を図る。</p> <p>引き続きフォローアップ研修を実施し、本人の意思を尊重した意思決定を促す。</p> <p>権利擁護に関する様々な課題を関係機関と共有する機会を設け、適切な権利擁護支援を進める。</p>						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	生活困窮者自立支援事業			決算書 掲載ページ	194		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	31,662	30,754	0	908			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	21,817	0	0	8,937			
目的	生活に困窮した方が困窮状態から早期に脱却できるよう、相談者の状態に応じた相談支援を行うことにより、自立の促進に取り組む。						
取組内容・実績	自立相談支援事業では、175人（新規98人）の相談に対応した。就労準備支援事業では、居場所支援として「フリースペースぶらっと」を24回開催（延べ参加者90人）したほか、相談者2人の就労準備を支援した。家計改善支援事業で、34人を支援し、14人が目標達成により支援を終了した。子どもの学習・生活支援事業では、訪問型学習支援を延べ670人、集合型学習支援を延べ175人（29回開催）が利用した。						
成果	生活に困窮した方に対して、相談者の状態に応じた必要な支援を行うことにより、その自立を促進することができた。						
課題・今後の方向性	相談者が抱える課題は多岐にわたり、複雑なケースも多くなっている。関係機関との連携を強化し、今後も自立相談支援事業の相談支援を中心とするきめ細かい、そして切れ目のない支援を実施する。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	重層的支援体制整備事業			決算書 掲載ページ	194		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	12,829	12,718	0	111			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	9,327	0	13	3,378			
目的	複雑化・複合化した課題を抱える世帯を支援することで、誰もが住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けられる地域共生社会の実現を目指す。						
取組内容・実績	周知・体制整備に重点を置き、情報共有及び府内連携促進のための府内連絡会議を12回開催したほか、困難ケースの共有と支援方針の理解のための支援会議を2回開催した。						
成果	多機関協働機関を委託する柏崎市社会福祉協議会と連携し、研修会の開催、広報かしわざき及びFMピッカラ出演により事業を周知するとともに、府内連絡会議の開催により複雑化・複合化した課題を抱える世帯を支援するための体制の整備を図ることができた。						
課題・今後の方向性	具体的な困難ケースの共有、支援体制の検討等を重ねることにより、より実効性のある体制を整える必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	原油価格・物価高騰等緊急対策事業			決算書 掲載ページ	196		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	8,050	7,559	0	491			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	4,484	0	0	3,075			
目的	支援金を交付することで、物価高騰等の影響を受けながらも継続して障がい福祉サービスを安定的に提供している事業所等の事業継続を支援する。						
取組内容・実績	介護・障害福祉施設等物価高騰対策支援金を市内に障がい福祉サービス事業所がある15法人に対して、総額で7, 559千円交付した。						
成果	市内障がい福祉サービス事業所等の事業継続の支援をすることができた。						
課題・今後の方向性	今後も物価高騰の長期化による障がい福祉サービス事業所等への影響を把握し、必要な支援を検討する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業費			決算書 掲載ページ	196
款	03	民生費	会計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	197,530	55,720	0	141,810	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	55,720	0	0	0	
目的	エネルギー・食料品等の価格高騰に伴い、特に家計への影響が大きい住民税均等割のみ課税世帯の生活を支援するため、給付金を給付する。また、価格高騰により特に深刻な影響を受ける低所得子育て世帯（住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯）に対して、18歳以下の児童1人当たり5万円を加算して給付する。				
取組内容・実績	令和6（2024）年6月1日時点で住民税非課税世帯である6世帯へ世帯当たり7万円を給付し、同日時点で住民税均等割のみ課税世帯である458世帯へ世帯当たり10万円を給付した。さらに、18歳以下の児童を養育する112世帯へ児童1人当たり5万円を加算給付した。				
成 果	エネルギー・食料品等の価格高騰に伴い、特に家計への影響が大きい世帯の負担軽減が図られた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和6（2024）年度で終了する。				

事務事業名	物価高騰対応重点支援給付金給付事業費			決算書 掲載ページ	196
款	03	民生費	会計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	302,500	102,650	0	199,850	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	102,650	0	0	0	
目的	エネルギー・食料品等の価格高騰に伴い、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯の生活を支援するため、給付金を給付する。また、価格高騰により特に深刻な影響を受ける低所得子育て世帯（住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯）に対して、18歳以下の児童1人当たり5万円を加算して給付する。				
取組内容・実績	令和7（2025）年3月31日時点で住民税非課税世帯である561世帯へ世帯当たり10万円を給付し、同日時点で住民税均等割のみ課税世帯である408世帯へ世帯当たり10万円を給付した。さらに、18歳以下の児童を養育する78世帯へ児童1人当たり5万円を加算給付した。				
成 果	エネルギー・食料品等の価格高騰に伴い、特に家計への影響が大きい世帯の負担軽減が図られた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和6（2024）年度で終了する。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共に創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	物価高騰対応重点支援給付金給付事業費（追加分）			決算書 掲載ページ	196		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	265,000	217,230	26,500	21,270			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	217,230	0	0	0			
目的	エネルギー・食料品等の価格高騰に伴い、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯の生活を支援するため、給付金を給付する。また、価格高騰により特に深刻な影響を受ける低所得子育て世帯（住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯）に対して、18歳以下の児童1人当たり2万円を加算して給付する。						
取組内容・実績	令和7（2025）年6月1日時点で住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯である6,959世帯へ世帯当たり3万円を給付した。さらに、18歳以下の児童を養育する267世帯へ児童1人当たり2万円を加算給付した。						
成果	エネルギー・食料品等の価格高騰に伴い、特に家計への影響が大きい世帯の負担軽減が図られた。						
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和7（2025）年6月30日までの申請をもって、終了する。						

事務事業名	女性相談支援事業			決算書 掲載ページ	200		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	子育て支援課			
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	4,121	3,679	0	442			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	1,916	0	19	1,744			
目的	パートナーからの暴力、離婚問題、家庭不和、ひとり親家庭の自立支援等の相談窓口となり、安全かつ自立した生活への相談支援を行う。						
取組内容・実績	DV被害を含む主に女性からの生活及び福祉に関する相談への対応及び必要な助言を行うとともに、自立に向けた支援を行った。延べ557件（うちDV123件）、実人数は120人（うちDV33人）の相談を受けた。						
成果	DVや離婚問題のほか、家庭問題、経済問題、ひとり親家庭自立支援など様々な相談を受け、被害の未然防止、問題解決及び自立支援に寄与することができた。						
課題・今後の方向性	令和6（2024）年4月「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されたことから、相談を多面的に捉えるため、相談員の更なる資質の向上と民間団体との協働体制を強化する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護給付費			決算書 掲載ページ	200		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	1,168,450	1,166,438	0	2,012			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	877,035	0	0	289,403			
目的	障がい福祉サービスの提供により、障がいのある方が地域で安心して暮らせるよう支援する。また、サービスを利用するための費用を市が負担し、経済的負担の軽減を図る。						
取組内容・実績	月平均で、居宅介護82人、重度訪問介護6人、行動援護15人、同行援護10人、療養介護58人、短期入所14人、生活介護199人及び施設入所支援106人の利用に対して給付した。						
成果	障がいのある方の地域生活を支えるサービスを提供することにより、障がいのある方が地域で安心して生活することに寄与した。また、サービスを利用するための費用を市が負担し、経済的負担の軽減を図ることができた。						
課題・今後の方向性	障がいのある方が必要としているサービスを的確に把握し、引き続きサービス提供体制を確保する。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	訓練等給付費			決算書 掲載ページ	202		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	616,130	606,255	0	9,875			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	451,806	0	0	154,449			
目的	障がい福祉サービスの提供により、障がいのある方が地域で安心して暮らせるよう支援する。また、サービスを利用するための費用を市が負担し、経済的負担の軽減を図る。						
取組内容・実績	月平均で、自立訓練（機能訓練）1人、自立訓練（生活訓練）10人、宿泊型自立訓練6人、就労移行支援14人、就労継続支援A型19人、就労継続支援B型224人、就労定着支援14人及び共同生活援助92人の利用に対して給付した。						
成果	自立した日常生活に必要な訓練や就労のための支援などのサービス提供及び経済的な負担軽減を図ることにより、住み慣れた地域で安心して生活することに寄与することができた。						
課題・今後の方向性	障がいのある方の介護者の高齢化などにより、利用の増加が見込まれるため、障がいのある方が必要としているサービスについて、障がい福祉サービス事業所や関係機関と情報共有を行い、適切なサービス提供体制の確保を図る。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	補装具給付費			決算書 掲載ページ	202		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	23,434	22,032	0	1,402			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	17,543	0	0	4,489			
目的	障がいのある方が自立した日常生活を送ることができるよう、身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具の購入費用及び修理費用を給付する。						
取組内容・実績	申請に基づき、義肢、装具、補聴器、車椅子、電動車椅子等、補装具の購入費用として110件、修理費用として105件を給付した。						
成果	補装具の購入費や修理費を給付することで、身体の欠損又は損なわれた身体機能の補完・代替と経済的負担の軽減を図ることができた。						
課題・今後の方向性	障がいのある方に必要な補装具の給付を継続し、障がいのある方の日常生活や社会生活の向上を図る。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	計画相談・地域相談支援給付費			決算書 掲載ページ	202		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	37,844	37,541	0	303			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	29,547	0	0	7,994			
目的	サービス利用計画の策定やサービス調整などの支援により、障がいのある方自らが望む生活を提供する。						
取組内容・実績	サービス等利用計画の作成を行った。支給決定者数（月平均）は計画相談支援625人、地域定着支援22人であった。						
成果	障がいのある方の意向に沿った支援計画の作成、入所施設等からの地域への移行及び地域移行後の夜間等を含めた緊急時の連絡相談を行うことで、障がいのある方が安全・安心に生活することに寄与することができた。						
課題・今後の方向性	障がいのある方が必要としているサービスの提供と本人の意向に沿った支援が行えるよう、柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会を中心とした、相談支援事業所、関係機関などのネットワーク強化を図り、地域の相談支援体制の充実を進める。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	日常生活用具給付事業			決算書 掲載ページ	204		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	25,145	24,942	0	203			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	9,289	0	0	15,653			
目的	在宅の障がい者等の日常生活の負担を軽減するため、障がい特性に応じた必要な日常生活用具の購入費用を給付する。						
取組内容・実績	申請に基づき、電気式たん吸引器、パルスオキシメーター、視覚障害者用拡大読書器、情報・通信支援用具、時計、人工内耳用電池、特殊寝台、移動用リフト、聴覚障害者用通信装置、ストーマ装具等1, 853件を給付した。						
成果	障がいのある方の自立や生活の質を向上させ、介助者の身体的負担を軽減するとともに、経済面での負担軽減を図ることができた。						
課題・今後の方向性	日常生活用具の給付を継続することで、障がいのある方の日常生活や社会生活の向上を図る。また、日常生活用具の給付種目の見直し及び拡充に努める。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	地域活動支援センター事業			決算書 掲載ページ	204		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	30,982	30,035	0	947			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	711	0	71	29,253			
目的	障がいのある方の地域生活を支援し、社会参加を促進する。						
取組内容・実績	地域活動支援センターⅡ型（障害者デイサービス事業）の支給決定者数は31人、地域活動支援センターⅢ型の登録者数は地域活動支援センター事業が37人、小規模作業所事業が7人であった。						
成果	日中活動の場の提供により、障がいのある方が仲間などとの活動を通じて充実した地域生活を送ることができた。						
課題・今後の方向性	今後も障がいのある方の地域活動の支援及び社会との交流の促進を図り、地域活動支援センターの支援体制の充実に向けた取組を行う。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	日中一時支援事業			決算書 掲載ページ	204		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	35,080	32,818	0	2,262			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	13,755	0	0	19,063			
目的	障がいのある方の家族が就労や休息するための時間を確保する。						
取組内容・実績	月平均の実利用者数34人、月の延べ利用回数の平均で581回の利用があった。						
成 果	障がいのある方を一時的に介護することにより、家族の就労や休息するための時間を確保することができた。						
課題・今後の方向性	今後も多様なニーズに対応したサービスの提供体制の確保のため、3つの類型（日中短期入所、学齢期障がい児支援、社会適応訓練）で事業を実施する。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害者相談支援事業			決算書 掲載ページ	206		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	25,442	25,442	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	0	0	0	25,442			
目的	障がいのある方やその家族などからの相談に応じ、必要な情報提供等の援助を行うことで、障がいのある方が自立した日常生活を送ることができるよう支援する。						
取組内容・実績	延べ相談対応件数は、5つの相談支援事業所合計で2,288件であった。						
成 果	障がいのある方やその家族などが、適切なサービスを利用し、安心して住み慣れた地域で自立した生活を継続することができた。						
課題・今後の方向性	安心して住み慣れた地域で自立した生活を継続することができよう、引き続き障がいのある方やその家族が地域で適切な助言を受けられる体制を確保していく。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	身体障害者等交通費助成事業			決算書 掲載ページ	210		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	11,968	10,110	0	1,858			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	0	0	0	10,110			
目的	心身障がい者の社会参加や通院・通所に要する費用の負担軽減を図る。						
取組内容・実績	心身に障がいがある方にタクシー利用料金の助成又は自動車燃料費の助成を行った。 タクシー利用料金助成 589人 自動車燃料費助成 91人						
成果	移動に要する交通費の助成を行うことで、適切な医療受診の継続、社会参加の促進及び経済的負担の軽減が図られた。						
課題・今後の方向性	障がいのある方の適切な医療受診の継続や家族を含めた社会参加の促進及び経済的負担の軽減を図る。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	福祉職員支援事業			決算書 掲載ページ	210		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	2,015	1,500	0	515			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	0	0	0	1,500			
目的	市内障がい児者の入所施設及び通所施設（障がい福祉サービス事業所）で障がい福祉業務に従事する職員の人材確保を図ることで、障がい福祉サービスの提供体制を充実する。						
取組内容・実績	障がい福祉サービス事業所に新たに勤務した方に対し、7件1,500千円の補助金を交付した。						
成果	障がい福祉サービス事業所の人材確保を支援することで、安定したサービスの提供につながった。						
課題・今後の方向性	安定したサービスを提供するため、法人や障がい福祉サービス事業所と連携し、福祉人材の確保に努める。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害福祉従事者人材確保・育成支援事業			決算書 掲載ページ	210		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	1,107	865	0	242			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	0	0	0	865			
目的	障がい福祉施設で働く人材の確保及び職場への定着を図ることで、障がい福祉サービスの提供体制を充実する。						
取組内容・実績	人材確保に向けた取組を3法人が実施し、765千円の補助金を交付した。介護・障がい等施設の施設長を対象に中長期的な施設運営を学ぶための経営セミナーを開催し、31事業所39名が参加した。また、介護・福祉若手職員交流会を2回開催し、延べ36名が参加した。						
成果	障がい福祉事業所の人材確保及び職場定着により、安定した障がい福祉サービスを提供することができた。経営セミナーを通じ、今後の施設運営に向けた意識変革のきっかけ作りの機会となった。また、若手職員同士の交流会により、事業所の垣根を超えた仲間づくりを促すことができた。						
課題・今後の方向性	人材確保及び職場定着支援については、安定したサービス提供につながることから、法人等と情報共有を行うとともに、制度の利用促進を図る。法人等と連携し経営セミナーを継続し、サービス体制の充実に向けた取組を行う。あわせて、若手職員に対しても、事業所の垣根を超えた仲間づくりの場の提供を継続していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害児通所給付費			決算書 掲載ページ	210		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	102,751	97,164	0	5,587			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	74,056	0	0	23,108			
目的	子どもの成長発達を図るために支援を行い、福祉サービスの利用に係る費用を市が負担することで、障がい児を育てる保護者の負担軽減を図る。						
取組内容・実績	月平均で、児童発達支援98人、放課後等デイサービス63人及び保育所等訪問支援1人の利用に対して給付した。						
成果	集団生活への適応訓練や生活能力向上のための訓練などを継続的に提供することにより、障がい児の成長を支援することができた。						
課題・今後の方向性	利用者個々のニーズに応じて利用場所を選択できるよう、引き続き体制の整備に取り組む。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害児相談支援給付費			決算書 掲載ページ	212		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	11,223	11,223	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	7,948	0	0	3,275			
目的	サービスの利用計画の策定、一定期間ごとの支援等の利用状況の検証及び計画の見直しを行うことで、障がい児の成長に沿った療育サービスの利用につなげる。						
取組内容・実績	障がい児支援利用計画の作成を行った。支給決定者数（月平均）は、186人であった。						
成果	障がい児支援利用計画の作成により、障がいの状況や成長に沿ったサービスが提供され、適切なサービス利用が行われた。						
課題・今後の方向性	障がい児が必要としているサービスの提供と本人の意向に沿った支援が行えるよう、柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会を中心とした、相談支援事業所、関係機関などのネットワーク強化を図り、地域の相談支援体制の充実を進める。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害者医療費			決算書 掲載ページ	212		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	福祉課			
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	84,229	84,176	0	53			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	52,923	0	0	31,253			
目的	一定の障がいがある方に対し、更生医療と育成医療の医療費補助を行うことで、本人の自立した日常生活及び社会生活の支援を図る。また、重度の障がいがあり、常時介護と医療を必要とする方に対し、療養介護の医療費補助を行うことで経済的な負担軽減を図る。						
取組内容・実績	更生医療（心臓・腎臓・肝臓等）は187人、育成医療（18歳未満の障がい除去手術等）は11人、療養介護（主に筋ジストロフィー）は延べ698人に対し、医療費の補助を行った。						
成果	継続的治療、障がい除去、長期の療養介護等に必要な医療費について、経済的負担の軽減が図られた。						
課題・今後の方向性	引き続き、障がいのある方の経済的負担の軽減を図る。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	老人保護措置委託事業			決算書 掲載ページ	212		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	介護高齢課			
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	107,584	103,561	0	4,023			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	60,000	0	20,943	22,618			
目的	環境上の理由や経済的理由により、自宅での日常生活が難しい高齢者を対象として、養護老人ホームへ入所を委託することで、日常生活の見守りを行い、生活の安定・向上を図る。また、虐待を受けた高齢者を保護するとともに、養護者の負担軽減を図り、高齢者の権利利益を擁護する。						
取組内容・実績	養護老人ホーム御山荘に34人、養護盲老人ホーム胎内やすらぎの家に1人及び養護老人ホーム龍宮荘に1人の入所を委託した。高齢者虐待防止のための緊急入所は、該当がなかった。						
成 果	環境上の理由や経済的理由により、自宅での日常生活が難しい高齢者を対象に、養護老人ホームへ入所を委託することで、日常生活の見守りを行い、生活の安定・向上を図ることができた。						
課題・今後の方向性	今後も継続的に環境上や経済的な理由により、自宅での日常生活が難しい高齢者を対象に、養護老人ホームへ入所を委託することで、日常生活の見守りを行い、生活の安定・向上を図る。また、虐待を受けた高齢者を保護するとともに、養護者の負担軽減を図り、高齢者の権利利益を擁護する。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護従業者育成・定着支援事業			決算書 掲載ページ	216		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	介護高齢課			
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	44,694	41,088	0	3,606			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	41,088			
目的	安定的な介護サービスを提供するため、介護事業所などに勤務する職員の職場定着と新たな介護人材の確保を支援する。						
取組内容・実績	介護資格取得支援補助金により、66事業所81人の資格取得を支援した。 介護夜勤対応者補助金を14法人39事業所に交付し、夜勤対応者は577人であった。 介護支援専門員定着支援金を11人に交付した。						
成 果	各種補助金の交付により介護職員のスキルアップや職場定着を図ることができた。						
課題・今後の方向性	介護ニーズの増大と生産年齢人口の急減が見込まれる中、介護人材の確保が急務となっている。介護職員の職場定着及びスキルアップのための取組を今後も継続する。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護職員就職支援事業			決算書 掲載ページ	216		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	介護高齢課			
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	4,650	2,650	0	2,000			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源			
	0	0	0	2,650			
目的	市内の介護事業所で介護や看護業務に従事する職員の人材確保を図る。						
取組内容・実績	介護職員就職支援事業補助金により、補助対象者11名に対して補助金を交付した。						
成果	補助金の交付により介護職員の人材確保を図ることができた。						
課題・今後の方向性	補助金事業を知らない求職者に対して、事業者と協力して周知に取り組む。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護のしごと魅力発信・創出事業			決算書 掲載ページ	216		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	介護高齢課			
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	343	50	0	293			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源			
	0	0	0	50			
目的	人材の採用戦略や現場で働く若手職員のモチベーションの向上につなげ、人材確保と定着を促進する。また、介護人材の裾野拡大を図る。						
取組内容・実績	新たな介護人材確保に向けて、市内高校での出前授業や市役所での介護講座を開催し、若い世代に介護職の魅力を発信した。 このほか、介護・福祉施設の管理者を対象とした経営セミナーを開催し、31事業所39名が参加した。また、介護・福祉若手職員交流会を2回開催し、延べ38名が参加した。						
成果	出前授業や介護講座で介護職の魅力発信を行うことにより、介護職のイメージアップを図った。 経営セミナーにより、今後の施設運営に向けての意識改革のきっかけを提供することができた。また、若手職員同士の交流会により、事業所の垣根を超えた仲間づくりを促すことができた。						
課題・今後の方向性	若い世代に対して介護職の魅力を発信することで、介護のイメージアップ・理解促進を図り、将来的な介護人材の確保につなげる必要がある。 また、施設の管理者に対し、継続的に今後の施設運営に向けての意識改革の場を提供していく必要がある。あわせて、若手職員に対しても、事業所の垣根を超えた仲間づくりの場の提供を継続していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	原油価格・物価高騰等緊急対策事業			決算書 掲載ページ	218		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	介護高齢課			
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	33,680	33,030	0	650			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	18,760	0	0	14,270			
目的	支援金を交付することで、物価高騰等の影響を受けながらも継続して介護サービスを安定的に提供している事業所等の事業継続を支援する。						
取組内容・実績	介護・障害福祉施設等物価高騰対策支援金を市内に介護サービス事業所のある41法人に対して、総額で33,030千円交付した。						
成果	市内介護サービス事業所等の事業継続の支援をすることができた。						
課題・今後の方向性	今後も物価高騰の長期化による介護サービス事業所等への影響を把握し、必要な支援を検討する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	地域活動支援事業			決算書 掲載ページ	218		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	介護高齢課			
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	3,658	3,046	0	612			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	1,281	0	0	1,526			
目的	コツコツ貯筋体操等を通じて、体を動かすことの楽しさを実感し、足腰の筋力と体力を向上することにより、転倒しにくい体をつくり、自立した生活を送ることを目指す。また、参加者同士が主体的に取り組む体操の場づくりと健康な地域づくりを目指す。						
取組内容・実績	令和7（2025）年3月末時点で、コツコツ貯筋体操は183会場で実施しており、実人数2,736人、延べ100,466人が参加した。また、体操普及の担い手である高齢者運動センターには274人が登録し、そのうち219人が年間延べ10,657回活動した。						
成果	コツコツ貯筋体操を実施する会場が新たに3会場立ち上がり、延べ参加人数が増加した。保育園との取組により、幅広い年代の方に体操を周知できた。また、会場訪問等を実施し、市民が主体的に取り組む体操の場を支援するとともに、体操を通じて支え合う地域づくりに寄与した。						
課題・今後の方向性	会場支援を継続するとともに、新規の会場や参加者の増加に向けた取組を行う。また、高齢者運動センターの育成にも取り組む。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	くらしのサポートセンター事業			決算書 掲載ページ	218		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	介護高齢課			
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	78,134	77,307	0	827			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	28,872	0	38,718	9,717			
目的	住民が主体となり介護予防のための活動を行うことで、高齢者が住み慣れた地域や家庭で暮らし続けていける環境づくりを進める。また、住民ボランティア等を育成し、地域での支え合い体制をつくる。						
取組内容・実績	市内23地区に対して、くらしのサポートセンターを運営するための補助金を支出し、実人数930人、延べ26,740人の利用があった。また、12地区では住民ボランティアによる助け合い活動を実施した。						
成果	交流、体操等を行う場の支援により、閉じこもりや要介護状態の悪化を防ぐこと及び高齢者の生きがいづくりにつながった。また、支え合いの地域づくりへの意識が高まった。						
課題・今後の方向性	くらしのサポートセンター事業の実施地区について、引き続き活動支援を行う。また、高齢者の生活状況が多様化していることを踏まえて、地区にあった居場所づくりや支え合い活動の形を検討する。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	包括的支援事業			決算書 掲載ページ	218		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	介護高齢課			
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	142,452	141,326	0	1,126			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	76,629	0	32,514	32,183			
目的	高齢者が心身の健康を保ち、生活の安定のために必要な援助を受けることで、要介護状態等になつても可能な限り地域で自立した日常生活ができるように支援する。						
取組内容・実績	高齢者、家族、関係機関等から延べ4,756件の相談に対応した。また、権利擁護事業に関する支援を延べ727人に実施した。高齢者虐待には、延べ146件対応した。						
成果	高齢者やその家族の相談対応、高齢者の権利を守るための取組、地域の専門職への支援及びネットワーク構築を行うことにより、地域住民の保健医療の向上と福祉の増進を図ることができた。						
課題・今後の方向性	高齢者、その家族等の相談内容が多様化及び複雑化している。医療、介護及び地域の関係者と連携し、今後も継続して支援を行っていく。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	生活支援体制整備事業			決算書 掲載ページ	220		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	介護高齢課			
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	15,540	15,068	0	472			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	8,619	0	3,466	2,983			
目的	協議体（関係者間の連携会議）やくらしのサポートセンターえきまえを設置し、生活圏域を担当する生活支援コーディネーターを配置することにより、生活支援サービスの充実や地域の支え合いの体制づくりを推進する。						
取組内容・実績	くらしのサポートセンターえきまえにおいて、延べ5,002人が介護予防や支え合いの活動に取り組んだ。また、生活支援コーディネーターが支え合いの体制を推進するために、地域活動を2,334回行った。						
成 果	生活支援サービスの充実及び地域における支え合い活動の推進により、地域の見守り支援体制の強化や担い手となる高齢者の生きがいの創出を図ることができた。						
課題・今後の方向性	今後も生活支援サービスの充実や地域で支え合う体制づくりを推進する。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護基盤整備事業			決算書 掲載ページ	224		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	01	社会福祉費	担当	介護高齢課			
目	04	社会福祉施設費	現年度・繰越の別	繰越明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	23,100	23,100	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	23,100	0	0	0			
目的	介護基盤の整備促進及び開設後の安定したサービス提供への支援を行う。						
取組内容・実績	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）整備事業者が行う、非常用発電機設置工事に対し、補助金を交付した。						
成 果	停電時にも必要な電力供給が確保できるようになり、安定した介護サービスの提供に寄与することができた。						
課題・今後の方向性	国の地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金を財源とした補助事業を活用し、高齢者施設の防災・減災対策を推進する。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	児童手当給付費			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担当	福祉課	
目	01	児童福祉総務費		現年度・繰越の別	現年度予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	1,048,753	1,034,443	0	14,310	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源	
	892,689	0	0	141,754	
目的	児童を養育している方に手当を支給することにより、家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健やかな成長を支援する。				
取組内容・実績	<p>児童を養育している方に、児童手当を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ児童数：88, 981人 ・支給総額：1, 024, 975千円 				
成 果	児童手当を支給することにより、家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健やかな成長を支援し、子育てに掛かる経済的負担を軽減できた。				
課題・今後の方向性	児童手当法に基づき、今後も継続して適切な児童手当の支給を実施する。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子どもの医療費助成事業			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担当	福祉課	
目	01	児童福祉総務費		現年度・繰越の別	現年度予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	227,733	225,124	0	2,609	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源	
	67,053	0	0	158,071	
目的	保護者の経済的負担を軽減するとともに、子どもの疾病的早期発見と早期治療を促進し、安心して子どもを育てることができる環境を作る。				
取組内容・実績	<p>高校卒業（18歳到達年度末）までの子どもの医療費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成件数119, 856件 ・助成総額218, 430, 954円 				
成 果	保護者の経済的負担を軽減するとともに、子どもの疾病的早期発見と早期治療に寄与した。				
課題・今後の方向性	高校卒業（18歳到達年度末）までの子どもが必要な医療サービスを受けられるよう、引き続き医療費助成を実施する。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子どもの虐待防止事業			決算書 掲載ページ	228		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	子育て支援課			
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	17,701	17,157	0	544			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	9,918	0	60	7,179			
目的	児童虐待の予防・早期発見・重度化防止のため、関係機関と連携し、迅速かつ適切に対応する。また、子どもの人権擁護と自立を目指し、適切な養育支援を行い、児童虐待防止に係る啓発を行うことで、地域の子どもの見守り意識の醸成に努める。						
取組内容・実績	家庭児童相談員が、家庭の養育環境等に支援が必要な相談者249人（延べ4,223人）に対し、園、学校等と連携して、来所、電話及び訪問による相談を実施した。また、市民向け講演会（参加者111人）、親支援を目的としたNP講座（参加者9人）及び親と子の上手なコミュニケーション講座（単発講座参加者11人、連続講座参加者6人）を開催し、育児不安の軽減を図り、親子の関係を育てる支援を実施した。						
成果	相談対応を通じて、子育ての不安解消や虐待予防につなげることができた。また、市民向け講演会や親支援講座では、参加者から虐待予防や子どもへの適切な関わりについて学んでもらう機会となった。						
課題・今後の方向性	児童虐待の早期介入と予防に向け、関係機関への意識啓発と連携の強化に継続して取り組む必要がある。ヤングケアラーを正しく理解し「気づく・つなぐ・支える」の支援体制を整備する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	こども家庭センター利用者支援事業			決算書 掲載ページ	230		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	子育て支援課			
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	12,039	11,093	0	946			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	6,390	0	49	4,654			
目的	妊娠期から子育て期（3歳までを重点的に）の母子保健や育児に関する様々な悩みなどに、保健師、助産師などが専門的知見から助言などの切れ目のない支援を行うことにより、産後うつ、児童虐待などを予防する。						
取組内容・実績	産婦健診における産後うつ質問票のハイスコア者及び医療機関からの連絡により支援が必要な方に対し、支援プランを48件作成した。						
成果	医療機関との連携により、必要な方への支援を速やかに実施することができた。また、精神保健福祉士の関わりにより、メンタルに不調がある方への対応や精神科との連携が充実した。						
課題・今後の方向性	精神疾患の既往等、妊娠期から産後の継続的多面的な支援を必要とする方が増加傾向にある。保健師、助産師及び精神保健福祉士がそれぞれの専門性をいかし、多面的な支援を継続する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

事務事業名	子育て応援券事業			決算書 掲載ページ	230
款	03	民生費	会計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	21,256	16,772	0	4,484	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	9,000	7,772	
目的	経済的負担の軽減や子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図る。				
取組内容・実績	市内に住所を有する0歳から3歳までの子どものいる世帯に対し、子ども1人当たり1万円の子育て応援券を交付した。令和6（2024）年1月に開始した電子チケットについて、通年で実施し、全ての対象者に電子チケットを交付した。1,427人の対象者に交付し、登録事業者は前年度から2者増加し、90者となった（令和5（2023）年度発行分利用率97.87%）。				
成果	乳幼児を抱える世帯への経済的負担の軽減や地域の子育て環境の充実を図ることにより、子育てしやすい環境づくりに寄与することができた。また、電子化により、利用者の利便性の向上、登録事業者の換金対応に係る業務負担の軽減及び市職員の業務効率向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	電子チケット取扱事業者を増やすことで、更なる利便性の向上を図る必要がある。また、対象者への案内の方法を見直すことで、郵送費用の削減を含む行政コストの軽減を目指す。				

事務事業名	出産・子育て応援交付金事業			決算書 掲載ページ	230
款	03	民生費	会計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	36,722	33,094	0	3,628	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	26,319	0	0	6,775	
目的	全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境の充実を図る。				
取組内容・実績	妊娠・出産された方に対し、出産・育児の見通しを立てるための面談（妊娠届出時：312件、出産後：310件）などの伴走型相談支援を実施するとともに、子育て支援サービスの利用者負担軽減を図る経済的支援（出産応援交付金：1,560万円、子育て応援交付金：1,550万円）を実施した。				
成果	妊婦・子育て家庭に対し、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施することにより、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境づくりに寄与することができた。				
課題・今後の方向性	里帰り出産や、妊娠期・出産後の転居も一定数あることから、面談及び交付金の支給について、その都度自治体間で情報連携を行う必要がある。また、令和7（2025）年度からは、子ども・子育て支援法の新たな給付として制度化され、妊婦のための支援給付事業として法定事業となる。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	家庭養育応援券事業			決算書 掲載ページ	232		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	子育て支援課			
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	8,177	5,762	0	2,415			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源			
	0	0	0	5,762			
目的	家庭で養育をしている世帯における経済的負担の軽減により、安心して子育てができる環境の充実を図る。						
取組内容・実績	市内に住所を有する1歳児から5歳児までの子どものうち、市の独自施策「1・2歳児の保育料無料化」や国の施策「3歳児から5歳児までの保育料無償化」の対象となっていない子どもを養育している世帯に対し、子ども1人当たり月5,000円の家庭養育応援券の電子チケットを交付した。延べ367人（実人数151人）に交付し、令和6（2024）年度中発行分の利用率は72.36%であった。						
成果	1歳児から5歳児までの子どもを家庭で養育する世帯への経済的負担の軽減を図ることで、安心して子育てができる環境づくりに寄与することができた。						
課題・今後の方向性	令和6（2024）年度からの新規事業だが、子育て応援券事業の運用と足並みをそろえたことで、目立った混乱もなく受け入れられており、家庭で子どもを養育する世帯の経済的負担の軽減に寄与した。今後は、より一層の電子チケットの取得率の向上と取得チケットの利用促進を、子育て応援券事業と合わせて実施する。						

事務事業名	放課後児童健全育成事業			決算書 掲載ページ	232		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	子育て支援課			
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	259,447	246,929	0	12,518			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源			
	125,968	0	92,617	28,344			
目的	放課後や学校休業日に留守家庭となる小学校の児童を預かり、適切で安全な遊びや生活の場を提供することにより、子どもたちの健全育成を図る。						
取組内容・実績	市内23か所の児童クラブを民間委託（柏崎市社会福祉協議会22か所、西山福祉会1か所）し、年間延べ6,673日開設、172,998人の利用があった。						
成果	適切な遊びと生活の場を提供することにより、児童の健全育成を図ることに加えて、保護者の就労、介護等の支援にも寄与することができた。						
課題・今後の方向性	児童クラブ支援員の安定的な人材確保や支援が必要な児童の対応方法について、専門的助言が受けられる体制作りに継続して取り組む必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	児童クラブ整備事業			決算書 掲載ページ	232
款	03	民生費		会計	一般会計
項	02	児童福祉費		担当	子育て支援課
目	01	児童福祉総務費		現年度・繰越の別	現年度予算・継続費・過次繰越予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	69,842	65,239	0	4,603	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源	
	55,000	0	0	10,239	
目的	児童クラブを適切に整備し、子どもたちが安全安心に過ごすことにより、健全な成長に寄与する。				
取組内容・実績	荒浜小学校の校舎棟改築工事に併せて荒浜児童クラブを併設するため、令和5（2023）年度～令和6（2024）年度継続事業の第2期工事を行い、令和7（2025）年1月17日に竣工した。また、暑さに対応するため、剣野第二児童クラブと田尻第二児童クラブにおいて、エアコンの入替えを行った。				
成 果	荒浜児童クラブの新築に係る2か年継続事業の第2期工事を計画どおり実施し、予定どおり令和7（2025）年1月17日に竣工した。また、既存クラブのエアコンの入替えを実施したことにより、より良い環境が整備され、児童に適切で安全な生活の場を提供することができた。				
課題・今後の方向性	次年度以降も整備計画に基づき、エアコンの入替えを実施する。また、建築から10年以上経過する児童クラブについては、修繕などを計画的に実施する必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

事務事業名	結婚活動応援事業				決算書 掲載ページ
款	03	民生費	会計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	現年度予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	7,508	5,731	0	1,777	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源	
	3,902	0	0	1,829	
目的	出会い系や結婚を望む独身男女を支援し、未婚化や晩婚化の解消につなげる。				
取組内容・実績	婚活イベントは3回開催し、参加者数は延べ28名で、6組のマッチングが成立した。結婚新生活支援補助金は、20組に対して合計で4,683千円を交付した。ハートマッチにいがたの登録料補助は、8名に対して合計で43千円を交付した。また、ハートマッチにいがたの臨時サポートセンターを2回開設した。				
成 果	婚活イベントの開催やマッチングシステムの活用により、出会いの機会を創出することができた。また、結婚新生活支援補助金による経済的支援により、結婚に向けての後押しをすることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、独身男女の出会いに係る様々な機会を提供する。また、結婚の希望を叶える後押しをするため、新生活に係る経済的支援を継続する。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	地域子育て支援拠点事業			決算書 掲載ページ	236		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	保育課			
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	28,864	26,732	0	2,132			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	14,422	0	109	12,201			
目的	親子の交流の場を提供し、子どもが健やかに成長できる地域社会を目指すとともに、子育ての楽しさを発信する。また、子育て中の親子が安心して過ごし、子育て不安を解消できるよう支援する。						
取組内容・実績	公立子育て支援室及び元気館ジャングルキッズにおいて、未就園児とその保護者に交流の場を提供し、延べ6,768組が利用するとともに、325件の子育て相談を受け付けた。						
成果	未就園児とその保護者が交流する場を提供することで、地域における子育て支援体制を確保することができた。また、利用者にとって身近な相談ができる場として、子育てに関する相談を受け付け、必要な支援につなぐことで、保護者の子育て不安を軽減することができた。						
課題・今後の方向性	継続して子育て支援室に関する情報発信を行うことで、保護者の利用を促すとともに、子育て相談により保護者の子育て不安を軽減できるよう支援する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	早期療育事業			決算書 掲載ページ	238		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	子どもの発達支援課			
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	32,771	31,317	0	1,454			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	0	0	22,723	8,594			
目的	心身や言葉の発達に心配のある乳幼児とその保護者を対象に、個々の発達段階や特性に応じた発達支援を行い、保護者の子育て不安の軽減を図る。						
取組内容・実績	令和6（2024）年度は、児童発達支援では年間123人の利用者に延べ1,827件の発達支援を、保育所等訪問支援では3人の登録者に延べ18回の訪問支援を行った。障害児相談支援では、年間150人のサービス等利用計画を作成した。キッズ・サポート園巡回相談では、73人の園児に関する専門的な助言を行った。						
成果	専門的な知識経験を有する早期療育事業指導員や臨床心理士の配置により、乳幼児の集団生活への適応力並びに保護者の子育てに関する意欲及び自信が向上した。キッズ・サポート園巡回相談により、保育士の支援方法の技術向上を図った。						
課題・今後の方向性	発達支援に関するニーズに対応するため、療育支援機関としての体制充実、職員の専門性の向上及び関係機関との連携強化を図る。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	ふれあいルーム推進事業			決算書 掲載ページ	238		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	子どもの発達支援課			
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	6,555	6,399	0	156			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	4,773	0	32	1,594			
目的	適応指導教室（ふれあいルーム）に指導員を配置し、登校が困難な小・中学生及び高校生への学習の意識付け、集団生活への適応、体験活動及び居場所の提供をすることにより、学校や社会参加を目指す。						
取組内容・実績	不登校で学校生活への適応が難しい児童生徒に対して、学習の意識付け、集団生活への適応、体験活動及び居場所の提供等のため適応指導教室（ふれあいルーム）を年間238日開室し、最大で13人が在籍した。						
成 果	在籍した児童生徒自らが進路を主体的に捉え、進学や部分登校できるようになるなど、将来的な社会的自立に向けての支援を行うことができた。						
課題・今後の方向性	中学生から高校生、高校生から社会人へと途切れない支援を行うため、関係機関との情報共有や引継ぎを確実に実施していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	カウンセリングルーム運営費			決算書 掲載ページ	240		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	子どもの発達支援課			
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	14,564	13,965	0	599			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	70	13,895			
目的	臨床心理士及び非常勤相談員を配置し、不登校、発達障がいなどの心身の不調やいじめ問題に悩む小・中学生、高校生及びその保護者への相談を行い、悩みの早期解決を図る。						
取組内容・実績	臨床心理士及び相談員が、児童生徒及びその保護者に対して、一人一人に応じたきめ細やかな相談支援を行った。相談支援は、122人に対して延べ1,745回実施した。また、小・中学生の発達障がい等の児童生徒を対象にしたソーシャルスキルトレーニングを計8回、小学生延べ66人に実施した。						
成 果	相談者に対する専門的なカウンセリングを行うことによって、不登校の長期化を予防し、発達障がいの二次障がいの防止につなげることができた。						
課題・今後の方向性	相談内容が多様化及び複雑化しており、学校や関係機関との情報共有・連携を密にして、相談支援を行う必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

事務事業名	かしわざきこども大学事業			決算書 掲載ページ	242		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	学校教育課			
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	4,612	3,174	0	1,438			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	3,174	0			
目的	かしわざきこども大学として、地域団体、大学などと連携し、学校や家庭だけでは体験できない様々な学びの場を提供し、子どもたちの生きる力を育む。						
取組内容・実績	学校、地域団体、大学などと連携して各種事業を実施した。「自然体験コース」（497名参加）、「キャリア教育コース」（282名参加）、「ものづくり工作コース」（15名参加）、「国際交流コース」（26名参加）、「エネルギーのまち、柏崎探求コース」（9名参加）、「ものづくりのまち柏崎・歴史探求コース」（8名参加）、こどもの笑顔創造プロジェクト（9団体）。						
成果	地域団体、大学等と連携し、学校や家庭だけでは体験できない様々な活動の場を提供し、子どもたちの生きる力を育むことができた。						
課題・今後の方向性	財源であるかしわざき子ども育成基金の残高が減少しているため、新たな財源の確保について検討するとともに、かしわざきこども大学の実施内容を整理する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	児童扶養手当給付費			決算書 掲載ページ	244		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	福祉課			
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	218,914	214,479	0	4,435			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	71,353	0	0	143,126			
目的	児童扶養手当の給付業務を円滑に行うことにより、ひとり親家庭などにおける児童の健やかな成長及び生活の安定と自立の促進を図る。						
取組内容・実績	ひとり親など延べ5,139人に対し、214,236,510円の手当を支給した。						
成果	給付業務を円滑に行うことにより、ひとり親家庭などにおける児童の健やかな成長及び生活の安定と自立の促進を図ることができた。						
課題・今後の方向性	ひとり親家庭などにおける児童の健やかな成長を願い、児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を図るため、手当を支給する。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業			決算書 掲載ページ	244		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	福祉課			
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	35,064	30,870	0	4,194			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	15,133	0	0	15,737			
目的	ひとり親家庭等の保健の向上、福祉の増進及び医療費に対する経済的負担の軽減を図る。						
取組内容・実績	<p>ひとり親世帯に対し医療費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成件数 11, 919 件 ・助成総額 29, 557, 289 円 						
成果	医療費の助成により、ひとり親家庭等の保健の向上、福祉の増進及び医療費に対する経済的負担の軽減が図られた。						
課題・今後の方向性	新潟県ひとり親家庭等医療費助成事業実施要領等に基づく事業であり、ひとり親世帯の経済的負担の軽減等を図るために、今後も継続して医療費助成を実施する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園運営経費			決算書 掲載ページ	250
款	03	民生費	会計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	1,509,487	1,485,868	0	23,619	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	1,004,336	0	0	34,765	446,767
目的	私立保育園へ運営委託料及び補助金を交付することで、健全な保育園運営を確立し、安定した児童受入体制を整える。				
取組内容・実績	私立保育園 13 園に保育の実施に要する経費を委託費及び運営費補助金により支援した。また、国の重点支援交付金を活用し、給食材料費及び光熱費の負担軽減事業補助金を交付するとともに、保育業務の I C T 化を進める園に対する補助金のほか、保育園における性被害防止のためのパーテーション導入に対する補助金を交付した。				
成果	私立保育園に委託費及び運営費補助金を交付することにより、健全な保育園運営を通じ入園希望児童の受入体制を確保することができた。また、給食材料費負担軽減事業補助金及び光熱費負担軽減事業補助金により、物価高騰下における保育園運営を支援したほか、保育業務の I C T 化に対する支援や性被害防止に係るパーテーション導入に伴う支援により、安全な保育園運営に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	健全な保育園運営及び安定した園児受入体制を確立するため、継続した支援が必要である。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園特別保育事業補助金			決算書 掲載ページ	250		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	保育課			
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	106,159	92,539	0	13,620			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	41,669	0	0	50,870			
目的	子育てにおける負担の軽減、仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを総合的に支援するため、特別保育事業を実施し、児童の福祉の向上を図ることを目的とする。						
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、特別保育事業（未満児保育事業13園、障害児保育事業12園）を実施した私立保育園を支援した。						
成果	私立保育園が実施する特別保育事業を支援することで、未満児及び障害児の受入体制を確保することができた。						
課題・今後の方向性	特別保育事業を実施する私立保育園を継続支援することで、未満児及び障害児の保育ニーズに対応する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園地域子ども・子育て支援事業			決算書 掲載ページ	250		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	保育課			
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	39,789	29,758	0	10,031			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	16,166	0	0	13,592			
目的	子育てにおける負担の軽減、仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを総合的に支援し、子ども・子育て支援の着実な推進を図ることを目的とする。						
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、地域子ども・子育て支援事業（延長保育事業2園、地域子育て支援拠点事業5園、地域子育て支援センター事業2園、一時預かり事業4園）を実施した私立保育園を支援した。						
成果	私立保育園が実施する延長保育事業を支援することにより、保護者の就労を支援することができた。また、一時預かり事業の実施により、家庭での保育が一時的に困難となつた保護者の支援につなげたほか、子育て支援室の運営を支援することにより、地域における子育て支援体制を確保することができた。						
課題・今後の方向性	保護者の就労支援と地域における子育て支援体制を確保するため、事業を継続する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	保育園整備事業			決算書 掲載ページ	252		
款	03	民生費		会計	一般会計		
項	02	児童福祉費		担当	保育課		
目	03	児童措置費		現年度・繰越の別	現年度予算・継続費・過次繰越予算		
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	843,911		733,151	109,200	1,560		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	440,000	0	0	293,151			
目的	市民の保育ニーズに応えるため、公立保育園として必要な施設の整備を行う。						
取組内容・実績	田尻保育園の新園舎改築を令和5（2023）年度・令和6（2024）年度の継続事業で実施し、令和6（2024）年7月12日に竣工した。また、新園舎に整備する太陽光発電設備設置工事を実施するとともに、旧園舎解体後に保育園職員駐車場及び公園整備工事を実施した。 なお、職員駐車場及び公園整備工事については、施工途中に発生した軟弱地盤に対応するため、令和7（2025）年度に繰り越すこととなった。						
成 果	柏崎市保育園整備基本方針に基づいた施設整備を計画どおり進め、園児に安全な保育環境を提供することができた。						
課題・今後の方向性	繰りしとなった保育園職員駐車場及び公園整備工事を予定どおり完了させる必要がある。また、柏崎市保育園整備基本方針に基づき、老朽化に伴う施設整備を統廃合と併せて、適正に実施していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立認定こども園等運営経費			決算書 掲載ページ	252		
款	03	民生費		会計	一般会計		
項	02	児童福祉費		担当	保育課		
目	03	児童措置費		現年度・繰越の別	現年度予算		
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	479,048		466,732	0	12,316		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	318,459	0	12	148,261			
目的	国の子ども・子育て支援新制度に基づいて施設型給付費負担金を支出する。また、運営に要する経費を補助金として助成することで、健全な運営を確立し安定した運営体制を整える。						
取組内容・実績	私立認定こども園4園と私立幼稚園1園に教育・保育に要する費用を、施設型給付費負担金及び運営費補助金により支援した。また、国の重点支援交付金を活用し、給食材料費及び光熱費負担軽減事業補助金を交付した。						
成果	私立認定こども園と私立幼稚園に施設型給付費負担金と運営費補助金を交付することによって、入園を希望する児童の受入体制を確保したほか、小学校就学前の児童に対して、必要な教育・保育を実施することができた。また、給食材料費負担軽減事業補助金及び光熱費負担軽減事業補助金により、物価高騰下における園運営を支援することができた。						
課題・今後の方向性	健全な園運営の確保に向けて、認定こども園等を継続支援していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	小規模保育事業運営経費			決算書 掲載ページ	254		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	保育課			
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	40,042	38,471	0	1,571			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	25,685	0	0	12,786			
目的	園に地域型給付費負担金及び運営費補助金を支出することで、健全な運営を確立し、安定した運営体制を整える。						
取組内容・実績	小規模保育事業所（1園）に保育の実施に要する経費の一部を地域型給付費負担金及び運営費補助金により支援した。また、国の重点支援交付金を活用し、給食材料費及び光熱費負担軽減事業補助金を交付した。						
成果	小規模保育事業所に地域型給付費負担金及び運営費補助金を交付することにより、入園を希望する児童の受入体制を確保した。また、給食材料費負担軽減事業補助金及び光熱費負担軽減事業補助金により、物価高騰下における園運営を支援することができた。						
課題・今後の方向性	健全な施設運営の確保に向けて、小規模保育事業所を継続支援していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子どもの遊び場施設整備補助金			決算書 掲載ページ	256		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	子育て支援課			
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	6,661	6,021	0	640			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	2,200	3,821			
目的	健全な遊び場の整備を促進することにより、子どもの路上遊びの防止と遊び場環境の改善を図る。						
取組内容・実績	町内会等が管理する公園の整備計画について、19件の補助金を交付した。						
成果	計画された全ての整備計画が実施され、遊具の撤去、修繕及び新設等、安全に配慮した子どもの遊び場の環境整備に寄与することができた。						
課題・今後の方向性	児童が生活する身近な町内で、健全な遊びを通じて社会性や体力の向上を図るために、今後も事業を継続していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子どもの屋内遊び場施設整備事業			決算書 掲載ページ	256		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	子育て支援課			
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	119,820	119,538	0	282			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	0	0	119,455	83			
目的	冬期間など、天候に影響されずに遊ぶことができる屋内遊び場施設を新たに整備し、子どもの遊び場環境の充実を図る。						
取組内容・実績	既存の屋内遊び場のエリアを約2倍に拡張し、利用者の意見を取り入れ、遊具を全て入れ替えた。また、冷暖房機器の入替え、照明機器のLED化等も実施した。						
成果	大型遊具、フローリング及び外周フェンスに柏崎産木材（杉）を活用することで、木のぬくもりを感じられる遊び場に生まれ変わった。また、面積が広がったことで、これまで以上に多くの親子を受け入れられるようになった。						
課題・今後の方向性	新たな屋内遊び場の特徴や魅力を子どもや子育て世代に伝え、これまで以上に多くの親子から利用していただくことを目指す。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	病児保育事業			決算書 掲載ページ	256		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	02	児童福祉費	担当	保育課			
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	28,998	26,898	0	2,100			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	16,590	0	0	10,308			
目的	保育所入所児童などが発病した際に児童を預けることができる病児保育室を開設することにより、働きながら安心して子育てのできる環境を整備する。						
取組内容・実績	病児保育室「ムーミンハウス」の運営業務を国立病院機構新潟病院に委託し、249人の利用登録があり、延べ534人が利用した。 また、病児保育室「ぴっころ」の運営業務を柏崎総合医療センターに委託し、130人の利用登録があり、延べ181人が利用した。						
成果	保護者の子育てと就労の両立を支援することで、子育て環境の充実を図ることができた。						
課題・今後の方向性	引き続き、現状の病児保育体制を維持・継続していく必要がある。						

4 款 衛生費

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	生活保護費			決算書 掲載ページ	260		
款	03	民生費	会計	一般会計			
項	03	生活保護費	担当	福祉課			
目	02	扶助費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	974,932	956,242	0	18,690			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	686,019	0	0	270,223			
目的	生活保護受給世帯及び中国残留邦人等支援給付金受給世帯の最低生活を維持し、自立を図る。						
取組内容・実績	対象となる方に、生活保護費及び中国残留邦人等支援給付金を支給した。 令和7（2025）年3月現在、生活保護受給世帯505世帯（受給者609人）、中国残留邦人等支援給付金受給世帯3世帯（受給者4人）						
成果	生活保護受給世帯及び中国残留邦人等支援給付金受給世帯の生活を維持し、自立に向けた支援を行うことができた。						
課題・今後の方向性	物価高騰等により、生活に困窮する方が増加する可能性がある。柏崎市社会福祉協議会を中心とした関係機関と緊密に連携し、必要な方に適切な支援が行き届くよう、継続して取り組む必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	病院群輪番制病院運営費			決算書 掲載ページ	262		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	国保医療課			
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	40,243	40,102	0	141			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	2,336	37,766			
目的	柏崎・刈羽地域で二次救急医療を担う病院に補助金を交付することにより、地域医療を支える病院の円滑な運営を支援し、住民福祉の向上を図る。						
取組内容・実績	二次救急医療を担う病院（柏崎総合医療センター、新潟病院及び柏崎中央病院）に対して、輪番制病院の運営費を補助した。						
成果	柏崎・刈羽地域の休日及び夜間における医療提供体制を確保することができた。						
課題・今後の方向性	地域における救急医療体制を確保するため、継続して支援を実施する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	病院群輪番制病院設備整備補助事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	73,346	71,702	0	1,644	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	18,670	0	46,616	6,416	
目的	柏崎・刈羽地域で二次救急医療を担う病院に補助金を交付することにより、柏崎・刈羽地域の休日及び夜間における医療提供環境を整備する。				
取組内容・実績	柏崎・刈羽地域で輪番制により二次救急医療を担う病院に対して、救急医療に必要な医療設備の整備費を補助した。 ・柏崎総合医療センター 手術麻酔管理システム一式 ・柏崎中央病院 自動血球分析装置 ・新潟病院 マルチスライスCT、全身麻酔装置				
成果	柏崎・刈羽地域の休日及び夜間における医療提供環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	地域における救急医療の体制を確保し、その機能の充実を図るため、継続して支援を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	医師確保対策事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	3,455	3,404	0	51	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	3,404	
目的	柏崎地域の医療機関に勤務する医師や臨床研修医の確保及び将来の医療従事者の増加を図り、地域医療提供体制を確保する。				
取組内容・実績	柏崎総合医療センターに勤務する臨床研修医が研修期間中に参加する国内研修に係る経費を補助した。また、市内小学校4校・中学校4校に対し医師を派遣し、医療の現状、仕事内容、やりがい及び魅力について講話してもらった。				
成果	柏崎総合医療センターに新たに7人の臨床研修医が赴任し、計11人の臨床研修医が勤務した。小・中学生を対象に医師講話を行うことにより、地域医療や医師の仕事に関心を持ってもらうとともに、将来、医師を始めとした医療従事者になるという進路選択への意識付けを図ることができた。				
課題・今後の方向性	柏崎総合医療センターでは常勤医師不足を補うため、非常勤医師の派遣を受けているが、非常勤医師の確保が難しくなっている上、派遣受入れに係る経済的負担も大きい。市内医療機関に勤務する医師を確保するため、事業の継続が必要である。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	診療所開設支援事業			決算書 掲載ページ	262		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	国保医療課			
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	繰越明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	70,000	70,000	0	0			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	0	70,000			
目的	本市の一次医療体制を確保するため、新たに診療所を開設する医師等に対し施設設備の整備費を支援し、市民の健康の維持・増進につなげる。						
取組内容・実績	市内で新たに開設する診療所2件及び継承する診療所1件に対し、建物建設費及び建物取得・改修費並びに設備整備費を補助した。						
成果	3件の診療所が開設・継承され、柏崎地域の一次医療体制を強化することができた。						
課題・今後の方向性	地域における一次医療体制を確保するため、継続して支援を実施する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	看護師就職支援事業			決算書 掲載ページ	262		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	国保医療課			
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円卖位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	13,300	11,900	0	1,400			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	524	11,376			
目的	市内の病院に勤務する看護師を確保し、医療体制の維持・充実を図る。						
取組内容・実績	市内の病院に就職した看護師45人に対し、就職助成金を交付した。 ・柏崎総合医療センター 17人 ・新潟病院 19人 ・柏崎厚生病院 9人						
成果	地域医療を支える看護師の確保につながり、医療現場の人材不足の緩和に寄与することができた。						
課題・今後の方向性	引き続き、市内の病院への就職を促すため、就職助成金事業を実施する。新規就労者の確保に加え、今後は、雇用定着・離職防止につながる取組を検討する。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	看護学生確保支援事業			決算書 掲載ページ	264		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	国保医療課			
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	7,820	7,800	0	20			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	3,000	4,800			
目的	看護師養成所に入学する学生や養成所への支援を行うことにより、市内唯一の看護師養成所の存続につなげ、市内の病院等で働く看護師を確保する。						
取組内容・実績	新潟病院附属看護学校に入学した39人に対し、入学祝い金を交付した。看護学校の教育内容等の向上のため、学校運営費に対し補助金を交付した。						
成果	新潟病院附属看護学校の入学定員を充足するとともに、市内で看護教育を受けられる体制を維持することができた。令和7（2025）年3月に卒業し、就職した41人のうち、17人が市内病院に就職した。						
課題・今後の方向性	市内に看護学校があることは、市内出身の看護師の養成を促し、市内で働く看護師の確保にもつながる。市内で看護教育を受けられる体制を維持するため、看護学生への支援と看護学校への運営費補助を継続する。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	公的病院運営支援事業			決算書 掲載ページ	264		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	国保医療課			
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	120,705	120,705	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	120,705			
目的	二次救急、災害時等の拠点となる中核的な公的病院に対して、運営費を補助することにより、地域において必要な医療提供体制の確保を図る。						
取組内容・実績	柏崎総合医療センターにおける救急医療、小児医療等、経費が割高となる不採算分野の運営費及び医師派遣に必要な経費に対し、補助金を交付した。 ・救急医療病床利用者数 2,425人 ・小児専用病床利用者数 37人						
成果	地域の基幹病院である柏崎総合医療センターにおいて、救急医療や小児医療を始めとした地域に必要な医療を継続して提供することができた。						
課題・今後の方向性	柏崎総合医療センターは経営改善努力をしているが、不採算医療を担っていることもあり、引き続き経営は厳しい。今後も、財源となる特別交付税を活用し、市民が必要とする医療を確保するため、柏崎総合医療センターの運営を支援する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	物価高騰等対策事業			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	88,595	81,536	0	7,059	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	61,338	0	0	20,198	
目的	病院の収益である診療報酬は公定価格であり、物価高騰の影響を価格転嫁できず厳しい経営状況となっていることから、支援金を交付することで負担軽減を図り、市民が引き続き安心して医療を受けられる体制を維持する。				
取組内容・実績	5病院に対し、電気・ガス料金の高騰分を支援金として交付した。また、2病院に対し、エネルギー費用削減に資する設備整備導入促進支援金を交付した。				
成 果	病院の運営費負担が軽減され、医療提供体制を維持することができた。				
課題・今後の方向性	国からの財源措置の終了により、令和6（2024）年度で終了する。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	ひきこもり支援事業			決算書 掲載ページ	270
款	04	衛生費	会計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	15,718	12,233	0	3,485	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	6,872	0	60	5,301	
目的	関係機関と連携しながら、学齢期から成人までの切れ目のない一貫した支援を展開し、ひきこもり当事者の自立及び自律を支援する。				
取組内容・実績	関係機関と連携し、71人（新規22人、継続49人）に継続的に支援を実施し、延べ1,532件の相談（電話、来所、訪問等）・対応を行った。あわせて、当事者交流会（5回）、居場所支援（20回）及び家族の会（9回）を開催した。また、リーフレットやカードの設置を医療機関、介護事業所等に依頼し、事業の周知を図るとともに、ひきこもり支援講演会を企画し啓発に努めた。				
成 果	当事者のニーズに合った専門的な機関（医療機関、相談支援事業所、就労支援等）につながる、就労や進学に結びつくなどのケースがあった。また、事業の周知を継続したことから、新たに22人の支援を開始することができた。				
課題・今後の方向性	ひきこもり当事者とその家族が相談につながるよう事業の周知を継続する。また、長期化・高齢化・生活困窮などの複合的な課題を抱えた当事者・家族が必要な支援を受けることができるよう、専門機関に加え、地域や関係機関との連携が必要となる。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	若年がん患者在宅療養支援事業			決算書 掲載ページ	272
款	04	衛生費	会計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	654		202	0	452
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0		0	0	202
目的	介護保険制度の対象とならない40歳未満のがん患者に、利用した在宅サービスの利用料を補助することで、患者や家族の負担を軽減する。				
取組内容・実績	40歳未満の在宅療養がん患者3名に対して、9件の在宅サービス利用料の一部を助成した。				
成果	40歳未満の在宅療養がん患者に、利用した在宅サービス利用料の一部を助成することで、患者や家族の負担軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	40歳未満のがん患者と家族の在宅療養の負担軽減が図られるよう、助成制度の周知に努める必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	母子健康診査費			決算書 掲載ページ	272
款	04	衛生費	会計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	48,231		46,936	0	1,295
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	10,824		0	12	36,100
目的	妊婦及び乳児・幼児の健康診査を行うことにより、母と子の健康を保持する。				
取組内容・実績	妊婦健康診査を実入数326人、延べ4,067人に実施した。乳幼児健康診査は、集団形式で4か月、10か月、1歳6か月及び3歳の健診を、医療機関委託で1か月及び6か月の健診を実施し、延べ1,891人が受診（平均受診率95.1%）した。				
成果	妊婦健康診査費の助成により、出産に係る経済負担を軽減することができた。また、令和6（2024）年度に1か月児健康診査を新たに実施したことで、新生児期の病気の早期発見・早期治療につなげることができた。				
課題・今後の方向性	健康診査の経済的な負担を軽減しつつ、妊婦や乳幼児期の疾病及び異常の早期発見並びに適切な指導を継続することで、母子の健康の保持増進を図る。また、子どもの成長・発達段階に応じて必要な支援を受けられるよう、新たに5歳児健康診査の開始を目指す。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

事務事業名	未熟児養育事業			決算書 掲載ページ	274		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	子育て支援課			
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	3,340	2,994	0	346			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	829	0	573	1,592			
目的	低体重、早産などで、身体の発育が未熟なままに生まれたことにより、入院養育が必要な乳児の健康保持のため、医療費の一部を助成する。						
取組内容・実績	出生時体重が2,000g以下又は医師の診断により、養育医療指定医療機関において入院療養が必要と認められた15人の入院医療費の一部を助成した。						
成果	医療費助成をきっかけに、支援が必要なお子さんの情報が得られ、退院後も切れ目のない支援を継続することができた。						
課題・今後の方向性	未熟児は正常児と比べて疾病にかかりやすく、発育不良や心身の障がいを残すことも多いため、出生後速やかに適切な医療処置が必要である。保護者にとって医療費の負担が大きいことから、事業を継続する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	産後ケア事業			決算書 掲載ページ	274		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	子育て支援課			
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	3,877	3,851	0	26			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	1,454	0	0	2,397			
目的	退院直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポートなどを行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。						
取組内容・実績	産婦健康診査費用を延べ538人に助成した。産後ケア事業は、4医療機関に委託を行い、実人数6人、延べ24日間の利用があった。						
成果	産婦健康診査費用を助成することで、心身の状態を把握し、リスクが高い方への支援にいかすことができた。産後ケア事業は、心身の回復や育児の安心に寄与することができた。						
課題・今後の方向性	産後うつ等の早期発見及び早期支援のため、産婦健康診査の助成及び産後ケア事業を継続する必要がある。産後ケア事業は、多様化したニーズに応えるため、通所型などのメニューを拡大する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

事務事業名	妊産婦医療費助成事業			決算書 掲載ページ	274		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	子育て支援課			
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	19,817	19,224	0	593			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	19,224			
目的	妊産婦の医療費を助成し、経済的負担を軽減する。 また、妊産婦の疾病的早期発見と早期治療を促進し、安心して子どもを産み育てることができる環境をつくる。						
取組内容・実績	受給者証を326件交付し、19,051,974円分の医療費を助成した。						
成果	妊産婦の経済的負担を軽減するとともに、受診の促進を図り、疾病的早期発見と早期治療に寄与した。						
課題・今後の方向性	子どもを安心して産み育てられるように、引き続き経済的負担を軽減する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

事務事業名	不妊治療助成事業			決算書 掲載ページ	274		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	子育て支援課			
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	5,158	5,158	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	5,158			
目的	不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減する。また、不育治療も対象とすることにより、妊娠を希望する夫婦の治療の選択肢を増やし、安心して妊娠を望む環境づくりにつなげる。						
取組内容・実績	不妊治療費用を65組、延べ88件に助成した。また、不育治療費用を1組、延べ2件に助成した。						
成果	不妊・不育治療を行う夫婦の経済的な支援をすることで、安心して妊娠を望む環境づくりに寄与することができた。						
課題・今後の方向性	不妊・不育治療は費用が高額になりやすく、また複数回実施が必要なケースも多いことから、妊娠を望む夫婦の経済的負担を軽減するため、事業を継続する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	高齢者予防接種事業			決算書 掲載ページ	276		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	健康推進課			
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	141,075	99,557	0	41,518			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	50,000	0	0	49,557			
目的	高齢者に対し予防接種を行うことで、インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の重症化及び感染拡大の予防並びに肺炎リスクの軽減を図る。						
取組内容・実績	予防接種法に基づき、新型コロナワクチンを追加した3種類の高齢者定期予防接種を、委託医療機関にて個別接種で実施した。 インフルエンザワクチンは14,383人、新型コロナワクチンは3,534人、肺炎球菌ワクチンは292人が接種した。						
成果	対象年齢の方に接種のお知らせを行い、希望者に接種を実施することができた。 これにより、感染症の重症化及び感染拡大の予防並びに高齢者の肺炎リスクの軽減に資することができた。						
課題・今後の方向性	今後も定期予防接種を実施し、感染症の重症化及び感染拡大の予防並びに高齢者の肺炎リスクの軽減を図る必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	新型コロナワクチン接種事業			決算書 掲載ページ	278		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	健康推進課			
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	211,260	208,069	0	3,191			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	1,594	0	0	206,475			
目的	新型コロナワクチン接種を受けた方のうち、健康被害を受けた方を給付金により救済する。また、令和5（2023）年度新型コロナワクチン接種事業の実績確定に伴い、国庫補助金・負担金を精算返納する。						
取組内容・実績	新型コロナワクチン接種を受けた方のうち、健康被害を受けた方に給付金を支払い救済した。また、令和5（2023）年度新型コロナワクチン接種事業の実績確定に伴い、国庫補助金・負担金を精算返納した。						
成果	新型コロナワクチン接種を受けた方のうち、健康被害を受けた方に給付金を支払い救済した。						
課題・今後の方向性	感染拡大防止のため、定期接種となったワクチン接種事業を継続して行う。また、新型コロナワクチン接種を受けた方のうち、健康被害を受けた方を給付金により救済する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	予防接種事業			決算書 掲載ページ	278		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	子育て支援課			
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	152,822	152,083	0	739			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	65,000	0	0	87,083			
目的	予防接種法に基づく定期接種の実施により、感染症の発生及びまん延並びにり患した場合の重症化を防止し、公衆衛生の向上と市民の健康保持を図る。						
取組内容・実績	予防接種法に基づく乳幼児の定期予防接種について、委託医療機関において個別接種を実施した。子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種の期限内接種勧奨のため、未接種者及び接種完了していない2, 172人に案内を送付した。また、五種混合が追加されたため、スムーズに接種できるよう市民及び医療機関に周知をした。						
成果	希望する方が確実に接種できるように個別に通知をしたことで、キャッチアップ接種は昨年度に比べ約3倍増加した。また、四種混合から五種混合への移行は、混乱なく進んだ。						
課題・今後の方向性	感染症の発生、まん延などの予防のため、引き続き予防接種の個別通知を行うとともに、接種体制の確保に取り組む必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	がん検診費			決算書 掲載ページ	280		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	健康推進課			
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	116,396	105,536	0	10,860			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	132	0	5,193	100,211			
目的	がん検診の実施、がん検診に係る機器の整備及び検診に係る無料クーポン券の配布をすることで、がんの早期治療につなげ、健康の水準を向上する。						
取組内容・実績	5月から11月まで（乳がん検診・子宮頸がん検診1月まで）検診を実施した。肺がん検診は11,730人、胃がん検診は3,969人、大腸がん検診は8,438人、乳がん検診は2,507人、子宮頸がん検診は2,159人、前立腺がん検診は2,768人が受診した。無料クーポン券で、乳がん検診が98人、子宮頸がん検診が26人受診した。子宮頸がん検診のAYA世代500円クーポン券では、18人が受診した。						
成果	肺がん検診で3人、胃がん検診で13人、大腸がん検診で31人、前立腺がん検診で6人、子宮頸がん検診で0人、乳がん検診で4人にがんが見つかり、早期発見・早期治療につなげることができた。						
課題・今後の方向性	検診の必要性を周知して受診率の向上を図る必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	歯科保健事業			決算書 掲載ページ	282		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	健康推進課			
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	9,369	8,835	0	534			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	2,922	0	480	5,433			
目的	生涯を通じた歯や口の健康づくりを目指し、妊娠期、青壮年期及び高齢期の方の歯周病予防並びに子ども達のむし歯予防の推進を図る。						
取組内容・実績	歯科健康相談を5回開催し、市民の歯科に対する相談に対応した。歯周病検診は、対象を81歳以上にも拡大し、個別1,427人、集団361人が受診した。20歳、30歳、40歳、50歳及び60歳の方に無料クーポンを配布し、415人が利用した。妊婦クーポンは110人、パートナークーポンは42人が利用した。 また、フッ化物洗口について保護者へ情報提供を行った。						
成果	節目年齢の対象者や妊婦とそのパートナーに無料クーポンを配布することで、青壮年期の受診につなげることができた。対象年齢の拡大が口腔の問題を抱えやすい高齢者の歯科受診のきっかけとなった。フッ化物洗口についての情報提供により、保護者の理解の促進を図ることができた。						
課題・今後の方向性	歯科保健推進会議を開催し、意見を反映しながら歯科保健計画の進捗を管理し、第三次歯科保健計画の策定を行う。歯周病検診の無料クーポンを継続し、妊婦の歯周病予防、青壮年期の歯科健診受診者の増加、障がいのある方への相談対応などに取り組んでいく必要がある。市民の定期的な歯科健診の定着を目指す。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	高齢者保健・介護予防一体化事業			決算書 掲載ページ	282		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	健康推進課			
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	4,048	3,647	0	401			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	3,623	24			
目的	高齢者の自立した生活の実現と健康寿命の延伸を図るために、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進する。						
取組内容・実績	フレイル予防の健康教育を、通いの場コツコツ貯筋体操の161会場、1,676人に実施した。令和4(2022)年度及び令和5(2023)年度の健診・医療未受診かつ介護保険未申請の77歳(15人)に対して調査票と訪問による実態把握を実施し、必要な支援につなげた。高齢者健診受診者のうち、高血圧、心房細動、脂質代謝異常及び糖尿病未受診者39人に対し受診勧奨を行い、33人の受診確認ができた。						
成果	高齢者に対し、広くフレイル予防(運動)について啓発することができた。健診・医療未受診かつ介護保険未申請の健康状態不明者の健康状態を把握し、必要な支援につなげることができた。高齢者健診受診者のうち、高血圧、心房細動、脂質代謝異常及び糖尿病未受診者への受診勧奨を行い、医療につなげることができた。						
課題・今後の方向性	引き続き介護予防及び骨折予防について啓発を行い、フレイル予防への理解を深める必要がある。健康状態不明者を把握するとともに、生活習慣病又は糖尿病性腎症の重症化が心配される方に対し、適切な医療や支援につなぐ必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

事務事業名	生活環境鳥獣対策事業			決算書 掲載ページ	284		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	環境課			
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	1,659	419	0	1,240			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	32	0	0	387			
目的	集落や市街地に出没するイノシシ、クマなどの有害野生鳥獣による人身被害及び物損被害の未然防止に取り組む。						
取組内容・実績	集落や市街地に有害鳥獣が出没した場合に備え、捕獲、追い払い等の業務を獣友会に委託した。また、有害鳥獣の不動化対応のための麻醉銃獣業務について専門家に委託した。そのほか、有害鳥獣捕獲の担い手確保のため、狩猟免許取得者等4人に対して合計63千円を補助した。獣類による生活環境被害対策として侵入防止柵を設置する者3人に対し、35千円を補助した。						
成果	有害鳥獣捕獲の担い手の確保を図るとともに、集落や市街地に出没する野生鳥獣の駆除やパトロールを行うことで、野生鳥獣による人身被害及び物損被害の未然防止につなげることができた。						
課題・今後の方向性	狩猟者の減少・高齢化が進む中で、今後も継続して捕獲従事者の担い手の人材確保を図る必要がある。野生鳥獣が増加傾向にあるため、市民に対して野生鳥獣に遭遇した場合の対処方法等の普及・啓発に努める。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

事務事業名	地球温暖化対策普及啓発事業			決算書 掲載ページ	286		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	環境課			
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円卖位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	18,377	18,117	0	260			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	11,495	6,622			
目的	地球温暖化に対する問題意識の醸成や脱炭素型ライフスタイルへの転換を促し、市民が環境行動を実践できるよう意識啓発を行う。						
取組内容・実績	子どもの環境意識を育むため、小・中学校向け環境教育プログラムを1校17人、保育園・幼稚園向けエコ教室を8園延べ15回計568人、クリーンセンター見学時の講話を24回694人に実施した。自動車の温室効果ガス排出を考えるノーマイカーウィーク&エコドライブモニターは合計で4,175人が参加し、緑のカーテンには31者が参加した。また、自家用発電設備設置に興味を示す事業者に対し、アドバイスを延べ20回行った。						
成果	自動車の温室効果ガス排出については、ノーマイカーウィーク&エコドライブモニターにおいて約14.4t削減し、大きな効果があり、環境への理解や関心を深めることができた。 また、自家用発電設備設置に関するアドバイスを行うことにより、事業者の脱炭素への関心を高めるとともに、基本的知識を深めることができた。						
課題・今後の方向性	市民や事業者に対して、脱炭素に向けた考え方や取組の周知・啓発を引き続き実施するとともに、再生可能エネルギーの導入促進に取り組む。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

事務事業名	低炭素型設備機器導入補助事業			決算書 掲載ページ	286		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	環境課			
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	46,875	5,585	31,400	9,890			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	5,585	0			
目的	市民や市内事業者に対して、温室効果ガス排出量削減に有効な高効率設備機器の導入を促し、普及を促進する。						
取組内容・実績	低炭素型設備の補助金により、燃料電池5件、太陽光発電+HEMS・定置用蓄電池9件、HEMS・定置用蓄電池5件、EV13台及びPHEV9台が市民や事業者に導入された。						
成果	温室効果ガス排出量が推計で39.9tCO ₂ 削減したほか、一般家庭における低炭素エネルギーの活用例を提示することにより、創エネ・省エネの理解が促進された。						
課題・今後の方向性	補助対象とする創エネ・省エネ設備機器等を継続的に検討し、脱炭素社会に向けて先導的に取り組む市民や事業者を支援する補助金制度を展開していく。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	休日急患診療所管理運営費			決算書 掲載ページ	292		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	国保医療課			
目	06	休日急患診療所費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	6,827	6,621	0	206			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	1,001	5,620			
目的	柏崎・刈羽地域の休日の歯科救急医療体制を整備することにより、市民の健康増進を図る。						
取組内容・実績	柏崎・刈羽地域の歯科救急医療施設として、歯科休日急患診療所を日曜日・祝日など7日開設し、104人（うち健診11人）が受診した。						
成果	歯科休日急患診療所の開設により、日曜日・祝日における歯科診療体制を確保することができた。						
課題・今後の方向性	柏崎・刈羽地域の歯科救急医療施設として、急に歯科受診が必要になっても、市民が適切な処置を受けられるよう、歯科休日急患診療所を開設していく。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源循環型社会を実現する

事務事業名	休日・夜間急患センター運営費			決算書 掲載ページ	292		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	01	保健衛生費	担当	国保医療課			
目	06	休日急患診療所費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	41,623		41,623	0	0		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	2,424	39,199			
目的	柏崎・刈羽地域で初期救急医療を担う急患センター及び院外薬局の運営費を補助することにより、柏崎・刈羽地域の休日・夜間における医療提供体制を確保する。						
取組内容・実績	休日・夜間急患センターと休日・夜間急患センター院外薬局の運営費を補助した。休日・夜間急患センターを延べ1,219人（315日開設）、院外薬局を延べ977人（315日開設）が利用した。						
成果	一般の診療所が診察していない休日・夜間に、受診が必要になった際の初期救急医療体制を確保することができた。						
課題・今後の方向性	医師の高齢化により、従事する医師の確保が困難になることが想定される。初期救急医療体制を確保するため、センターを運営している柏崎総合医療センター、医師を派遣している柏崎市刈羽郡医師会等、関係機関と連携し、持続可能な実施体制の構築に向け、検討・協議を継続していく。						

事務事業名	ごみ減量化・リサイクル対策費			決算書 掲載ページ	294		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	02	清掃費	担当	環境課			
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	52,534		43,530	0	9,004		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	40,000	3,530			
目的	循環型社会への移行を実現するため、ごみの発生抑制、資源の再使用と再利用により資源の有効活用を総合的に進め、3R（スリーアール）を推進する。						
取組内容・実績	分別収集により4,516tの資源物を収集し、売却や処理を行った。収集量は、せんてい枝・庭の草や紙類などが前年度から300t減少し、リサイクル率は19.4%であった（前年度：20.1%）。資源物の一部はリサイクルのため有価物として売却し、売却額は26,712千円であった。 また、市ホームページや広報誌により、市民へのごみの分別徹底や、食品ロスの発生抑制に係る周知啓発に努めた。						
成果	廃棄物の適切な排出と処理を推進し、ごみの総排出量の減量を行うことができた。また、資源物の収集を行い、再生利用事業者に引き渡し、資源化することができた。						
課題・今後の方向性	市民への3Rの意識啓発に努めるとともに、資源物の収集と資源化を継続的に実施する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

事務事業名	海岸清掃費			決算書 掲載ページ	296		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	02	清掃費	担当	環境課			
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	21,963	21,963	0	0			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	7,015	0	7,000	7,948			
目的	海岸の美化と安全確保のため、清掃や危険な漂着物を撤去する。						
取組内容・実績	4月から10月までに延べ100日実施した人力海岸清掃により123,900kgを、5月から10月にかけて延べ131日実施したビーチクリーナーによる海岸清掃により、23,700kgの漂着物を回収した。						
成 果	海水浴シーズンに合わせて清掃や漂着物の撤去をすることで、海岸の美化と安全を確保することができた。						
課題・今後の方向性	引き続き、国や県と連携しながら海岸の清掃と美化にできる限り努めるとともに、海岸清掃の取組が活性化するよう周知啓発に努める。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

事務事業名	不法投棄防止対策費			決算書 掲載ページ	296		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	02	清掃費	担当	環境課			
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円卖位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	113,088	99,474	0	13,614			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	52,133	47,341			
目的	自然環境の保全や生活環境美化のため、不法投棄の防止対策を実施する。						
取組内容・実績	看板設置などの不法投棄防止活動のほか、職員による月2回以上のパトロールや市民からの通報を受けた回収作業により、56件、3,610kgの投機物を回収した。また、旧米山牧場（蕨野地内）に残置された廃タイヤを487.5t撤去した。						
成 果	不法投棄対策を実施することにより、自然環境の保全や生活環境美化を推進した。						
課題・今後の方向性	引き続き、看板設置、パトロール及び広報誌やホームページによる不法投棄防止の対策に努める。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源循環型社会を実現する

事務事業名	資源物リサイクルセンター整備事業			決算書 掲載ページ	296		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	02	清掃費	担当	環境課			
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	16,181	16,181	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	13,207	2,974			
目的	資源物回収拠点の充実により、ごみの発生抑制並びに資源の再使用及び再利用を推進する。						
取組内容・実績	佐藤池資源物リサイクルセンター建設に向けた設計と地質調査を行った。						
成果	設計と地質調査を行い、建物を安全かつ適切に建設するための準備を整えた。						
課題・今後の方向性	令和7（2025）年秋の開設に向け、建設工事を進める。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源循環型社会を実現する

事務事業名	ごみ収集委託費			決算書 掲載ページ	298		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	02	清掃費	担当	環境課			
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	221,804	221,725	0	79			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	54,341	167,384			
目的	廃棄物の排出抑制や適正処理を実施することで、生活環境の保全や公衆衛生の向上を推進する。						
取組内容・実績	一般家庭から出される燃やすごみ10, 669t、燃やさないごみ333t、粗大ごみ210t及び資源物3, 075tを収集した。						
成果	一般家庭から出される燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ及び資源物を計画的に収集運搬することができた。						
課題・今後の方向性	引き続き、廃棄物の排出抑制や適正処理を実施し、生活環境の保全や公衆衛生の向上を推進する。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好的な生活を支える環境を守る

事務事業名	ごみ処理施設整備事業			決算書 掲載ページ	300
款	04	衛生費		会計	一般会計
項	02	清掃費		担当	環境課
目	02	塵芥処理費		現年度・繰越の別	現年度予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	235,000	225,676	0	9,324	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	8,906	216,770	
目的	ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設の定期的なオーバーホールを行い、施設の機能維持と長寿命化に努める。				
取組内容・実績	ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設のオーバーホールと機械設備の修繕を行った。				
成果	ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設のオーバーホールにより、機能を確保したこと、搬入された全ての廃棄物を処理できた。				
課題・今後の方向性	現ごみ処理場が稼働する令和10（2028）年度までオーバーホールを実施し、機能を維持する。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好的な生活を支える環境を守る

事務事業名	ごみ処理施設建設事業			決算書 掲載ページ	302
款	04	衛生費		会計	一般会計
項	02	清掃費		担当	環境課
目	02	塵芥処理費		現年度・繰越の別	現年度予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	39,796	39,560	0	236	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	7,056	0	9,559	22,945	
目的	新ごみ処理施設を建設し、将来にわたるごみの安定処理体制を構築する。				
取組内容・実績	新ごみ処理場の建設及び20年間の運営業務を行う事業者を公募型プロポーザル方式により、新ごみ処理場整備運営事業者選定委員会の審査を経て選定し、契約を締結した。				
成果	新ごみ処理場整備運営事業者選定委員会の審査を経て、令和11（2029）年4月の新ごみ処理場稼働に向けた建設及び20年間の運営業務を行う事業者と契約を締結した。				
課題・今後の方向性	令和11（2029）年4月の新ごみ処理場稼働に向け、新ごみ処理場の建設工事を進める。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源循環型社会を実現する

事務事業名	ごみ最終処分事業			決算書 掲載ページ	302		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	02	清掃費	担当	環境課			
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	87,177	76,869	0	10,308			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	21,758	55,111			
目的	一般廃棄物最終処分場を安定的に運営する。						
取組内容・実績	主にごみ焼却施設から排出された廃棄物 2,744 t を最終処分した。また、浸出水処理施設の機能維持のため、定期検査を実施し、環境汚染の防止に努めた。						
成果	最終処分場の機能を確保し、計画的な埋立てを実施することができた。						
課題・今後の方向性	埋立てが終了する令和 20 (2038) 年度まで、最終処分場の機能を確保する。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好的な生活を支える環境を守る

事務事業名	下水道事業会計繰出金			決算書 掲載ページ	306		
款	04	衛生費	会計	一般会計			
項	02	清掃費	担当	環境課			
目	03	し尿処理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	189,968	32,193	154,228	3,547			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	32,193			
目的	令和 7 (2025) 年 10 月に完成する、し尿受入施設の建設及び自然環境浄化センターの処理に必要な経費を下水道事業会計に繰り出す。						
取組内容・実績	し尿受入施設の建設に必要な経費を下水道事業会計に繰り出した。						
成果	令和 7 (2025) 年 10 月完成に向け、建設工事が計画的に進んだ。						
課題・今後の方向性	引き続き、一般廃棄物処理施設であるし尿処理施設の建設費や自然環境浄化センターの処理に必要な費用を繰り出す。						

5款 労働費

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	雇用促進事業			決算書 掲載ページ	308		
款	05	労働費	会計	一般会計			
項	01	労働諸費	担当	商業観光課			
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	10,892	5,778	0	5,114			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	5,778	0			
目的	柏崎職安管内雇用促進協議会及び高大産官連携協議会への負担金や市内中小企業への採用活動支援補助金を通して、管内の労働力の確保と若者の定着を図る。						
取組内容・実績	柏崎職安管内雇用促進協議会の事業費の一部を負担し、企業説明会（7月：高校3年生152人、3月：大学生等29人）や柏崎職安管内雇用促進協議会が運営しているホームページ「ジョブナビかしわざき」の改修を実施した。また、高大産官連携協議会の事業費の一部を負担した。市内中小企業等に対して、採用活動に掛かった経費への補助を行った（交付事業者数10社）。						
成果	企業説明会の開催により、管内の企業と高校生・大学生等の面談の機会を設けることができ、地元企業の魅力を伝えることができた。また、中小企業等の採用活動を支援することで、地元企業の労働力確保に寄与した。						
課題・今後の方向性	若者の地元定着を促進するため、高校生や大学生に地元企業を知つてもらう機会をつくり、地元企業の魅力発信を継続して行う。また、市内中小企業の採用活動に対し、補助金を交付し、労働力の確保と若者の定着を図る。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	若年者就労支援事業			決算書 掲載ページ	308		
款	05	労働費	会計	一般会計			
項	01	労働諸費	担当	商業観光課			
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	9,886	9,775	0	111			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	9,222	553			
目的	若者の職業マッチングの支援及び就労促進と雇用の安定化を図る。						
取組内容・実績	ハローワーク柏崎と連携し、就労に関するワンストップ窓口「ワークサポート柏崎」を設置した。職業相談員を配置し、求人情報の提供、就労サポート相談、職業適性検査、就職支援セミナー等の就労支援を実施した。 求職相談：966件、セミナー回数：20回、51人参加						
成果	専門知識を有する相談員の配置や就職支援セミナーの実施をすることにより、27人の利用者を就職につなぐことができた。						
課題・今後の方向性	相談後、求人への応募活動まで至らない利用者も一定数いることから、関係機関と連携を図りながら、利用者に合わせた支援を行う。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	女性活躍推進事業			決算書 掲載ページ	308		
款	05	労働費	会計	一般会計			
項	01	労働諸費	担当	商業観光課			
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	2,000	200	0	1,800			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	200	0			
目的	女性の能力発揮に資するよう、女性が働きやすい職場づくりを促すことにより、女性の活躍推進を図る。						
取組内容・実績	中小企業等女性活躍推進事業助成金制度について、制度の周知を図るとともに、1事業所に助成金を交付した。						
成果	女性が活躍できる職場環境の整備を促進することができた。						
課題・今後の方向性	女性活躍の更なる推進に向けて、事業者に対する周知啓発を行う。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	障がい者活躍推進事業			決算書 掲載ページ	308		
款	05	労働費	会計	一般会計			
項	01	労働諸費	担当	商業観光課			
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円卖位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	3,620	2,666	0	954			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	200	0			
目的	障がい者雇用に積極的な企業の経験やノウハウを活用し、障がい者雇用に取り組もうとする事業者を支援することで、障がいのある方の社会参画を促進する。						
取組内容・実績	障がいのある方の活躍推進に向けたセミナーの開催（11月、参加企業23社）や、事業所からの障がい者雇用に関する相談に対応する障がい者活躍推進アドバイザー事業（相談件数2件）を実施した。 また、国の障害者トライアル雇用助成金を活用した市内事業者に対して、助成金を交付した（1件）。						
成果	セミナーの開催により、障がい者が企業の貴重な戦力として期待が持てるることを企業と福祉事業所の相互が理解し、関係をつなぐ機会を創出できた。 また、障がい者活躍推進アドバイザーを派遣し企業の相談対応に当たることで、障がい者雇用への支援を行うことができ、新規雇用や継続雇用につながった。						
課題・今後の方向性	障がい者雇用についての助言や相談を必要とする企業にアドバイザーを活用してもらい、障がい者雇用につながるよう、引き続きアドバイザー制度の周知を実施する。						

6款 農林水産業費

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	育児休業取得促進事業			決算書 掲載ページ	308		
款	05	労働費	会計	一般会計			
項	01	労働諸費	担当	商業観光課			
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	3,600		3,000	0	600		
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	1,000	2,000			
目的	男性の育児参画を促進し、男女が共に働きやすく、職業生活と家庭生活が両立できる職場環境の整備を図る。						
取組内容・実績	男性の育児休業取得促進事業奨励金制度について、制度の周知を図るとともに、奨励金24件（事業主：0件、男性労働者：24件）を交付した。						
成 果	男性の育児参画を促進し、中小企業等における仕事と家庭生活が両立できる職場環境の整備に向けた取組を促進することができた。						
課題・今後の方向性	事業者や男性労働者の育休取得に関する意識醸成を図るために周知啓発を行う。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農業被害鳥獣対策事業			決算書 掲載ページ	316		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	環境課			
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円卖位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	7,388		5,207	0	2,181		
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	0	5,207			
目的	イノシシやニホンジカなどの有害野生鳥獣による農作物被害対策を強化し、農産物の安定生産と農業の持続性を高める。						
取組内容・実績	鳥獣による農業被害のあった7集落に対して、新たに9, 160mの電気柵を整備するとともに、有害鳥獣捕獲としてイノシシ377頭、ニホンジカ18頭の駆除を行った。また、既設電気柵整備事業として、1件、683千円を補助した。鳥獣被害対策実施隊24人が延べ1, 479時間の被害防止活動に従事した。その他、狩猟免許（わな猟）取得者3人に対して、合計18千円を補助した。						
成 果	電気柵等による侵入防止対策並びにイノシシ及びニホンジカの駆除を進めることにより、農作物被害が軽減した。						
課題・今後の方向性	繁殖率が高いと言われるイノシシ・ニホンジカに対して、的確な野生鳥獣管理を進めるため、有害鳥獣対策を実施する担い手の確保やICT機器の導入を進め、効果的な被害対策に努める。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農林水産業総合振興事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会計	一般会計	
項	01	農業費	担当	農林水産課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	54,786	32,937	0	21,849	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	32,937	0	0	0	
目的	農業者の所得の向上と経営安定化を図るため、機械整備に対する費用の一部を助成し、経営規模の拡大、作業効率及び品質の向上並びに販路拡大を推進する。				
取組内容・実績	市内農林水産業者5者に対して、総額32,937千円の補助金交付を行った。				
成果	農林水産業総合振興事業交付金の交付により、農林水産業者5者の生産活動の活性化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も市内農林水産業の活性化を図るために、継続して補助事業を行っていく。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	食の地産地消推進事業			決算書 掲載ページ	320
款	06	農林水産業費	会計	一般会計	
項	01	農業費	担当	農林水産課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	10,307	9,548	0	759	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	9,548	
目的	食の地産地消推進会議を開催し、市内生産者、消費者、事業者、関係機関、学識経験者等からの意見を踏まえ、食の地産地消のための施策に反映する。また、イベント等の開催や学校給食において地場産の食材を積極的に活用することで、食の地産地消への理解を深め、地場産食材の積極的な使用を推進する。				
取組内容・実績	食の地産地消推進会議を開催し、柏崎市第三次食の地産地消推進計画に基づく実績の効果検証を行った。また、収穫体験、秋の収穫祭などのイベントを通じて地産地消の啓発を行った。				
成果	食の地産地消推進会議での食育と一体的な推進、学校給食への供給増などの意見を踏まえ、次年度の地産地消関連事業の検討を行うことができた。				
課題・今後の方向性	令和7(2025)年度は、第三次食の地産地消推進計画の最終年度である。これまでの取組と市民アンケートを実施し、第四次食の地産地消推進計画を策定する。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かな』暮らしづつをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	新規就農者育成支援事業			決算書 掲載ページ	320		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	農林水産課			
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	3,960	2,790	0	1,170			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	0	2,790			
目的	新規就農希望者の雇用創出や農業法人などの人材育成を促進し、新規就農者の確保を図る。						
取組内容・実績	国の事業「雇用就農資金」で採択を受けた3つの法人に対し、研修費の一部に補助金2,790千円を交付した。						
成果	補助金の交付により、新規就農者の確保や農業法人による人材育成の促進を図ることができた。						
課題・今後の方向性	新規就農者の雇用促進及び技術習得の支援のため、補助事業を継続して行う。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かな』暮らしづつをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	青年就農支援事業			決算書 掲載ページ	320		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	農林水産課			
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円卖位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	3,750	3,000	0	750			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	3,000	0	0	0			
目的	認定新規就農者に対して、就農直後の不安定な経営状態を支援するための補助を行う。						
取組内容・実績	対象者3人に対し、合計3,000千円を交付した。						
成果	補助金の交付により、就農直後の不安定な経営状態である新規就農者の経営安定化を図ることができた。						
課題・今後の方向性	今後も新規就農者の経営安定化を図ることから、補助事業を継続して行う。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	園芸振興支援事業			決算書 掲載ページ	320		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	農林水産課			
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	6,500	4,862	0	1,638			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	0	4,862			
目的	水稻生産だけでなく、園芸作物を生産することにより、経営規模の拡大、作業効率及び品質の向上並びに販路拡大を推進することで、農業者の所得向上を図る。						
取組内容・実績	園芸産地拡大支援事業では、申請10件に対し、4,862千円を補助した。						
成果	補助金の交付により、作業効率や品質の向上を図り、園芸作物の生産を推進できた。						
課題・今後の方向性	今後も園芸作物の生産拡大を図る必要があることから、補助事業を継続する。また、異常気象への対策等への支援を検討する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	六次産業化支援事業			決算書 掲載ページ	320		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	農林水産課			
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	6,611	5,074	0	1,537			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	0	5,074			
目的	六次産業化に必要な支援を行うことで、農業経営の多角化・複合化を図り、農業所得の多様化を促進する。						
取組内容・実績	8件の申請に対し、5,074千円を補助した。						
成果	事業の拡大及び経営の多角化を図ることができた。						
課題・今後の方向性	六次産業化支援を推進することで、商品のブランド化及び販路拡大が期待できるため、引き続き補助事業を行う。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	柏崎産米ブランド化推進事業			決算書 掲載ページ	320		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	農林水産課			
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	22,932	16,002	0	6,930			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源			
	0	0	0	16,002			
目的	柏崎市認証米「米山プリンセス」を旗艦米とした柏崎産米を消費者に訴求し、有利販売の拡大による農業所得の向上を目指す。これにより生産者のモチベーション向上にもつなげる。						
取組内容・実績	31農業者が「米山プリンセス」の生産に取り組み、このうち5者、10.26tを認証した。 令和6(2024)年産「米山プリンセス」のための土づくりを行った32農業者に対し、1,752,360円を助成した。						
成果	首都圏での販売会において、消費者へ直接「米山プリンセス」の特徴を伝えることができ、認知度の向上に寄与した。 米山プリンセス認証量の拡大に向けて、専門家のアドバイスを受け生産技術の向上を図った。						
課題・今後の方向性	「米山プリンセス」認証制度をより農業者の所得向上や有利販売につなげることのできるものにするため、農業者及び関係者で意見交換を行い、推進体制の見直しを進める。 また、米山プリンセスが果たす役割を生産者と共に考える。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	経営所得安定対策等推進事業			決算書 掲載ページ	322		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	農林水産課			
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	12,179	10,597	0	1,582			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源			
	9,590	0	0	1,007			
目的	経営所得安定対策等推進活動に係る経費を助成することで、生産者の農業経営の安定を図る。						
取組内容・実績	主食用米の米価安定に資する経営所得安定対策等のほか、交付金の申請・相談事務、作付現地確認及び普及活動など、柏崎市地域農業再生協議会の活動経費を支援した。						
成果	柏崎市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策等の申請相談事務に係る経費の一部を支援することにより、生産者の農業経営の安定につながった。						
課題・今後の方向性	引き続き経営所得安定対策等の推進活動に係る経費を助成することで、生産者の農業経営の安定を図る必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農業者保険加入促進事業			決算書 掲載ページ	322		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	農林水産課			
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	3,365	1,177	0	2,188			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源			
	0	0	0	1,177			
目的	農業者の経営努力では避けられない収入減や収量減を補償する農業者保険への加入を促進することにより、農業者のセーフティネットの整備を図る。						
取組内容・実績	対象者113人に対し、合計1,172千円を交付した。						
成果	補助金の交付により、農業経営における様々なリスクに対する備えを促進できた。						
課題・今後の方向性	農業経営における様々なリスクへの備えを促す必要があることから、引き続き補助事業を行う。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業			決算書 掲載ページ	322		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	農林水産課			
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	18,014	16,249	0	1,765			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源			
	10,059	0	0	6,190			
目的	温暖化対策、生物多様性保全等に取り組むことで、より環境保全に効果の高い農業の普及を推進する。						
取組内容・実績	295.88haの農地で環境保全型農業に取り組む1団体(43農業者)に対し、13,412,320円の環境保全型農業直接支払交付金を交付した。						
成果	補助金の交付により、農業者の環境保全に対する意識醸成を図り、環境保全型農業を推進することができた。						
課題・今後の方向性	みどりの食料システム法に基づいた「新潟県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」において、有機農業や堆肥の施用等を行った温室効果ガス削減生産方式取組面積の拡大を掲げていることからも、環境保全型農業に積極的に取り組むとともに、取組農業者数の増加に努める必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農用地高度化事業			決算書 掲載ページ	330		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	農林水産課			
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	16,031	16,031	0	0			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	16,031			
目的	ほ場整備事業が実施されない地域における意欲ある農業者を支援し、担い手の生産性向上と地域農業の維持を図る。						
取組内容・実績	農地区画の拡大集積や付帯施設の改良等の事業9件に補助金を交付した。						
成 果	農用地の小規模な基盤整備等により、生産性の高い農用地が拡大し、作業の効率化や農業経営の安定化を図ることができた。						
課題・今後の方向性	ほ場整備事業の導入の可能性を検討の上、ほ場整備事業の補完を前提として適用する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農村振興総合整備事業－上条			決算書 掲載ページ	330		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	農林水産課			
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円卖位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	48,400	42,459	0	5,941			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	26,908	11,700	0	3,851			
目的	上条地区の各種農業用施設の整備をすることで、農業生産基盤及び農村生活環境の改善・向上を図る。						
取組内容・実績	集落道2路線の改良工事と1棟の地域資源利活用棟整備工事を実施した。						
成 果	平成29（2017）年度からの継続事業により、集落道4路線の改良及び集落防災安全施設の設置が進み、上条地区的農村環境の改善・向上に寄与した。						
課題・今後の方向性	上条地区的農村生活環境を早期に改善するためには、関係機関と連携し、各種整備事業の進捗を図る必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	多面的機能支払交付金事業			決算書 掲載ページ	330		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	農林水産課			
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	219,968	219,899	0	69			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	163,149	0	0	56,750			
目的	地域の農地・農業用水等の資源の保全管理や農村環境の保全を図るとともに、水路・農道等の農業施設の長寿命化の促進を図る。						
取組内容・実績	保全活動に取り組む92組織に、計217,532,138円を交付した。						
成果	補助金の交付により、地域の農地の保全や農業施設の長寿命化が図られた。						
課題・今後の方向性	今後も農地の保全や施設の長寿命化を図る必要があることから、継続して補助事業を行う。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	中山間地域等直接支払制度事業			決算書 掲載ページ	334		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	01	農業費	担当	農林水産課			
目	06	中山間地域振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	136,959	136,456	0	503			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	99,460	0	0	36,996			
目的	農業の生産条件が不利な中山間地域における農業生産活動等の継続を通じて、荒廃農地の増加を防止し、農業・農村の有する多面的機能の確保を図る。						
取組内容・実績	25の集落協定に対し、132,612,746円を交付した。						
成果	交付金により、中山間地域の農業及び住民活動の維持・発展が図られた。						
課題・今後の方向性	過疎高齢化が進む中山間地の担い手の確保及び農地の保全を継続して図る必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	林道整備事業			決算書 掲載ページ	338
款	06	農林水産業費		会計	一般会計
項	02	林業費		担当	農林水産課
目	02	林業振興費		現年度・繰越の別	現年度予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	22,400	21,690	0	710	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源	
	8,687	0	0	13,003	
目的	雨等で傷んだ林道の補修工事を行い、林道利用者の通行の安全を確保し、林業振興及び林道の利活用の推進を図る。				
取組内容・実績	県の補助金を活用して、林道石曾根線L = 86.6 mの道路改良工事、林道米山線A = 177.6 m ² の法面補修、林道森近線改修の測量設計業務委託1件等を行った。				
成果	林道を整備することにより、木材運搬等の作業効率を向上することができた。				
課題・今後の方向性	老朽化による劣化及び天災による被害もあり、改良・補修工事が必要な路線が多いため、林道の利用状況に応じた整備が必要である。				

事務事業名	市有林造林事業			決算書 掲載ページ	338
款	06	農林水産業費		会計	一般会計
項	02	林業費		担当	農林水産課
目	02	林業振興費		現年度・繰越の別	現年度予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	6,053	5,942	0	111	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源	
	1,332	0	0	4,610	
目的	市有林について、造林事業を行うことで、市民の財産として適切な管理を行う。				
取組内容・実績	石曾根、鯨波地区の市有林において、下刈り、枝打ち、主伐など計2.95haの施業を行った。また、鯨波地区において作業道L = 85mの整備を行った。				
成果	森林整備を推進することで、森林が持つ多面的機能の向上が図られた。市有林で森林整備の市民見学会を実施したことにより、森林の重要性などを市民に直接伝えることができた。				
課題・今後の方向性	市有林は、主伐に適した林齢50年以上の人工林が60%以上を占めており、今後も計画的に主伐及び間伐を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	森林経営管理事業			決算書 掲載ページ	338		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	02	林業費	担当	農林水産課			
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	34,722	31,853	0	2,869			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	31,853			
目的	適切に管理されていない森林について、林業経営に適した人工林は森林の施業を進め、林業経営に適さない森林は天然林への樹種変更等により森林整備を進める。						
取組内容・実績	<p>雇用促進事業による柏崎地域森林組合への支援により、4名の新規雇用があり、また、職員の定着が図られた。</p> <p>林道黒姫山線の道路整備や維持管理を行った。</p> <p>森林所有者から森林の管理を受託した高柳町岡野町地区で5.83haの施業を行った。継続して、経営管理権集積計画を作成するための測量や調査を行った。</p>						
成果	森林整備の担い手の中心である柏崎地域森林組合の雇用の促進を図ることができた。また、経営管理権集積計画の作成や意向調査により、間伐の施業をすることができた。						
課題・今後の方向性	有効な財源である森林環境譲与税を活用し、人材の確保や森林整備を進めていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	かしわざ“木”の力発信事業			決算書 掲載ページ	340		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	02	林業費	担当	農林水産課			
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	18,658	17,089	0	1,569			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	7,000	10,089			
目的	木材に触れる機会をつくり、市民が木材に対する親しみや興味を抱くことにより、林業への関心や木材利用の拡大につなげる。						
取組内容・実績	<p>木材を身近に感じ、親しみを持ってもらうため、親子森林体験の開催や収穫祭へ出店し、木工体験や木材のPRを行った。</p> <p>また、柏崎産木材を使用し、子どもの遊び場を整備した。</p>						
成果	子どもたちが実際に木に親しんでもらう機会を提供することができた。						
課題・今後の方向性	森林がもたらしてくれる様々な恩恵を周知し、森林保全の重要性や林業についても興味を持っていただくとともに、森林や木材に触れる機会を創出し、木材の利用促進につなげていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	漁業就業者支援事業			決算書 掲載ページ	342		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	03	水産業費	担当	農林水産課			
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	1,200	1,200	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	1,200			
目的	新しく漁業を始める人を支援するとともに、漁船の購入を支援し、漁業者の増加を図る。						
取組内容・実績	2人の漁業者に対し、漁船の購入資金又は新規就業に係る経費を支援した。						
成 果	経済的支援により、漁業経営の安定化と新規就業につながった。						
課題・今後の方向性	引き続き、漁船の購入支援及び新規就業者に対する経済的支援を行う必要がある。						

事務事業名	漁港整備補助事業			決算書 掲載ページ	344		
款	06	農林水産業費	会計	一般会計			
項	03	水産業費	担当	農林水産課			
目	04	漁港建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	122,300	86,747	34,300	1,253			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	39,628	35,500	0	11,619			
目的	海岸沿いの住宅を波の被害から守るため、護岸や離岸堤を深刻な被害を受ける前に工事をし、施設の長寿命化を図る。また、漁港内の浚渫を行ひ漁船の航行の安全を図る。						
取組内容・実績	石地漁港海岸の第1離岸堤の消波ブロックN=408個を作成した。また、荒浜漁港の浚渫V=4, 024m ³ を行った。						
成 果	漁港海岸保全施設を補修することで、施設の長寿命化、ライフサイクルコストの低減及び背後集落の住民の安全向上が図られた。						
課題・今後の方向性	老朽化した施設においては、ライフサイクルコストを低減するため、計画的に補修する必要がある。						

7款 商工費

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

事務事業名	商業活性化推進事業			決算書 掲載ページ	350		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	10,246	7,896	0	2,350			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	7,896			
目的	柏崎商工会議所、市、業界団体等で組織する「柏崎あきんど協議会」の商業活性化事業を支援することで、柏崎地域の中小商業者の活性化を図る。また、中心市街地商店街等が実施するイベント事業を補助することで中心市街地の活性化を図る。						
取組内容・実績	<p>あきんど協議会負担金及び商業活性化イベント補助金を出し、新規需要創出を目的とした販売促進事業、空き店舗を利活用する創業者への補助、中心商店街のイベント等への支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はなまるクーポン事業 170店舗参加 ・ほんちょうマルシェ事業 37店舗参加 ・空き店舗活用創業等支援事業 1店舗 ・需要創出支援事業 5団体 ・人材育成事業 7団体15件 など 						
成果	はなまるクーポン等、商業者及び市民にメリットのある企画により、市内の商業活動や消費活動を活発化することができた。あわせて、創業者支援や商業者のスキルアップにつながった。						
課題・今後の方向性	商業者が持続可能な経営を行うために、商店街・個店の魅力向上の取組や情報発信方法の検討が必要である。柏崎あきんど協議会等の関係機関と連携しながら、適切な施策を展開する。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

事務事業名	商工団体支援事業			決算書 掲載ページ	350		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	8,300	8,300	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	8,300			
目的	商工団体の事業実施を支援することで、柏崎市の商工業等の振興を図る。						
取組内容・実績	柏崎商工会議所及び柏崎市商工会が独自に実施する商工業者振興事業を支援した。						
成果	商工団体の事業実施を支援することで、柏崎市の商工業等の振興に寄与した。						
課題・今後の方向性	商工業者の持続的な事業継続のため、引き続き地域に密着した商工団体への支援を行っていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-2 起業・創業を支援する

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	創業支援事業			決算書 掲載ページ	350		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	9,672	6,218	0	3,454			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	6,218			
目的	創業塾や相談会を行うことで、創業希望者を発掘する。 また、創業の基礎知識を学んだ上で創業を促すことで、創業率や事業継続性の向上を図るほか、創業に係る経費を補助し、創業の機運を高める。						
取組内容・実績	創業塾（柏崎・社長のたまご塾）、創業経営相談事業等の運営費補助を行った。創業塾の前期は11人、後期は6人が卒塾した。また、柏崎商工会議所の創業相談の利用者は年間12人であった。ほかにも、創業者を対象とした広告宣伝費や改装費の補助は12件、事務所の家賃補助は5件の利用があった。						
成果	創業塾、相談事業及び創業者への補助を行うことで、創業の機運を高めることができた。						
課題・今後の方向性	今後も、創業塾のリモート受講体制、創業の支援制度などを周知することで、潜在的な創業希望者を掘り起こすほか、関係機関と連携し、創業者への支援を行っていく。						

事務事業名	地域ブランドづくり支援事業			決算書 掲載ページ	352		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	2,000	2,000	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	2,000			
目的	本市产品によるブランド力強化を図ることで、本市の認知度向上につなげ、シティセールスに貢献する。						
取組内容・実績	かしわざき広域ビジネスネットワークが「N I I G A T A みらいプロジェクト」と連携して実施する地域ブランドづくり支援事業へ補助金の交付を行った。 ・応募件数4件、採択件数2件						
成果	自社商品の開発や既存商品のプラッシュアップを支援し、本市の地域ブランドづくりの促進に寄与することができた。						
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和6（2024）年度で終了する。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	工業振興事業			決算書 掲載ページ	352
款	07	商工費		会計	一般会計
項	01	商工費		担当	ものづくり振興課
目	02	商工振興費		現年度・繰越の別	現年度予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	26,045	20,147	0	5,898	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般 財 源	
	0	0	12	20,135	
目的	各種支援制度の活用を通じたものづくり産業の生産性向上、受注開拓及び人材確保を図る。				
取組内容・実績	設備投資への支援では、条例に基づき30社・総額5,465万700円の固定資産税減免及び10社・総額501万1,000円の奨励金交付を行ったほか、中小企業等経営強化法に基づく先端設備等導入計画を11社に認定した。受注開拓では、13社の見本市出展費用助成のほか、8社と工業見本市「機械要素技術展」に出演した。人材確保では、大学生向けに延べ22社の企業訪問を実施し、118人の参加を得た。				
成果	設備投資に伴う固定資産税の軽減措置、助成金交付及び見本市出展に対する助成金交付の対象となった事業者数は前年度を上回っており、幅広い事業者の生産性向上及び受注開拓を支援することができた。また、大学生を対象とした企業見学会及び企業研究会では、市内企業に目を向けて進路を考える機会を学生に提供することができた。				
課題・今後の方向性	ものづくり産業にとって、人材、設備及び販路を発展させ続けることが重要な課題であり、DX・GXの活用を含め、これら課題に対して積極的に取り組む企業を引き続き支援していく。				

事務事業名	人材育成支援事業			決算書 掲載ページ	354
款	07	商工費		会計	一般会計
項	01	商工費		担当	ものづくり振興課
目	02	商工振興費		現年度・繰越の別	現年度予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	4,816	4,429	0	387	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般 財 源	
	0	0	0	4,429	
目的	若者の地元企業への就職率や定着率を高め、産業界で力を発揮できる若手技能者の育成・確保とともにづくり技術の継承を推進する。				
取組内容・実績	ものづくりマイスターカレッジを開講し、受講者のうち12人が2級以上の技能検定に合格した。また、柏崎工業高校2年生による54社でのインターンシップ、3社での実務体験を支援した。資格取得費や研修受講料を助成する高度技術者育成推進助成金は、20社・延べ93人に対して交付した。				
成果	インターンシップ支援を通じた若者の地元企業に対する認知向上や、ものづくりマイスターカレッジを通じた若手技能者の育成・技術向上を図ることができた。また、資格取得に係る助成金の交付により、職業能力やモチベーションを高め、生産性や付加価値の向上に取り組む市内事業者の積極的な人材育成を後押しできた。				
課題・今後の方向性	ものづくりマイスターカレッジによる技術指導や資格免許取得の推奨をすることで、優れたものづくり技術の継承を推進していく。また、特に若者に対して、インターンシップや実務体験を通じた地元企業の認知向上と理解促進を図り、将来のものづくり産業を担う人材の確保・育成に取り組む。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	新技術・新製品研究開発支援事業			決算書 掲載ページ	356		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	ものづくり振興課			
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	7,388	4,983	0	2,405			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	0	4,983			
目的	個々の技術に磨きを掛け、更に付加価値の高い製品づくりに向けて新たな事業展開に積極的に取り組む中小製造事業者を支援し、企業ブランドの向上と高付加価値化を図る。						
取組内容・実績	知的財産権取得支援助成金を7社延べ40件に対して交付した。また、柏崎技術開発振興協会が実施するものづくりチャレンジ支援事業では、新製品開発の取組を2件支援した。						
成果	中小製造事業者の新技術・新製品開発への挑戦を支援し、より付加価値の高いものづくりを後押しすることができた。また、知的財産の保護や権利化により競争力が強化され、中小製造事業者の成長を推進することができた。						
課題・今後の方向性	産学官金の連携も含めた新技術・新製品の開発と、知的財産の権利化への支援を通じ、企業ブランドの向上と高付加価値化を目指す企業活動を引き続き推進する。						

事務事業名	情報産業育成振興事業			決算書 掲載ページ	356		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	ものづくり振興課			
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	6,047	2,687	0	3,360			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	2,687	0			
目的	新商品開発、人材育成などへの支援を行い、情報関連産業の更なる振興を図る。						
取組内容・実績	柏崎市IT商品開発支援補助金を1件交付した。						
成果	市場のシェア獲得や拡大を目指す情報産業事業者の競争力強化を支援することができた。						
課題・今後の方向性	当市情報産業は、令和5(2023)年の経済センサスにより市場規模70億円を超えたことを確認できた。引き続き、当市情報産業市場規模70億円を維持しつつ、雇用の確保及び人材の育成に努める。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	廃炉産業調査研究事業			決算書 掲載ページ	356		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	ものづくり振興課			
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	1,059	212	0	847			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	212			
目的	必ず廃炉となる将来を見据え、原子力発電所の長期にわたる廃炉工程を新たな産業の創出に結び付けるため、国、県、大学、電力事業者などで構成する勉強会で調査研究を実施する。						
取組内容・実績	将来的な原子力発電所の廃炉を見据え、廃炉産業創出に関する勉強会を2回開催し、廃炉の現状把握と情報共有を行った。うち1回は、市内事業者と共に実際に廃炉が進む原子力発電所の視察を実施した。						
成果	廃炉産業創出に関する勉強会により市内関連業者の知見が更に深まり、廃炉措置に伴う具体的な受注方法など、ビジネスにつながる活発な意見交換がなされるようになった。						
課題・今後の方向性	市内事業者が参加する勉強会活動により、廃炉事業において地元事業者が参入できる事業領域があることが判明した。今後は、市内事業者が習得すべき技術、構築すべき受注体制などに重点を置いた研究を進める。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	事業構造強化促進事業			決算書 掲載ページ	356		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	ものづくり振興課			
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	126,194	40,436	10,000	75,758			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	40,436			
目的	脱炭素社会やカーボンニュートラルへの動きが加速化する中、基幹産業である製造業を始めとする市内事業者の更なる成長に向けた新分野展開・事業転換や脱炭素化への取組を推進する。						
取組内容・実績	市内製造業の事業者に対し、製造業を取り巻く最新技術の動向や全国での先行事例に関する情報を提供するための次世代技術研修会を開催した。新分野展開や事業転換に積極的に取り組む企業への補助事業では事業計画2件を採択した。また、脱炭素化への取組を支援するため、再生可能エネルギー由来の電力調達に伴う加算料金を一部補助する制度を新たに創設し、21社に対して補助金を交付した。						
成果	新分野展開や事業転換に積極的に取り組む企業に対して、研修会での情報提供や補助金の交付により、事業者の前向きな変革を支援することができた。また、再生可能エネルギー由来の電力調達に伴う加算料金を一部補助する制度について、21社に補助金を交付し、市内事業者の脱炭素化の取組を支援した。						
課題・今後の方向性	脱炭素やカーボンニュートラルへの動きが加速化する中で、基幹産業である製造業は、更なる企業価値の向上を目指すことが必要となるため、再生可能エネルギー電力の導入拡大など、積極的に脱炭素化に取り組む企業を引き続き支援する。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	原油価格・物価高騰等緊急対策事業			決算書 掲載ページ	356
款	07	商工費	会計	一般会計	
項	01	商工費	担当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	51,991	22,684	28,922	385	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	17,000	0	0	5,684	
目的	原油・原材料価格高騰の影響を受けている市内事業者の負担を軽減するため、補助金による支援を実施する。				
取組内容・実績	エネルギー価格の高騰に耐え得る企業体质への転換を後押しするため、67件の省エネ設備の導入に関する補助金の申請を受け付けた。そのうち33件に対し、令和6（2024）年度中に補助金を交付し、残りの34件は令和7（2025）年度に交付する予定である。				
成果	補助事業により、市内事業者が抱えている負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	物価高騰の状況、国の対応動向などを注視し、事業者支援を検討する。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	DX推進事業			決算書 掲載ページ	356
款	07	商工費	会計	一般会計	
項	01	商工費	担当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	10,990	8,862	0	2,128	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	0	0	8,862	0	
目的	産学官金で構成する柏崎市DX推進ラボにおいて、市内企業への設備導入支援やデジタル人材の育成について推進する。				
取組内容・実績	柏崎市DX推進ラボでは、デジタル化啓発・相談事業、デジタル技術活用実践事業及びデジタル人材育成・確保事業の3つを軸に活動を行った。設備導入に関する補助事業、セミナーの開催、人材育成に関する講座の実施など、DX推進に関する施策を展開することで市内企業を支援した。				
成果	柏崎市DX推進ラボが実施する各種事業により、ものづくり産業を始めとする市内事業者のDXが推進された。また、DXを取り入れることの重要性や、市内事業者における取組を周知することにより、DXに対する考え方の改善や、取り組むまでの心理的ハードルを下げることができた。				
課題・今後の方向性	DX推進に取り組む企業は徐々に増加しており、市内でもDXに対する意識は向上しているものの、市内全体に波及している状態ではない。引き続き、柏崎市DX推進ラボで実施する事業の周知方法や関係者との連携について改善を図り、DXについて啓発や人材育成を進める。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-3 企業誘致を進める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	企業立地事業			決算書 掲載ページ	358
款	07	商工費	会計	一般会計	
項	01	商工費	担当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	103,403	102,177	0	1,226	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	102,177	
目的	企業誘致により、雇用機会及び税収の確保並びに地域産業の活性化による本市経済の持続的な発展を目指す。また、企業立地の新たな受け皿となる産業団地を造成するための基本構想を策定する。				
取組内容・実績	新規企業立地事業者（3社）へ企業立地促進助成金を交付した。また、産業団地適地調査により選定された鯨波地区を対象に、産業団地造成に向けた基本構想策定業務を実施した。				
成果	新規事業者3社の立地により、雇用の場や事業機会の拡大に寄与することができた。また、鯨波産業団地基本構想を策定し、開発エリアの設定等を行った。				
課題・今後の方向性	多様な企業立地ニーズに対応するため、企業立地に際しての用地取得、設備投資、電気料金助成などの優遇策を引き続き展開するとともに、新たな産業団地を整備する。				

事務事業名	地域活性化イベント支援事業			決算書 掲載ページ	358
款	07	商工費	会計	一般会計	
項	01	商工費	担当	地域事務所	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	3,610	3,550	0	60	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	0	3,550	
目的	イベントを継続して開催することで、地域の情報や魅力を発信し、交流人口の増大により地域活性化を図る。				
取組内容・実績	「狐の夜祭り」「高柳雪まつりYOU・悠・遊」のイベント運営の支援を行った。				
成果	「狐の夜祭り」「高柳雪まつりYOU・悠・遊」に、合わせて4,800人の来場者があった。				
課題・今後の方向性	今後も高柳町地域の情報や魅力を発信し、交流人口の増大と地域の活性化を図るために、イベントの支援を行う。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	地域活性化イベント支援事業			決算書 掲載ページ	360		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	3,300	3,300	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	3,300			
目的	柏崎地域のにぎわいに寄与するイベントを支援することで、本市への誘客・認知度向上につなげ、地域活性化に貢献する。						
取組内容・実績	「かしわざき風の陣」及び「どんG A L A ! 祭り」の各実行委員会に補助金を交付した。						
成 果	自然、文化、歴史等の資源を活用した地域活性化のためのイベントが開催されることにより、柏崎のイメージアップ、地域産業の発展及び文化振興が図られた。						
課題・今後の方向性	各実行委員会の経済面、マンパワー不足等の課題解決に向けた取組が必要となる。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	海水浴場環境整備費			決算書 掲載ページ	360		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	44,730	42,921	0	1,809			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	42,921			
目的	海水浴場利用者の利便性向上及び安全対策に努める。						
取組内容・実績	5か所の海水浴場でライフセーバーによる監視を実施した。また、駐車場管理、環境美化などの業務委託を行った。						
成 果	海水浴客の安全確保及び利便性の向上が図られた。						
課題・今後の方向性	ライフセーバーの人材確保のため、業務環境改善、市外からの人材募集のための営業活動等を実施する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	海水浴場整備事業			決算書 掲載ページ	362		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	15,059	12,905	0	2,154			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	2,000	0	0	10,905			
目的	利用者が安全安心に海水浴を楽しむ環境を整備する。						
取組内容・実績	線路上に架かる橋りょうの検査分析委託、堆砂の整地等を行った。						
成 果	海水浴客の安全確保が図られた。						
課題・今後の方向性	引き続き、定期的な橋りょう点検や堆砂の整備をし、海水浴客の安全確保に努める。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	登山道遊歩道整備事業			決算書 掲載ページ	362		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	21,285	15,667	4,798	820			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	4,015			
目的	米山山頂施設の整備を行い、登山者に安全で快適な登山環境を提供する。大型バス駐車場及び休憩施設建設に向け、必要な業務を行う。御野立トンネルの封鎖工事を適切に行い、鯨波遊歩道利用者の安全を確保する。						
取組内容・実績	米山山頂避難小屋公衆トイレ汚泥引き抜き業務委託、御野立トンネル封鎖工事等を行った。						
成 果	米山山頂避難小屋公衆トイレが快適に使用できるようになった。また、御野立トンネルの景観と安全性の確保が図られた。						
課題・今後の方向性	米山登山道大平口大型バス駐車場及び休憩施設の整備を行う。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	情報発信・商品開発戦略事業			決算書 掲載ページ	362		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	2,914	2,712	0	202			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	2,712			
目的	観光誘客促進の取組を通じて、関連する観光産業等を活性化する。						
取組内容・実績	市内三庭園（松雲山荘、秋幸苑（飯塚邸）及び貞觀園）を中心とした観光素材のPRを強化し、ツアー誘致を展開した。 ・ツアー誘致9社20件（559人参加）						
成 果	三庭園を中心とした観光ツアー誘致に取り組んだことで、観光消費を生み出し、観光産業の活性化に寄与することができた。 ・ツアーによる市内直接消費額 2,796千円						
課題・今後の方向性	市外・県外旅行会社との新たな連携構築を進め、日帰り及び宿泊ツアー誘致を促進する。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	観光振興経費			決算書 掲載ページ	364		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	50,251	50,096	0	155			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	37	50,059			
目的	柏崎市への誘客・宣伝活動を展開して、観光客の誘客につなげる。						
取組内容・実績	観光関連団体に対し負担金を支出し、連携を図りながら、誘客・宣伝活動を行った。						
成 果	関係団体との連携により観光産業の維持や活性化に寄与することができた。						
課題・今後の方向性	引き続き、関係団体の連携を強化していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	ぎおん柏崎まつり事業			決算書 掲載ページ	364		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	82,579	57,438	0	25,141			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	56,041	1,397			
目的	柏崎市最大のイベントである「ぎおん柏崎まつり」及び越後三大花火として全国的にも知名度がある「海の大花火大会」を安全かつ盛大に開催し、誘客につなげる。						
取組内容・実績	ぎおん柏崎まつり協賛会に負担金を支出し、会場設営、安全対策、柏崎ならではの花火の打ち上げ等を行った。						
成果	市民を始め県内外からの観光誘客の推進に寄与した。						
課題・今後の方向性	海の大花火大会の観覧者が増加する中で、適切な花火大会の規模や安全を確保していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	えんま市運営事業			決算書 掲載ページ	366		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	18,272	17,939	0	333			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	2,368	15,571			
目的	200年以上の歴史や伝統があるえんま市の来場者及び出店者の安全確保や利便性の向上を図る。						
取組内容・実績	電燈配線、放送設備及び安全対策の業務委託を行い、安全で楽しい祭りを運営した。						
成果	週末開催ということもあり、市民を始め県内外からの観光誘客の推進に寄与した。						
課題・今後の方向性	来場者数が増加している中で、安全対策、周辺の警備等に更なる改善が必要である。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	松雲山荘整備費			決算書 掲載ページ	368		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	16,066		13,535	0	2,531		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	5,527	0	0	8,008			
目的	松雲山荘の整備を行い、安全性の確保及び園内景観を維持し、松雲山荘の魅力向上を図る。						
取組内容・実績	園路舗装及び法面崩落対策工事等を行った。 ^{のり}						
成果	安全性確保及び景観保全による庭園の魅力向上を図ることができた。						
課題・今後の方向性	施設設備の老朽化及び樹木の劣化に対応していく必要がある。また土壤改良を施したモミジの色づきに関して、長期的に注視していく。						

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	インバウンド推進事業			決算書 掲載ページ	368		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	500		500	0	0		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	0	0	0	500			
目的	インバウンド推進事業を通して交流人口を拡大させることで、地域経済を活性化させるとともに、住民が誇りや愛着を持てる地域づくりを実現することを目指す。						
取組内容・実績	インバウンド推進協議会に負担金を支出し、交流人口の拡大及び地域経済の活性化の推進を図った。						
成果	海外水球関係者を対象としたモニターツアーを計画したが、日程調整等により実施できなかった。						
課題・今後の方向性	柏崎におけるインバウンドの需要や方向性に則した具体的な事業展開を図る必要がある。						

8款 土木費

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	新たな海の柏崎モデル事業			決算書 掲載ページ	368		
款	07	商工費	会計	一般会計			
項	01	商工費	担当	商業観光課			
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	12,693	10,876	0	1,817			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	400	0	0	10,476			
目的	海辺でキャンプ、バーベキュー、マリンスポーツ、ビーチスポーツ、海洋生物観察等を楽しめる環境を整備し、海水浴を中心とした観光からの転換を図る。						
取組内容・実績	<p>キャンプ、バーベキュー、マリンスポーツ、ビーチスポーツ、海洋生物観察等を楽しむことができる環境を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・番神自然水族館利用者数 542人 ・かしわざきセントラルビーチ利用者数 1,868人 						
成 果	多くの市民及び観光客に海辺でのキャンプ等を楽しんでいただき、これまでになかった体験を提供することができた。また、柏崎の海は美しく、多様な生物が生息していることを知ってもらう機会とすることことができた。						
課題・今後の方向性	環境をいかしたアクティビティを開拓し、安定的・継続的な運営の確立に取り組む。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

事務事業名	木造住宅耐震改修費等補助金交付事業			決算書 掲載ページ	380		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	01	土木管理費	担当	建築住宅課			
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	2,550	2,550	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	1,700	0	0	850			
目的	地震時の被害を未然に防止するため、木造住宅を耐震改修する、又は除却し住み替えを行う方を支援し、地震に強いまちづくりを推進する。						
取組内容・実績	木造住宅の耐震改修を実施した1件に対し補助金を交付した。また、耐震性のない住宅を除却し、耐震性のある住宅に住み替えた3件に対し補助金を交付した。						
成 果	木造住宅の耐震改修又は住み替えを行うための除却に対して補助することで、地震に強いまちづくりを進めることができた。						
課題・今後の方向性	地震に対する意識が希薄になってきている上に、将来を見越して耐震改修をする人が少なくなっている。粘り強く耐震改修の重要性の意識啓発及び補助制度の周知を図り、震化を進めていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然灾害に備えた対策を進める

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好的な生活を支える環境を守る

事務事業名	木造住宅耐震診断費補助金交付事業			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会計	一般会計	
項	01	土木管理費	担当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	3,970	2,990	0	980	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	1,594	0	0	1,396	
目的	地震時の被害を未然に防止するため、木造住宅の耐震診断を行う方を支援し、地震に強いまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	耐震化の重要性の意識啓発及び補助制度の周知を図るため、関町地内80戸の戸別訪問を行った。木造住宅の耐震診断を実施した38件に対し補助金を交付した。				
成果	耐震診断を実施することで、所有者の意識啓発が図られ、地震に強いまちづくりを進めることができた。				
課題・今後の方向性	地震に対する意識が希薄になってきている上に、将来を見越して耐震改修をする人が少なくなっている。粘り強く耐震診断の重要性の意識啓発及び補助制度の周知を図り、耐震化を進めていく必要がある。				

事務事業名	住まい快適リフォーム事業			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会計	一般会計	
項	01	土木管理費	担当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	50,000	48,700	0	1,300	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	1,147	0	0	47,553	
目的	市民が快適に安心して暮らせる居住環境の維持及び向上並びに空き家の有効活用による移住定住の促進を図る。あわせて、市内住宅関連産業の活性化を促進する。				
取組内容・実績	住宅のリフォームを実施した266件（そのうち子育て世帯分27件、二世帯分20件）に補助金を交付した。また、空き家のリフォームを実施した8件に補助金を交付した。				
成果	住宅のリフォームを行うことにより、市民の居住環境の向上及び空き家を有効活用した移住定住の促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	リフォームによる居住環境の向上を望まれる方が多く、引き続き必要な支援を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好的な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	空き家対策事業			決算書 掲載ページ	382		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	01	土木管理費	担当	建築住宅課			
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	9,858	5,057	0	4,801			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	1,442	0	1	3,614			
目的	所有者及び管理者の空き家問題に対する意識啓発を図るとともに、活用可能な空き家の新たな利用者とのマッチングを行い、管理不全な空き家の発生を抑制する。また、適切に管理されていない空き家の所有者及び管理者に対し、適切な管理を促す。						
取組内容・実績	特定空家の適正管理を促す助言・指導75件及び勧告31件を行い、15件の特定空家を削減できた。また、空き家の有効活用として空き家バンクの新規登録件数は12件で、7件の成約があった。						
成果	行政指導により、特定空家を削減し、良好な生活環境を保全することができた。また、空き家バンクの成果により、空き家を利活用することができた。						
課題・今後の方向性	所有者に行政指導を継続して行い、特定空家の削減を図るとともに、空き家バンクによる利活用を推進する。また、所有者の管理者意識を醸成するために、適切な情報提供と広報活動を行っていく必要がある。						

事務事業名	道路管理費			決算書 掲載ページ	386		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	02	道路橋りょう費	担当	道路維持課			
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	169,971	157,092	0	12,879			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	522	156,570			
目的	道路を適切に管理し、人や車が安全に通行できる環境を整備する。						
取組内容・実績	市道実延長1,156kmについて、業務委託により補修作業を実施した。また、トンネルの電気料やアスファルト合材などの原材料購入費を支出した。						
成果	道路施設の適切な管理により、安全で安心な道路交通を確保することができた。						
課題・今後の方向性	安全で安心な道路交通確保のために、今後も継続して道路施設を適切に管理していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	道路修繕事業			決算書 掲載ページ	388		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	02	道路橋りょう費	担当	道路維持課			
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	345,042	335,289	0	9,753			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	253,200	30,000	52,089			
目的	道路施設の補修工事を行うことにより、安全な道路網を確保する。						
取組内容・実績	道路補修工事を20件、舗装補修工事を28件、側溝補修工事を71件、橋りょう補修工事を5件実施した。						
成果	道路施設の補修工事により、安全な道路網を確保することができた。						
課題・今後の方向性	安全な道路網を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	道路舗装修繕事業			決算書 掲載ページ	388		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	02	道路橋りょう費	担当	道路維持課			
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	151,000	150,810	0	190			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	143,500	0	7,310			
目的	幹線市道の舗装補修工事を行うことにより、安全な道路網を確保する。						
取組内容・実績	舗装補修工事を18件実施した。						
成果	幹線市道の舗装補修工事により、安全な道路網を確保することができた。						
課題・今後の方向性	安全な道路網を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	除雪経費			決算書 掲載ページ	388		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	02	道路橋りょう費	担当	道路維持課			
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	127,315	122,956	0	4,359			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	122,956			
目的	冬期間の安全で快適な道路交通を確保する。						
取組内容・実績	除雪車6台をリース契約により調達し、市道除雪を行った。また、町内会が実施した道路除排雪について、費用の75%を補助した。						
成 果	除雪車のリースによる調達で市道除雪を行い、冬期間の道路交通を確保することができた。また、町内会が実施する道路除排雪について、156町内会に費用の補助をすることができた。						
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通を確保するため、今後も継続して事業を実施していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	除雪経費（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	388		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	02	道路橋りょう費	担当	道路維持課			
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	821,582	761,494	0	60,088			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	93,258	0	0	668,236			
目的	冬期間の安全で快適な道路交通を確保する。						
取組内容・実績	除雪路線延長L = 643.4 kmについて除雪事業者に委託し、冬期間における道路交通を確保した。						
成 果	除雪事業者に委託したことにより、冬期間の道路交通を確保することができた。						
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通を確保するため、今後も継続して事業を実施していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	消融雪施設整備事業（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	390		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	02	道路橋りょう費	担当	道路維持課			
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	165,399	131,509	33,889	1			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	60,720	66,100	0	4,689			
目的	消融雪施設の整備工事を行うことにより、冬期間の道路交通を確保する。						
取組内容・実績	消雪パイプ用の井戸の掘り換え工事を4件、消雪パイプの打ち換え工事を3件実施した。						
成果	消融雪施設の整備工事により、冬期間の道路交通を確保することができた。						
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	除雪車購入国庫補助事業			決算書 掲載ページ	390		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	02	道路橋りょう費	担当	道路維持課			
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	57,785	55,352	0	2,433			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	36,900	16,600	0	1,852			
目的	計画的に除雪車を更新し、修理費の削減や機械性能の向上により、安全で安定した除雪体制の維持を図る。						
取組内容・実績	国庫補助事業によりロータリ除雪車2.2m級1台を購入した。						
成果	老朽化した除雪車を更新したことにより、冬期間の道路交通を確保することができた。						
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	除雪車購入市費事業			決算書 掲載ページ	390		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	02	道路橋りょう費	担当	道路維持課			
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	59,305	52,954	0	6,351			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	50,000	0	0	2,954			
目的	計画的に除雪車を更新し、修理費の削減や機械性能の向上により、安全で安定した除雪体制の維持を図る。						
取組内容・実績	除雪ドーザ11t級1台及び8t級2台を購入した。						
成果	老朽化した除雪車を更新したことにより、冬期間の道路交通を確保することができた。						
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	小型除雪機購入費補助金			決算書 掲載ページ	390		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	02	道路橋りょう費	担当	道路維持課			
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	2,853	2,853	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	2,853			
目的	大型除雪車が入れない袋小路や幅の狭い道路について、小型除雪機の購入補助することにより、地域住民による除雪を推進する。						
取組内容・実績	小型除雪機械購入補助金を申請のあった6町内会に交付した。						
成果	補助金を活用して購入した小型除雪機を使用し、大型除雪車が入れない幅の狭い市道などを地域住民で除雪したことにより、冬期間の道路交通を確保することができた。						
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	交通安全施設修繕事業			決算書 掲載ページ	390
款	08	土木費	会計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	92,058	81,256	7,509	3,293	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	30,000	37,400	0	13,856	
目的	交通安全施設などを新設・更新することにより、道路交通の安全・安心を確保する。				
取組内容・実績	区画線設置工事を11件、照明設置工事を3件、防護柵設置工事を13件実施した。				
成 果	交通安全施設などを新設・更新することにより、歩行者等が安全に通行できるようになり、道路交通の安全安心を確保することができた。				
課題・今後の方向性	道路交通の安全安心を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	交通安全施設修繕事業（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	392
款	08	土木費	会計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	19,600	17,945	0	1,655	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	8,855	6,500	0	2,590	
目的	路肩拡幅工事や歩道新設工事を行うことにより、歩行者の安全を確保する。				
取組内容・実績	市道柏崎9-11号線の交通安全施設設置工事1件、市道柏崎9-266号線の路肩拡幅工事1件を実施した。				
成 果	交通安全施設などを新設・更新することにより、歩行者等が安全に通行できるようになり、道路交通の安全安心を確保することができた。				
課題・今後の方向性	道路交通の安全安心を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	橋りょう・トンネル修繕事業（道路メンテナンス事業）			決算書 掲載ページ	392		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	02	道路橋りょう費	担当	道路維持課			
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	250,000	236,588	9,500	3,912			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	128,040	79,500	0	29,048			
目的	橋りょうやトンネルの損傷を調査し、修繕工事などを行うことにより、安全な道路網を確保する。						
取組内容・実績	橋りょうの修繕工事を6件、長寿命化修繕計画策定委託を1件、点検委託を4件、塗膜調査委託を1件、橋りょう工事監理委託を1件、橋りょう塗膜にあるPCBの廃棄物運搬委託を2件実施した。						
成果	橋りょうやトンネルの修繕工事を実施し、長寿命化を図ることにより、歩行者及び車両の通行の安全を確保することができた。						
課題・今後の方向性	安全な道路網を確保するために、市道橋やトンネルを5年の周期で計画的に点検し、その結果に応じた修繕を行うことにより、施設の機能を維持する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	道路新設改良市費事業			決算書 掲載ページ	392		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	02	道路橋りょう費	担当	道路河川課			
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰明許予算	現年度予算・繰明許予算		
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	106,331	96,840	0	9,491			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	12	96,828			
目的	道路を整備することで、生活環境の整備及び交通の安全確保を図る。						
取組内容・実績	<p>次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道柏崎10-52号線ほか14路線の測量設計調査 ・市道柏崎11-1号線ほか4路線の土地調査測量 ・市道柏崎11-1号線ほか5路線の物件調査算定 ・市道柏崎3-67号線ほか2路線の道路工事 						
成果	道路を整備することで、生活環境の整備及び交通の安全確保を図ることができた。						
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	道路新設改良地方道路等整備事業			決算書 掲載ページ	394
款	08	土木費	会計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	300,290	252,539	45,100	2,651	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	85,962	59,300	0	107,277	
目的	生活道路を整備することで、生活環境の整備及び交通の安全確保を図る。				
取組内容・実績	<p>次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道柏崎伊毛鎌田線ほか7路線の道路拡幅工事 				
成果	生活道路を整備することで、生活環境の整備及び交通の安全確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	道路新設改良電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	394
款	08	土木費	会計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	74,140	72,288	0	1,852	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	65,000	0	0	7,288	
目的	幹線道路を整備することで、生活環境の整備及び交通の安全確保を図る。				
取組内容・実績	<p>次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道柏崎8－172号線ほか1路線の道路拡幅工事 				
成果	幹線道路を整備することで、生活環境の整備及び交通の安全確保を図ることができた。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然灾害に備えた対策を進める

事務事業名	河川改修市費事業			決算書 掲載ページ	396		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	03	河川費	担当	道路河川課			
目	03	河川改修費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	104,820	95,664	0	9,156			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	70,000	7,200	0	18,464			
目的	河川の幅が狭く水が流れにくい箇所の改修を行うことで、浸水被害の軽減を図る。						
取組内容・実績	<p>次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下野川ほか4河川の河川改修工事 ・ドンドン川の河川浚渫工事 						
成 果	河川の幅が狭く水が流れにくい箇所の改修を行うことで、浸水被害の軽減を図ることができた。						
課題・今後の方向性	浸水被害の軽減を図るため、今後も計画的に事業を継続する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然灾害に備えた対策を進める

事務事業名	宅地耐震化推進事業			決算書 掲載ページ	400		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	05	都市計画費	担当	都市計画課			
目	01	都市計画総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	14,400	14,266	0	134			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	4,755	0	0	9,511			
目的	大規模盛土造成地の状況を調べ、市民の地震防災への意識を高める。						
取組内容・実績	大規模盛土造成地の安全性を把握するため、2か所で大規模盛土造成地変動予測調査を実施した。						
成 果	調査した大規模盛土造成地について、基準安全率を満たしていることを確認した。また、ホームページで公表することにより、市民の地震防災への意識を高めることができた。						
課題・今後の方向性	引き続き、市民の地震防災への意識を高めるため、大規模盛土造成地の状況を調べて公表する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	街路事業電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	402		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	05	都市計画費	担当	都市計画課			
目	02	まちづくり事業費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	137,000		112,047	0	24,953		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	100,000	0	0	12,047			
目的	都市計画道路宝田北斗町線を整備し、国道8号柏崎バイパスと中心市街地のアクセス向上を図る。						
取組内容・実績	都市計画道路宝田北斗町線の道路本体工事に必要となる軟弱地盤対策工事を251.5m実施した。						
成果	都市計画道路宝田北斗町線の事業進捗を図ることができた。						
課題・今後の方向性	国道8号柏崎バイパスと中心市街地のアクセスを向上させるため、事業を計画的に進める必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好的な生活を支える環境を守る

事務事業名	都市公園管理事業			決算書 掲載ページ	402		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	05	都市計画費	担当	都市計画課			
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	70,281		65,725	0	4,556		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般財源			
	0	0	143	65,582			
目的	公園施設の維持管理を行うことで、安全で安心して利用できる憩いの場を提供する。						
取組内容・実績	25か所の都市公園の維持管理を町内会等に委託し、清掃、除草、施設の保守等を行った。						
成果	安全で安心して利用できる憩いの場を提供することができた。						
課題・今後の方向性	引き続き、安全で安心して利用できる憩いの場を提供するため、適切に公園を維持管理する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好的な生活を支える環境を守る

事務事業名	都市公園整備事業			決算書 掲載ページ	404		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	05	都市計画費	担当	都市計画課			
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	63,095	29,052	33,300	743			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	1,500	12,500	8,797	6,255			
目的	都市公園施設を計画的に改築更新することにより、利用者の安全性の確保及び利便性の向上を図る。						
取組内容・実績	春日公園ほか8か所の施設改修工事等を実施した。また、ふるさと応援基金を活用して赤坂山公園展望広場にカンザンロードを整備した。						
成果	「柏崎市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に改築更新を行い、公園施設の安全性の確保及び利便性の向上を図るほか、ふるさと応援基金を活用して公園環境の整備促進を図ることができた。						
課題・今後の方向性	都市公園施設は建設後40年以上経過し、老朽化が進んでいる施設もあるため、今後も計画的な施設の維持修繕及び改築更新を行う必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好的な生活を支える環境を守る

事務事業名	都市公園整備事業（電源立地地域対策交付金事業）			決算書 掲載ページ	404		
款	08	土木費	会計	一般会計			
項	05	都市計画費	担当	都市計画課			
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	17,500	16,046	0	1,454			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	14,000	0	0	2,046			
目的	都市公園施設を計画的に改築更新することにより、利用者の安全性の確保及び利便性の向上を図る。						
取組内容・実績	中部公園のトイレ改修工事を実施した。						
成果	「柏崎市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に改築更新を行い、公園施設の安全性の確保及び利便性の向上を図ることができた。						
課題・今後の方向性	都市公園施設は建設後40年以上経過し、老朽化が進んでいる施設もあるため、今後も計画的な施設の維持修繕及び改築更新を行う必要がある。						

9款 消防費

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	消防団員報酬			決算書 掲載ページ	418		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	消防総務課			
目	02	非常備消防費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	73,483	60,229	0	13,254			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	60,229			
目的	消防団員に報酬を支払い、消防団の人員確保を図り、地域の安全・安心に貢献する。						
取組内容・実績	1,325人の消防団員に、報酬を支払った。						
成 果	災害などの発生時において迅速に対応する消防団員に報酬を支払うことで、地域の安全・安心を確保できた。						
課題・今後の方向性	今後も消防団員の苦労に報いるとともに、消防団員を確保するために、報酬の支払を継続する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	非常備消防施設維持管理費			決算書 掲載ページ	418		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	消防総務課			
目	02	非常備消防費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	14,832	14,660	0	172			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	14,660			
目的	施設、車両、機械器具などの点検、整備及び修理を行うことにより、消防団活動に支障が出ない体制を構築する。						
取組内容・実績	消防車庫の修理、車両の点検、小型動力ポンプの点検などを行った。						
成 果	施設、車両、機械器具などの維持管理や保守点検整備を行うことにより、災害に対して迅速に対応できた。						
課題・今後の方向性	今後も地域防災力向上のため、資機材の維持管理や保守点検を継続する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	分団活動費			決算書 掲載ページ	418		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	消防総務課			
目	02	非常備消防費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	10,524	9,137	0	1,387			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	9,137			
目的	柏崎市消防団を構成する団本部、ラッパ隊、女性消防隊、学生消防隊、方面隊、分団などが、それぞれの立場で独自の防火広報活動などを行うことにより、地域の安全安心に貢献する。						
取組内容・実績	柏崎市消防団を構成する団本部、ラッパ隊、女性消防隊、学生消防隊、方面隊、分団などが、それぞれの立場で独自の防火広報活動などを行った。						
成果	独自の防火広報活動などを行うことにより、地域の安全安心に貢献できた。						
課題・今後の方向性	今後も、それぞれが独自の防火広報活動により地域の安全安心に貢献するため、支援を継続する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	防火水槽整備事業			決算書 掲載ページ	420		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	消防総務課			
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	28,924	28,877	0	47			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	25,300	0	3,577			
目的	地震時に応可能な耐震性の貯水槽を計画的に設置することにより、住民に安心感を与えるとともに、消防団を含めた消防機関の強固な火災防御体制を構築する。						
取組内容・実績	40 m ³ の耐震防火水槽1基を新設（南半田）した。ほかにボーリング調査を1か所（大字宮川）、防火水槽撤去工事を1か所（荒浜二丁目）、防火水槽の修繕を2か所（上原ほか）で実施した。						
成果	耐震性防火水槽を設置することにより、大規模災害における火災発生時や水道管の破裂等による消火栓使用不能時に、住民を火災被害から保護することが可能になった。						
課題・今後の方向性	今後、住宅が密集していない地区等であっても、消防水利を整備し、地域の実情に応じた適正な水利を配置していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	消火栓整備事業			決算書 掲載ページ	420		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	消防総務課			
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	16,500	14,504	0	1,996			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	4,900	0	9,604			
目的	消火栓を計画的に設置して維持管理することにより、住民に安心感を与えるとともに、強固な火災防御体制を構築する。						
取組内容・実績	消火栓1基を新設（西山町鎌田）した。消火栓改良（幸町ほか）を3基、修繕（上田尻ほか）を20か所実施した。						
成 果	「消防力の整備指針」及び「消防水利の基準」に基づき、消防水利が不足している箇所へ消火栓を設置することにより、住民に安心感を与えるとともに、強固な火災防御体制を進めることができた。						
課題・今後の方向性	今後、住宅が密集していない地区等であっても、消防水利を整備し、地域の実情に応じた適正な水利を配置していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	常備消防施設整備事業			決算書 掲載ページ	420		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	消防総務課			
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	237,148	237,129	0	19			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	162,500	16,208	58,421			
目的	災害対策拠点施設を整備することにより消防力を充実させ、多様化する住民のニーズに対応できる体制を構築する。						
取組内容・実績	経年劣化した高機能消防指令センター機器の主要装備である指令コンピューター系装置の更新を実施した。また、GHP2号機系統（2階仮眠室）の空調設備を更新した。						
成 果	高機能消防指令センター機器の指令コンピューター系装置を更新して、119番通報の受付から出場指令までを迅速かつ的確に処理し、災害対応・現場消防活動支援などを安定的かつ確実に行うことができた。また、仮眠室の空調設備を更新することにより、労働環境を改善することができた。						
課題・今後の方向性	既存の施設や装備の老朽化が進み、順次更新が必要となってきており、計画的に進めていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然灾害に備えた対策を進める

事務事業名	被災者生活再建支援事業（令和6年能登半島地震）			決算書 掲載ページ	422		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	市民活動支援課			
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	11,875	7,625	0	4,250			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	5,082	0	0	2,543			
目的	令和6年能登半島地震により、居住する住宅に被害を受けた世帯に支援金を支給することで、被災者の早期復旧と迅速な生活再建を支援する。						
取組内容・実績	対象世帯12件に対し、合計7,625千円の支援金を支給した。						
成果	支援金の支給により、被災者の生活再建を支援した。						
課題・今後の方向性	被災者の生活再建を図るため、支援金の未申請者に対して申請を促す必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然灾害に備えた対策を進める

事務事業名	災害等廃棄物処理経費（令和6年能登半島地震）			決算書 掲載ページ	422		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	環境課			
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円卖位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	626,517	209,238	417,279	0			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	209,238			
目的	令和6年能登半島地震によって損壊した家屋・建物について、生活環境保全上の支障の除去及び二次災害防止のため、公費による解体や解体費用の費用償還を実施する。						
取組内容・実績	公費解体は、中小企業の非住家（ホテル）1件、個人の住家7件、非住家5件の計13件に着手した。また、費用償還は、個人の住家1件を実施した。						
成果	対象となる14件全てに着手し、住家2件の公費解体及び住家1件の費用弁償を完了し、生活環境を確保した。						
課題・今後の方向性	令和7（2025）年度中に残った公費解体11件を完了する。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	防災訓練費			決算書 掲載ページ	424
款	09	消防費	会計	一般会計	
項	01	消防費	担当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額
	764		213	0	551
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	0		0	0	213
目的	洪水、土砂災害等の災害時の対応や、日頃の備え等の防災活動に关心を持つてもらう。また、地域が主体的に取り組む訓練とし、地域防災力の向上を図る。				
取組内容・実績	<p>6月9日に鯨波、米山及び上米山地区を対象に「水害対応総合防災訓練」を実施し、573人が参加した。ペット同行避難、福祉避難室設置及び模擬マイナンバーカードを用いた避難受付を実施し、より実践に即した訓練とした。</p> <p>また、「市民一斉安全行動訓練」では地震発生の想定の下、3つの安全行動を市民に行ってもらい、防災意識の醸成に努めた。</p>				
成果	新たな試みを加えた訓練を行うことで、更に実践的な訓練となった。市民一斉地震対応訓練の実施により、地震に対する防災意識の醸成が図られた。				
課題・今後の方向性	次年度以降も引き続き、地区を対象とした総合防災訓練及び出水期等の説明会を実施する。次年度は職員訓練も実施し、地区訓練との連携を図る。				
	昨年度の市民一斉地震対応訓練で明らかになったサイレン音が聞こえづらい所に、津波サイレン装置を今後追加設置する予定である。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	防災ガイドブック作成事業			決算書 掲載ページ	424
款	09	消防費	会計	一般会計	
項	01	消防費	担当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額
	8,863		6,135	0	2,728
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源	
	1,616		0	0	4,519
目的	自分の住んでいる場所は浸水想定に含まれているか、災害時はどうやって避難すればよいのかなどを市民の方が確認できるよう周知する。				
取組内容・実績	防災ガイドブック（自然災害編）について、新潟県が公表した「中小河川の浸水想定区域」を反映した上で一部修正を行い、全戸配布を行った。また、柏崎市に新たに転入してきた方に配布している「かしわざき暮らしのガイド」とも併せて配布し、希望される方に対しても配布した。				
成果	中小河川ハザードマップを追加するなど防災ガイドブック（自然災害編）の改訂を行った。改訂後のガイドブックを全戸配布し、災害時の避難行動を市民の方が確認できるよう周知することができた。				
課題・今後の方向性	次年度以降も引き続き法律や制度の改正、最新の知見を防災ガイドブック（自然災害編・原子力災害編）に反映させ、更新する必要がある。国や県と連携しながら、適宜、防災ガイドブック（自然災害編・原子力災害編）を更新・全戸配布を行い、市民の方が避難行動を確認できるよう周知していく。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	災害時備蓄品等管理事業			決算書 掲載ページ	424		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	防災・原子力課			
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	22,985	22,450	0	535			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	15,000	0	0	7,450			
目的	災害時、自宅の倒壊又は交通網の混乱等により、住民及び一時的滞在者が食料品、生活必需品等を調達できなくなることが予想されることから、市民に対して、備蓄の普及啓発を行うとともに、市として、想定避難者数に対する必要最小限の現物備蓄を行う。						
取組内容・実績	災害時備蓄品の賞味期限切れによる一部更新及び夏季や冬季の各季節に合わせた備蓄品（扇風機、ストーブ、温保冷庫等）の購入を行った。また、猛暑・豪雪の停電時の初動に必要なポータブル蓄電池を購入し、災害発生に備えて市内各町内会に配備を行った。						
成果	災害に備えた備蓄品を追加及び更新できたほか、市内各町内会にポータブル蓄電池を配備し、災害時における初動体制の強化及び防災力の向上を図ることができた。						
課題・今後の方向性	今後も、災害時における備蓄品の分散備蓄及び集中備蓄の実効性を検証していく。また、想定避難者数に対する現物備蓄管理を継続して実施する。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然灾害に備えた対策を進める

事務事業名	洪水ハザードマップ作成事業			決算書 掲載ページ	426		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	防災・原子力課			
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	繰越明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	19,500	17,580	0	1,920			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	37	0	0	17,543			
目的	これまでの水位周知河川（鶴川・鯖石川・別山川）に加えて、中小河川のハザードマップを作成することで、水害時の避難情報や避難行動にいかす。						
取組内容・実績	新潟県から公開された浸水想定区域図に基づき、45河川についてハザードマップを開示した。						
成果	これまでリスク周知がなされていなかった中小河川の洪水リスクについて、周知を図ることができた。						
課題・今後の方向性	目的達成のため令和6（2024）年度で終了する。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

事務事業名	津波ハザードマップ作成事業			決算書 掲載ページ	426		
款	09	消防費		会計	一般会計		
項	01	消防費		担当	防災・原子力課		
目	05	災害対策費		現年度・繰越の別	現年度予算		
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	8,492		8,492	0	0		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	8,492			
目的	自分の住んでいる場所が津波浸水想定に含まれているか、津波発生時の避難対象地域などのなどを市民の方が確認できるように周知する。						
取組内容・実績	防災ガイドブック（自然災害編）の津波浸水想定区域について、大判形式への拡大作成、図割、表示レイヤの調整等を行い、作成した津波ハザードマップを全戸配布した。						
成果	津波ハザードマップの全戸配布により、津波発生時における浸水想定区域及び適切な避難行動の周知を行うことができた。						
課題・今後の方向性	目的達成のため令和6（2024）年度で終了する。						

事務事業名	原子力防災研修事業			決算書 掲載ページ	428		
款	09	消防費		会計	一般会計		
項	01	消防費		担当	防災・原子力課		
目	05	災害対策費		現年度・繰越の別	現年度予算		
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	3,033		2,907	0	126		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	2,907	0	0	0			
目的	消防団、自主防災組織等、地域の防災リーダーに対し、放射線及び原子力防災の正しい知識の習得並びに原子力災害時の防災活動の普及啓発を図る。市職員においては、原子力発電 所立地自治体職員としての自覚を再認識することで、危機管理体制の強化を図る。						
取組内容・実績	原子力地域防災リーダー研修を消防団（5回・94人）及び学生消防隊員（1回・5人）を対象に開催したほか、採用1年目の市職員を対象とした研修（2回・30人）を実施した。また、原子力防災職員研修（6回・115人）を開催した。						
成果	研修を通じて、消防団員、市職員等が放射線や原子力防災に関する知識を習得することで、原子力防災意識の向上を図り、原子力防災体制の強化を図ることができた。						
課題・今後の方向性	消防団を対象とした地域防災リーダー研修においては、引き続き学生消防隊を含めて実施するなど、更なる地域防災力の向上や要配慮者の避難支援体制の整備が必要である。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

事務事業名	広域避難対策事業			決算書 掲載ページ	428		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	防災・原子力課			
目	05	灾害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	3,776	2,472	0	1,304			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	2,472	0	0	0			
目的	原子力災害時を想定した住民参加による避難訓練を新潟県と合同で行い、広域避難計画の検証と住民の広域避難の意識向上を図る。						
取組内容・実績	新潟県原子力防災訓練を行った。国、県及び関係機関が参加した本部運営訓練のほか、3地区約230人が参加した冬季積雪時の住民避難訓練等を行った。また、個別訓練として実動組織と連携した航空機・船舶避難訓練や放射線防護対策施設の屋内退避訓練を行った。						
成果	原子力災害時における体制・対応について、関係機関との連携や各自の役割を確認し、対応力の向上を図ることができた。広域避難の実効性を高めるため、住民避難訓練参加者等にヒアリングを行い、訓練で見えた問題点や今後の課題を明らかにすることことができた。						
課題・今後の方向性	様々な想定による訓練を継続的に実施し、広域避難の実効性の向上を図っていく必要がある。また、訓練で明らかになった課題等については、県、関係市町村及び国と共有し、協議検討を進める必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	放射線防護施設整備事業			決算書 掲載ページ	428		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	防災・原子力課			
目	05	灾害対策費	現年度・繰越の別	繰越明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	510,811	16,280	492,991	1,540			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	16,280	0	0	0			
目的	早期の避難が困難である住民等が一時的に退避する放射線防護施設を整備することで、原子力防災対策の充実・強化を図る。						
取組内容・実績	西山町いきいき館に放射線防護施設を整備するための設計を実施した。						
成果	次年度に放射線防護施設整備工事を行うための設計書を作成することができた。						
課題・今後の方向性	放射線防護施設が良好な状態で稼働できるよう維持管理していく必要がある。放射線防護施設を速やかに稼働できるよう市職員及び地域住民による稼働訓練を行う必要がある。 また、更なる原子力防災対策の充実・強化を図るために、放射線防護施設の数を増やしていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

事務事業名	米山サービスエリア緊急進入路整備事業			決算書 掲載ページ	428		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	防災・原子力課			
目	05	灾害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	23,000	5,500	17,500	0			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	5,500	0	0	0			
目的	国道8号米山大橋前後で通行止めや著しい交通障害が発生した場合に備え、国道8号から米山サービスエリアに自家用車及び大型バス等の避難車両が通行できる緊急進入路を整備する。						
取組内容・実績	令和6（2024）年8月から調査設計業務に着手し、令和7（2025）年度に繰り越して業務を進めている。						
成果	糸魚川・妙高・上越方面への避難の円滑化に向け、米山サービスエリア緊急進入路の整備に向けた調査設計業務に着手した。						
課題・今後の方向性	引き続き、米山サービスエリア緊急進入路の早期整備に向けて必要な作業を進めていく。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

事務事業名	スマートインターチェンジ整備調査事業			決算書 掲載ページ	428		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	防災・原子力課			
目	05	灾害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円卖位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	15,000	3,500	11,500	0			
決算額の財源内訳 (千円卖位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	3,500	0	0	0			
目的	国道8号から乗り入れる曽地地内及び国道353号から乗り入れる上方地内を対象に、原子力災害時の避難経路を確保することを目的としたインターチェンジを整備する。						
取組内容・実績	令和6（2024）年11月から調査業務に着手し、令和7（2025）年度に繰り越して業務を進めている。						
成果	北陸自動車道への乗り入れの円滑化に向け、インターチェンジの整備に向けた調査業務に着手した。						
課題・今後の方向性	引き続き、インターチェンジの早期整備に向けて必要な作業を進めていく。						

10款 教育費

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	防災情報通信システム整備事業			決算書 掲載ページ	428		
款	09	消防費	会計	一般会計			
項	01	消防費	担当	防災・原子力課			
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	19,009	18,981	0	28			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	11,000	59	7,922			
目的	緊急告知ラジオを設置することで、災害時等の緊急情報を市民に対し伝達することを目的とする。また、緊急告知放送の受信環境を整え、情報伝達体制を強化する。						
取組内容・実績	津波災害への情報伝達向上を目的として、津波警報装置や屋外拡声子局増設に係る実施設計を行った。また、緊急告知放送（コミュニティFM放送）の主要放送設備の多重化の実施設計を行った。						
成果	各種設備の実施設計を行い、得られた結果から設置する場所や備え付ける設備を決定することができた。						
課題・今後の方向性	実施設計を基に津波警報装置及び屋外拡声子局増設工事並びに可搬型FM放送設備の整備を行う。						

事務事業名	奨学金貸付事業			決算書 掲載ページ	434		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	01	教育総務費	担当	教育総務課			
目	02	教育委員会事務局費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	42,729	42,711	0	18			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	41,840	871			
目的	成績優秀な学生で経済的理由により大学などへの就学が困難な方に対して、奨学金の貸付けを行うことにより、教育の機会均等を図る。						
取組内容・実績	令和6（2024）年度における貸付者総数は63人であり、そのうち新規貸付者は23人であった。						
成果	教育の機会均等の向上を図ることができた。						
課題・今後の方向性	学生が更に利用しやすい制度とするために、返済期間の延長、採用人数の拡大など、社会情勢等に合わせた制度の見直しを行っていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

事務事業名	特別支援学級介助事業			決算書 掲載ページ	440		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	01	教育総務費	担当	学校教育課			
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	96,783	94,551	0	2,232			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	50,000	0	14,492	30,059			
目的	特別支援学級介助員を配置し、特別な教育的支援を必要とする児童に対して、身辺の介助や学習活動を補助することにより、充実した学校生活が送れるよう支援する。						
取組内容・実績	小学校15校に、34名の特別支援学級介助員を配置し、特別支援学級に在籍する児童の教育的ニーズに応じた身辺介助や学習指導を実施した。						
成果	特別支援学級に在籍する児童が安心して充実した学校生活を送れる体制を確保することができた。						
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は年々減少しているが、特別支援学級在籍児童数は、ほぼ横ばいで推移している。介助員の配置は、その学校での特別支援学級在籍児童数の増減と特性を考慮しながら、検討する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

事務事業名	特別支援教育推進事業			決算書 掲載ページ	440		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	01	教育総務費	担当	学校教育課			
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	7,189	6,993	0	196			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	24	6,969			
目的	特別な教育的ニーズのある児童生徒及び就学予定者に対して就学相談を行い、適正な就学に向けた判断を行う。また、通常学級における特別な教育的ニーズのある児童生徒について、要請のあった学校の授業改善、巡回相談などの校内支援を実施する。						
取組内容・実績	特別支援教育会議では、幼児部会・小中部会合わせて153件の審議を行った。特別支援教育推進嘱託指導主事は、幼児部会を中心に対応した。						
成果	専門員の丁寧な調査により、就学先判断の保護者理解を得ることができた。特別支援教育推進嘱託指導主事が調査に入ることで、専門員の負担軽減につながった。						
課題・今後の方向性	依頼件数の増加及び依頼案件の複雑化・多様化に対応できるよう担当者の増員と質の向上を行う必要がある。件数の増加に伴い必要な検査実施など、専門員の負担が増えてきているため、解消する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校教育活動推進事業			決算書 掲載ページ	442		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	01	教育総務費	担当	学校教育課			
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	14,674	14,147	0	527			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	5,335	8,812			
目的	学校教育活動推進事業奨励金を交付し、小・中学校と家庭・地域が協働して子どもの健全育成を図る。総合学力調査の一部費用を負担し、結果を指導方針策定に役立てる。学校サポート嘱託指導主事を1名任用し、学校教育活動を支援する。						
取組内容・実績	特色ある教育活動の充実を図るために、全小・中学校に奨励金を交付したことによって、各学校の工夫ある実践が行われた。						
成果	各学校が体験活動、キャリア教育、小・中学校と地域が連携した取組などを工夫して実践したことによって、特色ある教育活動を推進することができた。						
課題・今後の方向性	各学校が目指す子ども像を明確にし、今まで以上に工夫した取組を実践する。また、今後も小・中学校と家庭・地域が協働した事業を推進する。						

事務事業名	スクール・サポート・スタッフ配置事業			決算書 掲載ページ	442		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	01	教育総務費	担当	学校教育課			
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	5,661	5,437	0	224			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	1,672	0	28	3,737			
目的	市立小学校にスクール・サポート・スタッフを配置することで、教員が児童への指導や教材研究により力を注ぐことができる環境を整える。						
取組内容・実績	非常勤4名のスクール・サポート・スタッフを配置し、教員が児童への指導や教材研究により注力できるよう補助を行った。						
成果	教員の業務負担が軽減され、児童への指導や教材研究により注力することができた。						
課題・今後の方向性	教員の業務負担を更に軽減するため、今後も教員とスクール・サポート・スタッフの連携を深める必要がある。 また、不登校傾向の児童生徒が増加傾向にあることから、不登校対応に当たる教員を補助する不登校対策スクール・サポート・スタッフの配置を進める必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学力向上推進プロジェクト事業			決算書 掲載ページ	442		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	01	教育総務費	担当	学校教育課			
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	4,263	4,202	0	61			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	20	4,182			
目的	学校訪問や研修の実施により、小・中学生の思考力・判断力・表現力や、知識・技能を活用する力を伸ばし、学力向上を図る。						
取組内容・実績	学力向上推進員を含む4名の指導主事による学校訪問と、ICTツールの活用方法の提案などを行った。また、学力向上先進校の県外視察（5月31日、6月1日富山市立堀川小学校3名参加、6月25日、6月26日加賀市立山城小学校・山城中学校3名参加）を行い、10月～12月に市内小・中学校を対象にオンデマンド型の視察報告会を行った。						
成果	学力向上推進員による、ICTツールの活用方法の提案や、よい実践事例紹介の発信は、授業力・ICTスキル向上へつながった。また、多くの学校が他県の先進的な取組を自校の研究に取り入れたり、後期の授業に役立てたりすることができた。						
課題・今後の方向性	全国学力・学習状況調査の過去問題の具体的ないかし方に関する研修や、教科・学年を絞った学力向上研修も必要であるため、小・中学校ともに、国語、算数・数学の授業力を高める研修を実施する。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	英語教育推進事業			決算書 掲載ページ	442		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	01	教育総務費	担当	学校教育課			
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	30,641	30,156	0	485			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	1,529	28,627			
目的	ALT（外国語指導助手）を配置し、英語によるコミュニケーション能力の向上を図り、グローバル社会で活躍する人材を育てる。						
取組内容・実績	常勤5人、非常勤1人のALTを配置し、小・中学校の全クラスで月2回以上、外国語活動やティームティーチング授業を行った。						
成果	ALTとの様々な活動を通して、児童生徒のコミュニケーション能力向上や異文化理解を深めることができた。						
課題・今後の方向性	小学校の外国語指導が軌道に乗ってきたところである。今後も英語専科教員やALTとの連携を更に深める必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	指導補助員等配置事業			決算書 掲載ページ	444		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	01	教育総務費	担当	学校教育課			
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	138,684	133,392	0	5,292			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	262	0	27,666	105,464			
目的	指導補助員を配置し、通常学級で支援を必要とする児童生徒に対して、学習指導や生徒指導を行う。また、日本語指導を必要とする児童生徒の就学体制を整備する。						
取組内容・実績	小・中学校26校に47人の指導補助員を配置し、学習指導や生徒指導の充実に向けた支援を行った。 2人の日本語指導員を配置し、外国にルーツを持つ児童2人及び生徒3人の日本語指導に向けた支援を行った。						
成果	指導補助員の配置により、授業のねらいの達成に結び付くきめ細やかな支援を行い、児童生徒一人一人の能力を伸ばす教育が推進された。また、対人関係の構築が苦手な児童生徒への個別の指導・支援を充実させることができた。 日本語指導員の配置により、外国にルーツを持つ児童生徒の日本語指導や就学支援を充実させることができた。						
課題・今後の方向性	通常学級における特別な教育的ニーズに応じた指導・支援のために、指導補助員を必要とする場面が増加している。 日本語指導員は、今後も必要に応じた配置が求められる。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	部活動外部人材活用事業			決算書 掲載ページ	444		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	01	教育総務費	担当	学校教育課			
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	7,185	5,993	0	1,192			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	3,684	0	0	2,309			
目的	中学校に部活動指導員を配置し、指導の充実と教職員の負担軽減を図る。						
取組内容・実績	中学校11校に19人の部活動指導員を配置し、部活動の充実に向けた支援を行った。						
成果	部活動指導員の配置により、教員の負担軽減につながるとともに、専門性の高い指導を行うことができた。						
課題・今後の方向性	部活動指導員については、今後も継続的な人材確保に努める必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	科学技術教育事業			決算書 掲載ページ	446		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	01	教育総務費	担当	学校教育課			
目	04	教育センター費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	9,770	8,938	0	832			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	1,915	7,023			
目的	理科担当教員の指導力向上、児童生徒の適切な科学概念の形成及び地域の科学技術教育振興を図る。						
取組内容・実績	<p>教職員の理科・生活科・総合・環境教育等の専門研修・相談支援のための研修会を37回行い、248人が参加した。</p> <p>科学教育振興として科学作品展、科学研究発表会、科学のえんま市2024などの事業を9回行い延べ1,522人が参加した。</p> <p>科学教育支援として、学校等の要請研修（80回・2,279人）、教材機器等貸出し（94件）及び理科教育相談支援（299件）を実施した。</p>						
成 果	研修会参加者自己評価において、研修内容は分かりやすい84.1%、教材の提案は妥当である82.7%、指導にすぐいかしたい80.5%が「十分当てはまる」の評価であった。分かりやすい教材提供と研修内容ができているという評価であった。						
課題・今後の方向性	研修内容として、すぐにいかしやすく、かつ、児童生徒の学力向上につながる手立てを検討し、実施していく必要がある。また、科学研究発表会や作品展への参加児童生徒数を維持及び増加させるため、科学研究を指導する教員及び保護者への具体的な支援が必要となる。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校管理運営費			決算書 掲載ページ	448		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	02	小学校費	担当	教育総務課			
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	330,772	314,947	0	15,825			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	43,000	0	639	271,308			
目的	教育活動が安定的かつ円滑に行われるよう小学校の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。						
取組内容・実績	学校における教育活動が円滑に行われるよう、施設の維持管理を行った。また、校舎の戸締まり業務を行うため、日直業務員を5校（柏崎、比角、枇杷島、新道、田尻）に配置した。						
成 果	施設の維持管理により、教育活動が安定的かつ円滑に行われた。また、日直業務員を配置したことにより、教職員の負担軽減が図られた。						
課題・今後の方向性	施設の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	通学支援事業			決算書 掲載ページ	450		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	02	小学校費	担当	教育総務課			
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	70,265	65,066	0	5,199			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	546	0	0	64,520			
目的	遠距離通学地区の児童に対して通学支援を行うことで、円滑な義務教育を実施する。						
取組内容・実績	<p>遠距離通学の児童411人に対し、通学支援としてスクールバスの運行、通学定期券の支給及び通学費の補助を行った。</p> <p>また、スクールバスを登下校のほか、校外学習等の移動手段として利用した。</p> <p>スクールバスの校外利用申請の受付及び運行手配業務を運行委託事業者に委託した。</p>						
成果	学校から提出されたスクールバスの運行計画に基づき、運行ルートの再編を行うことにより、遠距離通学の児童の負担軽減が図られた。また、スクールバス校外利用申請受付業務を運行委託事業者に委託し、業務の効率化を図った。						
課題・今後の方向性	児童の安全な通学支援を行うために、適正な運行管理を行うとともに、車両を良好な状態で運行するため、老朽化した車両を計画的に更新する必要がある。また、学校の意見を聞きながら児童が通学しやすい環境を整備する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	小学校指導書等整備費			決算書 掲載ページ	452		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	02	小学校費	担当	学校教育課			
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	44,393	44,369	0	24			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	44,369			
目的	<p>教師用指導書と教科書を購入し、指導・教科研究を行うことで、教育水準の維持向上を図る。</p> <p>また、児童本人の過失以外（災害、水害等）で滅失した教科書を支給することで、児童の教育の機会均等を保障する。</p>						
取組内容・実績	小学校の教科書が4年に一度採択されたことに伴い、新版の教師用指導書及び教科書を購入して指導・教科研究を行った。						
成果	新版の教師用指導書及び教科書を購入し、指導・教科研究を行うことで、教育水準の維持向上を図った。						
課題・今後の方向性	<p>今後も、小学校の教科書が採択された際は、新版の教師用指導書及び教科書を購入し、指導と教科研究を行うことで教育水準の維持向上を図る必要がある。</p> <p>また、児童本人の過失以外（災害、水害等）で滅失した教科書を支給することで、教育の機会均等を保障する必要がある。</p>						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	情報機器管理費			決算書 掲載ページ	452		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	02	小学校費	担当	教育総務課			
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	203,213	192,570	0	10,643			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	41,836	0	44,000	106,734			
目的	児童の教育ＩＣＴ環境を整備し、学習環境の充実を図る。						
取組内容・実績	教務室、教室等の情報環境の整備及び情報機器の保守管理を令和5（2023）年4月1日から5年間の契約で包括的に外部委託し、効率的に実施した。 新たに小学校1・2年生全員にタブレット端末を配備した。						
成果	学校教育におけるＩＣＴの促進及び校務の効率化が図られた。GIGAスクール構想を推進するため、引き続き、ＩＣＴ支援室を設置し、児童及び教職員が情報機器を有効に活用する支援を行うことができた。 また、全ての児童に端末を配備し、一人一台の環境を整えた。						
課題・今後の方向性	ＩＣＴを活用した情報教育の更なる促進のため、必要な情報機器等の活用方法や支援策をＩＣＴ連絡会議で検討する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

事務事業名	就学援助費			決算書 掲載ページ	452		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	02	小学校費	担当	学校教育課			
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	36,503	30,674	0	5,829			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	15	0	131	30,528			
目的	経済的理由で就学が困難な児童に対し就学援助費を支給することで、就学環境を保障し義務教育を円滑に実施する。						
取組内容・実績	要保護21人、準要保護310人、計331人の児童の保護者に就学援助費を支給した。						
成果	就学援助費を支給し、学用品費等の費用を援助したことで、義務教育を円滑に行うことへ貢献した。						
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は年々減少しているが、在籍児童数に占める認定者の割合はほぼ変わりなく、今後も継続して事業を進める必要がある。また、学校と連携しながら、保護者への制度周知を徹底していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

事務事業名	就学奨励費			決算書 掲載ページ	454		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	02	小学校費	担当	学校教育課			
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	6,195	4,399	0	1,796			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	2,199	0	0	2,200			
目的	特別支援学級等に在籍する児童の就学環境を保障するため、学用品等の費用の一部を助成する。また、適正な就学の確保及び特別支援教育の振興を図る。						
取組内容・実績	特別支援学級に在籍する児童104人の保護者に、小学校の必要経費（学用品費、学校給食費等）の一部を支給した。また、児童49人の保護者に他校の通級指導教室へ通うための交通費の一部を支給した。						
成果	特別支援学級に在籍する児童や、他校の通級指導教室へ通う児童の保護者の経済的な負担を軽減することができた。						
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は年々減少しているが、特別支援学級在籍児童数は、ほぼ横ばいで推移している。今後も特別支援学級等に在籍する児童を持つ保護者の経済的負担を軽減し、就学環境を保障する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校施設長寿命化事業			決算書 掲載ページ	454		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	02	小学校費	担当	教育総務課			
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	15,500	13,420	0	2,080			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	10,000	0	3,420			
目的	老朽化部分の改修工事を行うことで、施設の長寿命化を図る。						
取組内容・実績	剣野小学校大規模改修工事の実施設計を行った。						
成果	大規模改修工事の設計を実施し、安全・安心な教育環境整備のための準備ができた。						
課題・今後の方向性	学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、適正な規模での学校配置や財政負担の平準化も考慮し、老朽化した学校施設の計画的な改修等を行っていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	小学校施設整備事業			決算書 掲載ページ	454		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	02	小学校費	担当	教育総務課			
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	590,400	187,111	369,600	33,689			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	93,478	72,500	12,000	9,133			
目的	施設の整備を適切に行うことにより、学校施設利用者の安全確保と教育環境の向上を目指す。						
取組内容・実績	枇杷島小学校・剣野小学校・北鯖石小学校のトイレ改修工事、田尻小学校の空調設備改修工事及び特別教室空調設置工事の設計を行った。						
成果	施設の改修により、児童の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備ができた。						
課題・今後の方向性	老朽化により、早急な改修を要する施設が増加していることから、児童の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	荒浜小学校改築事業			決算書 掲載ページ	454		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	02	小学校費	担当	教育総務課			
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・継続費・過次繰越予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	1,985,878	1,617,174	360,000	8,704			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	417,180	1,047,200	0	152,794			
目的	安全で優れた学習環境及び地域の交流・防災拠点機能を有する施設を整備するため、老朽化が進んでいる校舎棟を建て替える。						
取組内容・実績	令和5（2023）年度に引き続き、新校舎の改築（Ⅱ期）工事及び工事監理を実施した。あわせて、体育館の部分改修工事を実施した。また、新校舎で使用する施設設備品の購入、旧校舎棟の解体工事及びグラウンド整備工事に係る設計を行った。						
成果	校舎棟の改築工事完了後、築後50年以上が経過し、老朽化した校舎から新校舎に移転したことにより、安全・安心で、かつ、快適な教育環境を整備することができた。						
課題・今後の方向性	令和7（2025）年度に予定している旧校舎棟解体工事及び令和8（2026）年度に予定しているグラウンド整備工事を計画的に行っていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校管理運営費			決算書 掲載ページ	456		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	03	中学校費	担当	教育総務課			
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	230,655	208,425	0	22,230			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	43,000	0	580	164,845			
目的	教育活動が安定的かつ円滑に行われるよう中学校の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。						
取組内容・実績	学校における教育活動が円滑に行われるよう、施設の維持管理を行った。また、校舎の戸締まり業務を行うため、日直業務員を5校（第一、第二、第三、鏡が沖、東）に配置した。						
成果	施設の維持管理により、教育活動が安定的かつ円滑に行われた。また、日直業務員を配置したことにより、教職員の負担軽減が図られた。						
課題・今後の方向性	施設の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	通学支援事業			決算書 掲載ページ	456		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	03	中学校費	担当	教育総務課			
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	52,382	40,658	0	11,724			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	713	0	0	39,945			
目的	遠距離通学地区の生徒に対して通学支援を行うことで、円滑な義務教育を実施する。						
取組内容・実績	遠距離通学の生徒168人に対し、通学支援としてスクールバスの運行、通学定期券の支給及び通学費の補助を行った。 また、スクールバスを登下校のほか、校外学習等の移動手段として利用した。 スクールバスの校外利用申請の受付及び運行手配業務を運行委託事業者に委託した。						
成果	学校から提出されたスクールバスの運行計画に基づき、運行ルートの再編を行うことにより、遠距離通学の生徒の負担軽減を図ることができた。また、スクールバス校外利用申請受付業務を運行委託事業者に委託し、業務の効率化を図った。						
課題・今後の方向性	生徒の安全な通学支援を行うために、適正な運行管理を行うとともに、車両を良好な状態で運行するため、老朽化した車両を計画的に更新する必要がある。また、学校の意見を聞きながら、生徒が通学しやすい環境を整備する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	情報機器管理費			決算書 掲載ページ	458		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	03	中学校費	担当	教育総務課			
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	76,457	73,376	0	3,081			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	18,000	55,376			
目的	生徒の教育 I C T 環境を整備し、学習環境の充実を図る。						
取組内容・実績	教務室、教室等の情報環境の整備及び情報機器の保守管理を令和5（2023）年4月1日から5年間の契約で包括的に外部委託し、効率的に実施した。						
成 果	学校教育における I C T の促進及び校務の効率化が図られた。また、G I G A スクール構想を推進するため、引き続き I C T 支援室を設置し、生徒及び教職員が情報機器を有効に活用する支援を行うことができた。						
課題・今後の方向性	I C T を活用した情報教育の更なる促進のため、必要な情報機器等の活用方法や支援策を I C T 連絡会議で検討する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

事務事業名	就学援助費			決算書 掲載ページ	458		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	03	中学校費	担当	学校教育課			
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	42,110	33,383	0	8,727			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	156	0	93	33,134			
目的	経済的理由で就学が困難な生徒に対し就学援助費を支給することで、就学環境を保障し義務教育を円滑に実施する。						
取組内容・実績	要保護9人、準要保護231人、計240人の生徒の保護者に就学援助費を支給した。						
成 果	就学援助費を支給し、学用品費等の費用を援助したことで、義務教育を円滑に行うことには貢献した。						
課題・今後の方向性	中学校の在籍生徒数は年々減少しているが、在籍生徒数に占める認定者の割合はほぼ変わりなく、今後も継続して事業を進める必要がある。また、学校と連携しながら、保護者への制度周知を徹底していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

事務事業名	就学奨励費			決算書 掲載ページ	460		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	03	中学校費	担当	学校教育課			
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	4,446	2,846	0	1,600			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	1,423	0	0	1,423			
目的	特別支援学級などに在籍する生徒の就学環境を保障するため、学用品などの費用の一部を助成する。また、適正な就学の確保及び特別支援教育の振興を図る。						
取組内容・実績	特別支援学級に在籍する生徒48人の保護者に、中学校の必要経費（学用品費、学校給食費等）の一部を支給した。また、生徒11人の保護者に他校の通級指導教室へ通う際の交通費の一部を支給した。						
成果	特別支援学級に在籍する生徒や、他校の通級指導教室へ通う生徒の保護者の経済的な負担を軽減することができた。						
課題・今後の方向性	中学校の在籍生徒数は年々減少しているが、特別支援学級在籍生徒数は、ほぼ横ばいで推移している。今後も特別支援学級等に在籍する生徒を持つ保護者の経済的負担を軽減し、就学環境を保障する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

事務事業名	心の教室相談員事業			決算書 掲載ページ	460		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	03	中学校費	担当	学校教育課			
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	1,451	1,382	0	69			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	0	1,382			
目的	心の教室相談員の配置を通して、悩みやストレスを抱える生徒が相談しやすい環境をつくり、生徒が安心して学校生活を送れるようにする。						
取組内容・実績	学校の実態に応じたよりきめ細やかな相談支援業務を実施した。生徒の悩み軽減や自己肯定感の向上につながるよう、校内での何気ない場面での声掛けや、相談対応を丁寧に行った。						
成果	生徒との関わり（声掛け等）は延べ3,934件、個々に対応した教育相談件数は296件と昨年度よりも増加した。生徒が安心して過ごせる環境づくりに寄与した。						
課題・今後の方向性	相談内容が多様であり、学校と連携した対応がより求めらる。相談員の確保も課題である。今後も相談しやすい環境の整備を継続して行う必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	中学校施設整備事業			決算書 掲載ページ	460
款	10	教育費	会計	一般会計	
項	03	中学校費	担当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	520,100	169,902	322,300	27,898	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	26,259	92,600	6,000	45,043	
目的	施設の整備を適切に行うことにより、学校施設利用者の安全確保と教育環境の向上を目指す。				
取組内容・実績	第二中学校及び瑞穂中学校のトイレ改修工事、瑞穂中学校の屋上防水・バスケットゴール改修工事、鏡ヶ池中学校プール解体工事並びに特別教室空調設置工事の設計を行った。				
成果	施設の改修により、生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備ができた。				
課題・今後の方向性	老朽化により、早急な改修を要する施設が増加していることから、生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	中学校グラウンド補修事業			決算書 掲載ページ	460
款	10	教育費	会計	一般会計	
項	03	中学校費	担当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	継続費・通次繰越予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	244,815	186,730	58,085	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	20,200	165,800	0	730	
目的	排水・表面舗装などグラウンド機能の回復や運動設備の改修により、屋外教育環境の改善を図る。				
取組内容・実績	瑞穂中学校のグラウンド改修工事（令和6（2024）・令和7（2025）年度継続工事）のⅠ期工事を行った。				
成果	グラウンド（野球場・トラック等）の改修工事を計画的に進めたことにより、安全・安心な屋外教育環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	令和7（2025）年度に予定しているⅡ期工事で、テニスコート改修を計画的に行う必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校施設長寿命化事業			決算書 掲載ページ	460
款	10	教育費	会計	一般会計	
項	03	中学校費	担当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・ 継続費・通次繰越予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	1,251,000	369,070	880,510	1,420	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般 財 源	
	68,289	280,100	0	20,681	
目的	老朽化部分の改修工事を行うことで、施設の長寿命化を図る。				
取組内容・実績	第三中学校大規模改修工事の実施設計を行った。また、実施設計に基づき、令和6（2024）・令和7（2025）年度継続工事の鏡が沖中学校大規模改修（I期）工事を行った。				
成 果	第三中学校大規模改修工事の設計を実施し、安全・安心な教育環境整備のための準備ができた。また、鏡が沖中学校大規模改修（I期）工事を計画的に実施することができた。				
課題・今後の方向性	学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、適正な規模での学校配置や財政負担の平準化も考慮し、老朽化した学校施設の計画的な改修等を行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	東中学校改築事業			決算書 掲載ページ	462
款	10	教育費	会計	一般会計	
項	03	中学校費	担当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・ 継続費・通次繰越予算	継続費・通次繰越予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
				536,971	260,067
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その 他	一般 財 源	
	23,783	222,300	0	30,821	
目的	安全で優れた学習環境及び地域の交流・防災拠点機能を有する施設を整備するため、老朽化が進んでいる校舎棟と体育馆を建て替える。				
取組内容・実績	旧校舎等の解体工事及びグラウンド整備工事（令和5（2023）・令和6（2024）年度継続工事）のⅡ期工事を行った。				
成 果	旧校舎等の解体工事及びグラウンド整備工事を計画的に完了することができた。				
課題・今後の方向性	改築事業に係る工事は全て完了したが、引き続き生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境が維持されるように管理を行う必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-2 家庭・地域の教育力を高め、共助社会を形成する

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

事務事業名	市民大学運営事業			決算書 掲載ページ	462		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	04	社会教育費	担当	文化・生涯学習課			
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	1,056	785	0	271			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	415	370			
目的	市民が学ぶ喜び・楽しみから心の豊かさや生きがいを見いだし、自己実現や豊かな人生を送ることにつながることを目指す。						
取組内容・実績	市内2大学や地域の人材と連携して13講座（延べ31回）を開催し、延べ718人が受講した。						
成 果	市民の学びのニーズに合わせた講座を企画検討し、開催することができた。また、日本における第一人者を講師に招へいし、受講者の幅広い学びにつなげることができた。						
課題・今後の方向性	より多くの方々に学習機会を提供するため、若年層向け、高齢者向けなどターゲットを明確にし、開講時期を考慮しながら引き続き魅力ある講座を検討する必要がある。あわせて、周知方法等を工夫する必要がある。						

事務事業名	地域学校協働活動推進事業			決算書 掲載ページ	464		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	04	社会教育費	担当	文化・生涯学習課			
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	3,861	2,712	0	1,149			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	1,805	0	0	907			
目的	学校と地域との連携・協働を促進し、地域の教育力向上を図る。						
取組内容・実績	5月15日に学校担当者に向けた説明会を開催し、学校担当者及び行政職員計36人が参加した。また、11月27日にコーディネーター・学校担当者を対象とした合同研修会を開催し、地域コーディネーター、学校担当者及び行政職員計60人が参加した。						
成 果	講義の受講とグループワークにより、学校と地域の課題を整理し、共有することができた。共に地域づくりに関わる活動に取り組むことで、学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみでの子どもの育成につながった。						
課題・今後の方向性	引き続き学校や地域の課題を整理し、共有し合うことで地域の人材の積極的な参画を狙い、地域ぐるみで子どもの育成に携わっていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2市民の主体的な文化活動を支援する

事務事業名	市美術展覧会費			決算書 掲載ページ	466		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	04	社会教育費	担当	文化・生涯学習課			
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	2,196	1,938	0	258			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	377	1,561			
目的	市民の創作活動の成果を発表する機会を提供するとともに、市民の美術への関心を高める。						
取組内容・実績	市民の中でも特に若い世代の芸術に対する関心を引き出し、市展への参加を促すため、市内の中学生、高校生及び大学生に出品を呼び掛けた。						
成 果	日本画、洋画及び写真の各部門において、高校生及び大学生の新規出品があった。						
課題・今後の方向性	芸術分野における高齢化が進む中、若い世代の興味関心を喚起し、新たに芸術活動に取り組もうとする気運を高める必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2市民の主体的な文化活動を支援する

事務事業名	文化振興事業			決算書 掲載ページ	466		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	04	社会教育費	担当	文化・生涯学習課			
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	25,000	24,092	0	908			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	23,800	292			
目的	冬季に花をモチーフとした美術品を展示することで、一足早い春を感じていただき、魅力あるまちづくりに取り組む。						
取組内容・実績	5日間の開催期間で延べ2,628人の入場者となった。アンケート結果では、98%の方から高評価を受けた。						
成 果	作品展示だけでなく、絵画体験、音楽演奏などのイベントも実施することで、文化芸術への興味増進を図ることができた。						
課題・今後の方向性	引き続き、鑑賞するだけの展覧会ではなく、幅広いジャンルの文化芸術に係る創作意欲を高める企画を実施する必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1歴史・文化を保全・活用し、継承する

事務事業名	綾子舞保存振興事業			決算書 掲載ページ	470		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	04	社会教育費	担当	博物館			
目	02	文化財保護費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	11,375	3,964	7,262	149			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	0	3,964	0			
目的	綾子舞の理解を深める機会を広く市民に提供し、その保存伝承活動を充実させる。						
取組内容・実績	綾子舞の保存振興活動を支援することを目的として、柏崎市綾子舞保存振興会に対して補助金を交付した。						
成果	柏崎市綾子舞保存振興会に補助金を交付することで、保存伝承活動が円滑に進められ、市民から綾子舞の理解を深めもらうことができた。						
課題・今後の方向性	少子高齢化が進む中、後継者育成を図るために、今後も柏崎市綾子舞保存振興会に対して支援を継続していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1歴史・文化を保全・活用し、継承する

事務事業名	柏崎市内遺跡発掘調査事業			決算書 掲載ページ	472		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	04	社会教育費	担当	博物館			
目	02	文化財保護費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	24,209	21,418	0	2,791			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	11,472	0	0	9,946			
目的	調査を行うことで、市内の埋蔵文化財の内容を把握する。あわせて、工事に対する協議資料や史跡相当の遺跡を評価する資料を作成し、埋蔵文化財を保護する。						
取組内容・実績	試掘・確認調査を6件実施した。令和5（2023）年度に実施した試掘・確認調査の内容をまとめた報告書を刊行した。						
成果	試掘・確認調査を実施し、結果を資料化することで、埋蔵文化財を適切に保護することができた。あわせて、西岩野遺跡の新たな評価材料を得ることができた。						
課題・今後の方向性	土木工事と埋蔵文化財の保護を両立するため、今後も試掘・確認調査を行っていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

事務事業名	図書館サービス事業			決算書 掲載ページ	478
款	10	教育費	会計	一般会計	
項	04	社会教育費	担当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	64,340	61,409	0	2,931	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	402	61,007	
目的	図書館利用者が快適に資料の貸出し及び返却を行えるよう環境整備を図る。				
取組内容・実績	図書館の利用環境の整備に取り組み、本館で99, 313人に、278, 875点の資料を貸し出した。入館者は、257, 913人であった。また、学校読書支援員5人が小学校19校を巡回し、読書支援を行った。				
成果	レファレンス対応やテーマに沿った資料展示により、図書館利用者の生涯学習を支援することができた。学校読書支援員の小学校巡回により、学校図書館の整備や読書支援を充実させることができた。				
課題・今後の方向性	より多くの方から図書館を利用していただくため、読書環境の充実を継続し、積極的に情報を発信する必要がある。また、学校読書支援では、中学校図書室の現状を把握し、環境整備の必要性を検討する必要がある。				

事務事業名	プラネタリウム管理運営費			決算書 掲載ページ	484
款	10	教育費	会計	一般会計	
項	04	社会教育費	担当	博物館	
目	05	博物館等費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	7,150	6,754	0	396	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	
	0	0	474	6,280	
目的	プラネタリウム投影などを通じ、星空や宇宙を中心とした市民の学習及び自然科学への興味関心を育み、博物館への来館につなげる。				
取組内容・実績	投影回数は286回（定期投影173回、団体投影・イベント投影等65回、小・中学校学習投影48回） 利用者数は6,618人				
成果	定期投影や学習投影での利用に加え、イベント投影では子ども向けの「キッズタイム」、夏季イベント投影「柏崎天文同好会による天文トーク」、イベント投影「地球の仲間を探そう！わくわく☆惑星の不思議」、秋季イベント投影「熟睡プラ寝たりウム」等、幅広い世代のニーズに対応した投影を行い好評を得た。				
課題・今後の方向性	定期投影を機軸に、多様なイベント投影を行うことで満足度の高い投影を継続する。また、イベント投影利用者のリピーター化のほか、学習投影を通して児童生徒の天文への興味を高め、家族での再来館の機会を創出する。				

第五次総合計画上の位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1歴史・文化を保全・活用し、継承する

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	WE Bミュージアム推進事業			決算書 掲載ページ	484		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	04	社会教育費	担当	博物館			
目	05	博物館等費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	4,189	4,068	0	121			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源			
	0	0	0	4,068			
目的	文化的価値のある所蔵品等をデジタルアーカイブ化及びデータベース化し、インターネット上で公開することにより、市民の生涯学習や地域学習の活動場面の一助とする。						
取組内容・実績	大人向け及び子ども向けのWE Bミュージアムの運用を継続するとともに、大人向けのWE Bミュージアムでは新たに3件の文化財等を高精細画像で撮影し、公開した。						
成果	大人向けWE Bミュージアムでは、画像の撮影及び公開により、文化財等のデジタル化を推進した。また、子ども向けのWE Bミュージアムでは、引き続き地域の文化及び風土を学習できるようにした。						
課題・今後の方向性	文化財等の高精細画像撮影費が高額であることから、単年度における新規更新件数は限定的であり、計画的に継続する必要がある。また、G I G Aスクール事業により児童生徒のインターネット利用環境が充実したことから、学校でのWE Bミュージアム活用促進に取り組む必要がある。						

事務事業名	スポーツ事業支援経費			決算書 掲載ページ	494		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	05	保健体育費	担当	スポーツ振興課			
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	33,133	30,713	0	2,420			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源			
	1,224	0	0	3,262			
目的	市の競技スポーツ選手強化や市民向け登山・スポーツ行事を（一財）柏崎市スポーツ協会に委託し、加盟競技団体との連携で効率的な事務運営を図る。また、地区体育協会への補助金交付や柏崎潮風マラソンの実施により、スポーツ振興並びに地域交流及び経済波及効果の増大並びに子どもたちの運動機会増加による「子どもたちを取り巻く環境の充実」を図る。						
取組内容・実績	（一財）柏崎市スポーツ協会、各地区体育協会、マラソン大会等の活動を支援するため、運営費の補助を行った。また、親子を対象とした運動あそび教室の開催、パリ2024オリンピック・パラリンピックの啓発及び新潟産業大学附属高等学校野球部の夏の甲子園出場に関する支援を行った。						
成果	各事業を実施することで、競技スポーツの選手強化、生涯スポーツ振興による健康づくり、子どもたちの運動機会の増加などに結び付けることができた。 また、夏の甲子園に柏崎勢として初出場した新潟産業大学附属高等学校野球部を応援するためのパブリックビューイングやオリンピック・甲子園報告会を開催したことで、シビックプライドの醸成につながった。						
課題・今後の方向性	（一財）柏崎市スポーツ協会、地区体育協会などと連携を深め、引き続き市民が気軽にスポーツができるよう関係者との連携が必要である。また、子どもたちの健やかな健康を推進するため、幼児期における運動あそびの重要性を周知し、普及していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	選手強化事業			決算書 掲載ページ	494		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	05	保健体育費	担当	スポーツ振興課			
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	4,950	4,950	0	0			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	1,477	0	0	3,473			
目的	県の強化指定を受ける3競技種目団体（水球、陸上、ハンドボール）に選手強化補助金を交付し、小学生・中学生・高校生のジュニア世代選手強化を図る。						
取組内容・実績	新潟県の強化指定を受けている3競技（水球、陸上、ハンドボール）団体に対し、地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業補助金を交付し、小学生・中学生・高校生の選手強化を図った。						
成果	新潟県の強化指定を受けている3競技（水球、陸上、ハンドボール）団体へ選手強化補助金を交付したことで、全国大会出場など選手強化につながった。						
課題・今後の方向性	今後も県の強化指定を受けている3競技の活動支援及び選手強化を継続し、ジュニア世代の競技力の維持・向上を図る必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいづくりを進める

事務事業名	水球のまち柏崎推進事業			決算書 掲載ページ	496		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	05	保健体育費	担当	水球のまち推進室			
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	12,336	12,258	0	78			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	0	129	12,129			
目的	パリ2024オリンピックへの地元選手出場の期待感や、水球日本一を決める第100回大会の開催などによる相乗効果で、水球のまち柏崎の価値を高め、水球によるまちづくりを更に加速させる。アジア圏の水球の聖地として地域の活性化及び国際化を目指す。						
取組内容・実績	柏崎水球事業実行委員会に負担金を出し、各種大会の開催・合宿誘致事業、ホストタウン事業及び水球を支え育むまちづくり事業を行い、水球によるまちづくりを推進した。また、（一社）ウォーターポロクラブ柏崎に対して社会人水球クラブ強化補助金を交付し、活動を支援することで選手強化につながった。						
成果	アジア圏を始めとする海外チームの合宿受入れ、第1回アジア・パシフィック・ウォーターポロリーグや第1回アジアインターナショナルカップ、第100回日本選手権水泳競技大会水球競技、全日本ジュニア（U17）水球競技選手権大会など各種大会を開催したことで、国内外に水球の聖地としての知名度が向上し、国際交流にもつながった。また、参加型イベント「海で水球」を開催したことで、スポーツによる交流人口の拡大につながった。						
課題・今後の方向性	今後もアジア圏の水球チームとのつながりを強めていく必要がある。また、「水球のまち柏崎」の知名度の向上を図り、あわせて、水球を通じた国際交流を推進していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	体育施設管理運営経費			決算書 掲載ページ	496		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	05	保健体育費	担当	スポーツ振興課			
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	395,738	393,287	0	2,451			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	101,088	0	13	292,186			
目的	指定管理者が管理している16体育施設と直営2施設からなる柏崎市の全体育施設を、安全かつ快適に利用していただくために維持管理する。						
取組内容・実績	体育施設の指定管理に関する基本協定に基づく業務を指定管理者が適切に行つた。また、佐藤池野球場の1階トイレ修繕、総合体育館のエントランスホール照明修繕及び笠島運動場のフェンス修繕を行い、施設の維持管理に努めた。年間利用者数18施設分は、531,401人となった。						
成果	利用者が安全安心に施設を利用できるように運営管理を行つた。佐藤池野球場は1階のトイレ、総合体育館はエントランスホールの照明、笠島運動場はフェンスの修繕を行い、施設を適切に管理できた。						
課題・今後の方向性	少子高齢化や人口減少など、時代のニーズに合致した施設利用や運営の工夫が必要である。また、公共施設の計画的な改修、施設の統廃合なども検討が必要である。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	陸上競技場整備事業			決算書 掲載ページ	498		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	05	保健体育費	担当	スポーツ振興課			
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	繰越明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	68,700	68,697	0	3			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	0	68,600	0	97			
目的	改修工事を行うことで、利用者の利便性の向上や安全確保を図る。						
取組内容・実績	陸上競技場を適切に維持管理するため、スタンドの耐震改修を実施した。						
成果	耐震改修工事を実施したことにより、適切な維持管理が図られ、施設の安全性の確保や利用者の利便性の向上につながった。						
課題・今後の方向性	引き続き、安全かつ快適な施設を利用者に提供するため、適切な維持管理を行う必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	武道館整備事業			決算書 掲載ページ	498		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	05	保健体育費	担当	スポーツ振興課			
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	29,700	29,643	0	57			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	24,000	0	0	5,643			
目的	改修工事を行うことで、利用者の安全確保や利便性の向上を図る。						
取組内容・実績	武道館の老朽化した屋外非常階段の改修工事を実施した。						
成 果	改修工事を実施したことにより、適切な維持管理が図られ、利用者の安全確保や利便性の向上につながった。						
課題・今後の方向性	引き続き、安全かつ快適な施設を利用者に提供するため、適切な維持管理を行う必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	給食業務運営経費			決算書 掲載ページ	498		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	05	保健体育費	担当	教育総務課			
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	301,482	299,011	0	2,471			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	268,507	0	24	30,480			
目的	児童生徒に衛生的で安全・安心な学校給食を安定して提供する。						
取組内容・実績	給食調理業務を民間事業者に委託し、必要な調理員等を配置することで、安全・安心な学校給食を提供した。衛生検査及び設備の入替えを行い、衛生事故や異物混入を未然に防止した。						
成 果	児童生徒に衛生的で安全・安心な学校給食を安定して提供することができた。						
課題・今後の方向性	引き続き、児童生徒に衛生的で安全・安心な学校給食が安定的に提供できるように、老朽化した備品の入替えや調理場の維持管理・運営に必要な業務委託を継続していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校給食費			決算書 掲載ページ	500		
款	10	教育費	会計	一般会計			
項	05	保健体育費	担当	教育総務課			
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	396,285		387,714	0	8,571		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	6,026	0	357,002	24,686			
目的	学校給食の食材費を市の予算（公会計）の中で確保することにより、生鮮食材が高騰した場合においても、安定した学校給食を提供する。						
取組内容・実績	小学校729,382食、中学校367,172食を提供した。 物価高騰等の影響を受け増加した給食材料費の一部を負担し、市内小・中学校の児童生徒の保護者の負担軽減を図った。						
成 果	学校給食費を値上げすることなく、給食実施基準で定める供給栄養量が確保でき、安定した給食提供が実施できた。また、学校給食費を値上げしないことで、物価高騰等に直面する保護者の負担を軽減した。						
課題・今後の方向性	保護者が負担する学校給食費について、物価高騰等による見直しを行っていく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

事務事業名	農業用施設災害復旧事業（令和6年能登半島地震）			決算書 掲載ページ	502		
款	11	災害復旧費	会計	一般会計			
項	01	農林水産施設災害復旧費	担当	農林水産課			
目	02	農業用施設災害復旧費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	53,992		33,980	0	20,012		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一般財源			
	0	18,531	0	15,449			
目的	被災した農業用施設の復旧への費用補助をすることにより、農業生産基盤及び農村生活環境の維持並びに農家経営の安定を図る。						
取組内容・実績	令和6年能登半島地震により被災した農業用施設47件の復旧に対して、費用補助を行った。						
成 果	被災した農業用施設を早期に復旧したことにより、地区の営農への影響を最小限に抑えることができた。						
課題・今後の方向性	今後も農業生産基盤及び農村生活環境の維持並びに農家経営の安定を図るため、被災した農業用施設の復旧への費用補助を継続していく必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然灾害に備えた対策を進める

事務事業名	公立学校施設災害復旧事業（令和6年能登半島地震）			決算書 掲載ページ	504		
款	11	災害復旧費	会計	一般会計			
項	02	文教施設災害復旧費	担当	教育総務課			
目	01	公立学校施設災害復旧費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	23,043		19,004	0	4,039		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	12,549	5,956	0	499			
目的	被災した学校施設を復旧することにより、学校機能を回復し、安全な教育環境の確保を図る。						
取組内容・実績	令和6年能登半島地震発生後、小・中学校施設の損傷箇所の修繕を行った。						
成 果	施設の修繕を実施したことにより、児童生徒の安全・安心を確保することができた。						
課題・今後の方向性	新たな災害により、損傷箇所が確認された際は速やかに修繕を行う必要がある。						

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然灾害に備えた対策を進める

事務事業名	道路橋りょう災害復旧事業（令和6年能登半島地震）			決算書 掲載ページ	506		
款	11	災害復旧費	会計	一般会計			
項	03	公共土木施設災害復旧費	担当	道路河川課			
目	01	道路橋りょう災害復旧費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	現年度予算・繰越明許予算		
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不 用 額		
	74,500		68,201	0	6,299		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	4,124	63,986	0	91			
目的	災害により被災した道路や橋の復旧工事を行うことで、道路利用者の利便性と安全の確保を図る。						
取組内容・実績	<p>次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道柏崎2－1 5 9号線ほか5路線の災害復旧工事 ・市道柏崎2－2号線の測量設計調査 						
成 果	災害により被災した道路や橋の復旧工事を行うことで、道路利用者の利便性と安全の確保を図ることができた。						
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和6（2024）年度で終了する。						

【国民健康保険事業特別会計 事業勘定】

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然灾害に備えた対策を進める

事務事業名	道路橋りょう災害復旧事業（令和6年能登半島地震）			決算書 掲載ページ	506
款	11	災害復旧費	会計	一般会計	
項	03	公共土木施設災害復旧費	担当	道路維持課	
目	01	道路橋りょう災害復旧費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)		予算額	決算額	繰越額	不 用 額
		34,600	33,872	0	728
決算額の財源内訳 (千円単位)		国県支出金	市債	その他	一般財源
		0	28,429	0	5,443
目的	災害により被災した道路や橋の復旧工事を行い、道路利用者の利便性と安全の確保を図る。				
取組内容・実績	災害で被災した道路復旧事業を15件実施した。				
成 果	災害により被災した道路の復旧工事により、道路利用者の利便性と安全を確保することができた。				
課題・今後の方向性	道路利用者の利便性と安全を確保するために、災害で被災した道路施設等を復旧していく必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	出産育児一時金			決算書 掲載ページ	531
款	02	保険給付費	会計	国民健康保険事業特別会計 事業勘定	
項	04	出産育児諸費	担当	国保医療課	
目	01	出産育児一時金	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	12,500	6,488	0	6,012	
決算額の財源内訳 (千円単位)		国県支出金	市債	その他	一般財源
		0	0	6,488	0
目的	出産に伴う費用の経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	被保険者の出産に際して、1件につき48.8万円を支給した。医療機関が「産科医療保障制度」に加入している場合は、1件につき50万円を支給した。 13件、合計6,488千円支給した。				
成 果	出産費用の一部を公費負担することで、被保険者の負担軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	出産費用の一部を公費負担することで、安心して出産できる体制を維持していく。				

【介護保険特別会計】

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1 『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	特定健康診査等実施事業			決算書 掲載ページ	533		
款	04	保健事業費	会計	国民健康保険事業 特別会計 事業勘定			
項	01	保健事業費	担当	健康推進課			
目	01	保健衛生普及費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	68,588	57,926	0	10,662			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	27,070	0	30,856	0			
目的	柏崎市国民健康保険被保険者を対象に、特定健診と特定保健指導を行うことでメタボリックシンドロームを始めとする生活習慣病予防を図る。また、健診の結果から必要な方に糖負荷試験を行い、糖尿病の早期発見・予防を図る。						
取組内容・実績	国民健康保険加入者の40歳から74歳までを対象に、集団健診を59回と医療機関での個別健診を実施し、5,476の方が受診した。特定保健指導は、積極的支援対象者84人、動機付け支援対象者265人に初回面接を実施した。健診の結果から糖負荷試験を受けた人は120人であった。						
成果	受診者の健康管理及び生活習慣の改善、健康増進及び医療費抑制に役立てることができた。						
課題・今後の方向性	特定健診受診率や特定保健指導実施率の向上に向けて、効果的な普及啓発を図る必要がある。						

事務事業名	介護予防教室事業			決算書 掲載ページ	612
款	03	地域支援事業費		会計	介護保険特別会計
項	02	一般介護予防事業費		担当	介護高齢課
目	01	一般介護予防事業費		現年度・繰越の別	現年度予算
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額	
	16,889	15,220	0	1,669	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	その他	一般財源	
	5,478	0	9,742	0	
目的	体力や筋力を向上させ、要支援・要介護状態になることを防ぐとともに、活発で自立した生活を送ることを目指す。				
取組内容・実績	<p>パワーリハビリを3会場で計748回実施し、実人数562人、延べ26,230人が利用した。</p> <p>また、西山いきいき教室を46回実施し、実人数28人、延べ729人が利用した。</p>				
成果	運動プログラムの実施により、高齢者の加齢に伴う運動機能の低下を防ぐことができた。				
課題・今後の方向性	利用者の増加を目指し、パワーリハビリ及び西山いきいき教室の周知を行っていく。また、コツコツ貯筋体操センター会場のパワーリハビリでは、コツコツ貯筋体操センター事業の一的な取組として体験会等にも取り組む。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	コツコツ貯筋体操センター事業			決算書 掲載ページ	614		
款	03	地域支援事業費	会計	介護保険特別会計			
項	02	一般介護予防事業費	担当	介護高齢課			
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	21,842	20,770	0	1,072			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	10,567	0	10,203	0			
目的	高齢者等が、コツコツ貯筋体操を始めとする介護予防活動を通じて、活発でいきいきとした生活を送ることを支援し、要介護状態になることや、要介護状態が悪化することを予防する。						
取組内容・実績	1日4回のコツコツ貯筋体操を中心に実施し、実人数298人、延べ13,857人の利用があった。月1回の健康講話は、延べ433人の参加があり、利用者の増加につながった。						
成果	コツコツ貯筋センターの利用をきっかけに、78人が新規にコツコツ貯筋体操を開始し、体操人口の増加につながった。						
課題・今後の方向性	健康講座等の体操以外のメニューを充実させるとともに、実施時間や曜日を変更して利便性の向上を図る。また、コツコツ貯筋体操センターとパワーリハビリとの連携を図り、更に市民が気軽に体操にアクセスできる環境の整備を進める。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	成年後見制度利用支援事業			決算書 掲載ページ	616		
款	03	地域支援事業費	会計	介護保険特別会計			
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担当	介護高齢課			
目	01	任意事業費	現年度・繰越の別	現年度予算			
決算の状況 (千円単位)	予算額	決算額	繰越額	不 用 額			
	6,518	4,093	0	2,425			
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	2,364	0	1,729	0			
目的	認知症等により判断力が十分でない高齢者が、成年後見制度を利用することについて支援を行い、高齢者の権利を保護する。						
取組内容・実績	成年後見制度の市長申立てを2件、成年被後見人等が成年後見人等に対して支払う報酬に係る費用及び審判等に係る費用の助成を20件行った。						
成果	成年後見制度申立て及び成年後見人等に支払う報酬に係る費用を助成することで、高齢者の権利を保護するとともに負担軽減を図ることができた。						
課題・今後の方向性	認知症等により、判断力が十分でない高齢者が増加することが予測される。今後も継続的に成年後見制度の利用について支援を行い、高齢者の権利を保護する。						

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	認知症初期集中支援推進事業			決算書 掲載ページ	616		
款	03	地域支援事業費		会計	介護保険特別会計		
項	03	包括的支援事業・任意事業費		担当	介護高齢課		
目	03	認知症総合支援事業費		現年度・繰越の別	現年度予算		
決算の状況 (千円単位)	予算額		決算額	繰越額	不用车額		
	4,293		3,807	0	486		
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市債	その他	一般財源			
	2,195	0	1,612	0			
目的	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族に対し、関わりの初期段階で集中的な支援を行うための体制を構築する。						
取組内容・実績	認知症初期集中支援チームが9件（昨年度からの継続3件含む。）の相談に対応し、チーム員（看護師・作業療法士）による初回訪問を1回、継続訪問を8回実施した。						
成果	チーム員による集中的な支援により、対象者の適切な医療受診や介護保険サービスにつながった。また、支援者の連携が図られたことで、当事者や家族の負担が軽減された。						
課題・今後の方向性	対象者の適切な医療受診や介護サービスにつながり、家族の負担が軽減するように、地域包括支援センターの職員及び介護支援専門員に事業の周知を継続し、事業の活用を進めていく。						